

## 昭和35年（1960年）

	国内・国際	政	県治
5月	<p>10 農林漁業基本問題調査会「農業の基本問題と基本対策」を答申</p> <p>19 自民党、国会で改定安保条約を単独採決</p> <p>21 グラム島で元日本兵皆川文蔵発見</p> <p>24 太平洋一帯に「チリ津波」来襲、119人死亡</p>	<p>8 多久市長に東郷嘉八当選</p> <p>16 県東京事務所、都道府県会館への移転</p> <p>28 臨時県議会（5/28～5/31） 副議長に原田安男選任</p>	
6月	<p>10 羽田空港でハガチー事件発生</p> <p>15 6・15安保阻止統一行動、樺美智子死亡</p> <p>17 社会党河上丈太郎・暴漢に刺され負傷</p> <p>20 熊本県小国町で蜂の巣城強制測量始まる</p> <p>25 道路交通法公布</p>	<p>11 憲法調査会公聴会開催</p> <p>28 九州総合開発有明小委員会開催</p> <p>31 米軍、脊振山レーダーサイドを自衛隊に移管</p>	
7月	<p>1 自治庁、自治省へ昇格 国鉄の3等を廃止し、1等・2等・特別座席制度とし、指定席料金を新設（国有鉄道運賃法改正）</p> <p>14 岸首相暴漢に刺される 生産者米価、1万405円と決定 自民党大会、池田勇人を総裁に選出</p> <p>18 第35臨時国会召集</p> <p>19 池田内閣成立 我が国初の婦人大臣誕生</p> <p>25 三池争議休戦成立</p>	<p>1 唐津社会保険出張所設置</p> <p>22 臨時県議会（7/22～7/23）</p> <p>30 民主社会党県連合会結成</p> <p>○ 県、第2次道路整備5か年計画策定</p>	
8月	<p>1 東京山谷のドヤ街で3,000人がマンモス交番を襲う</p>	<p>9 有明・松浦両海区漁業調整委員会委員選挙</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>2 県信用保証協会唐津連絡所開所</p> <p>10 白石町農家2戸農業法人申請する (県内第1号)</p> <p>26 佐賀レンコン40周年記念式典</p>		<p>5 佐高、九州高校野球大会で優勝</p> <p>8 県文化会議結成 武雄市文化会議結成</p> <p>16 県指定天然記念物に下合瀬のかつら 指定</p>
<p>1 第1回鳥栖地区工場適地調査</p> <p>16 嘉瀬川分水せき完成、送水開始</p> <p>17 佐賀総合職業訓練所敷地、佐賀市 兵庫町伊賀屋に正式決定</p> <p>30 県、商工普及員を配置し商工組合 の再編成を急ぐ</p>	<p>19 赤貝密漁ジャンジャンマイに初の手 入れ</p> <p>22 6・22安保阻止・国会解散・岸退陣 要求県内統一行動(参加者6,000人) 第1回県国民年金協議会開く</p>	<p>1 県教委、科学技術教育研究室を4工業 高校に設置</p> <p>10 国立唐津海員学校20周年記念式典</p> <p>19 佐賀労音第1回例会開催(辻久子ピ アノリサイタル)</p> <p>20 佐賀市金立町千布で2千年前の住居 群発見</p> <p>○ ラジオ熊本佐賀支局開局 ○ 県読書推進運動協議会発足</p>
<p>16 白石町商工会発足(須古・六角・ 白石・北明統合)</p>	<p>25 第1回県BBS(大兄姉)大会</p> <p>○ 小児マヒ大流行、今年に入って39人</p>	<p>9 県青年美術家協会第1回作品展開催</p> <p>11 教育課程講習会問題解決</p> <p>31 全国高校野球西九州代表に鹿島高決 定</p>
<p>1 国鉄西部支社鳥栖出張所開所式</p>	<p>11 県、人工降雨を始める(8/11~8/25)</p>	<p>11 多久市で1万年前の人類遺跡発見</p>

## 昭和35年（1960年）

	国内・国際	県治
		政
8月	18 農林省新農林漁業政策を発表（農業基本法等）	16 県岸川土地改良事務所設置 25 定例県議会（8/25～9/6）
9月	1 石炭鉱業合理化事業団発足 5 自民党高度成長所得倍増政策発表 10 カラーテレビ放送、4局で開始	1 山内村、町制施行 7 県立自然公園審議会設置
10月	1 国勢調査実施 4 全国農政連絡会 12 浅沼社会党委員長刺殺さる 17 第36臨時国会召集 24 衆議院解散 28 中労委、三池争議あつ旋案提示（労使受諾） 30 衆議院選挙告示	1 国勢調査県人口、94万2,872人 県精神薄弱者更生相談所設置 多久職業訓練所設置 9 市村清、県に1億5,000万円を寄付申し込み 県炭鉱離職者対策協議会を設置 28 県、塩田町の国勢調査を職権で行うことに決定
11月	1 経済審議会国民所得倍増計画答申（年成長率7.9%、GNP26兆円）	1 県小規模水道条例施行

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
25 佐賀機械金属工業会設立総会 26 県、白石平野の地下ダム現地調査を始める 31 国道208号線の全線舗装完成	26 精神衛生協会設立 ○ 県内の水稻干害深刻化	20 鹿島高校、甲子園大会で準決勝に進出 27 伊万里市山代町辻ノ堂の遺跡から1万年前の石器発見 ○ 佐賀作家クラブ誕生
2 県商工会連合会発会 16 県農業協同組合振興対策委員会設置 28 有明海防犯協会結成 県農業団体連合会役職員連盟結成式 30 漁業協同組合整備促進法に基づいて浜崎漁協を整備組合に指定	2 18日ぶりの慈雨、県内の枯死寸前の農作物を救う 15 佐教組・高教組、勤評反対の統一行動実施 18 県西北部集中豪雨（9/18～9/19）死亡1人、家屋全壊1戸、半壊2戸浸水447戸 26 第1回県老人大会	20 中島哀浪歌楽展
1 博多検疫所唐津出張所開所式 10 熊本～佐賀間2級国道208号線、佐賀～諸富橋間の舗装工事竣工式 21 県、第1次漁協整備計画を定める		1 佐賀大菊人形展開催 7 唐津市佐志枝去木の馬部溜遺跡で縄文晩期（3000年前）の住居跡発見 17 県芸術祭 19 佐賀大学工学部設置期成会発足 県・地教委、生徒急増対策について検討 23 小城鍋島家古文書、佐賀大学に寄贈される ○ 県内有線放送普及（13市町村・11農協） ○ 鹿島市能古見本城で県下最古の庚申塚発見
4 県有明海水産試験船「かもめ」進水		5 小城の花、小結に昇進

昭和35年（1960年）・昭和36年（1961年）

	国内・国際	県治
		政
11月	<p>12 3党最初のテレビラジオ討論会</p> <p>16 国際司法裁判所判事に田中耕太郎当選</p>	<p>8 県総合開発第1回審議会開催</p> <p>9 池田首相来佐</p> <p>20 衆議院選挙 候補者10人（自民5・社会2・民社1・共産1・農政連1） 投票率82.48%、当選者古賀了（農政連）・保利茂（自民） 三池誠（自民）・井手以誠（社会）・館林三喜男（自民）</p> <p>25 定例県議会（11/25～11/28）</p>
12月	<p>5 第37特別国会召集</p> <p>8 第2次池田内閣成立</p> <p>20 新道路交通法実施</p> <p>26 第28国会召集</p> <p>○ この年 3種の神器普及 インスタント食品普及</p>	<p>12 県、市村清の寄付金で集会所兼用の体育館を設置することに決定</p> <p>13 定例県議会（12/13～12/27）</p>
1月	<p>10 選挙制度審議会設置</p> <p>17 日ソ民間文化協定調印</p> <p>27 自民党大会、党近代化方針決定</p>	<p>19 松浦川、直轄河川編入決定</p> <p>20 機構改革 管財課新設 業務予防課・医務衛生課を薬務衛生課・医務予防課に改める</p> <p>23 県、上峰・中原・北茂安の3村に合併勧告</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 園芸連農産加工場操業開始</p> <p>25 国道34号線鳥飼バイパス工事完工式</p>	<p>9 炭鉱離職者対策協議会発足</p>	<p>16 第1回青年学級研究協議会開催</p> <p>23 第1回県芸術祭音楽芸能祭開催</p> <p>27 第1回県芸術祭演劇祭開催</p>
<p>1 県名古屋経済事務所開所</p> <p>10 第1回県畜産共進会開催</p> <p>12 第1回県農協振興対策委員会開催</p> <p>17 味の素佐賀工場建設決定（グルタミン酸ソーダ設備新設）</p>	<p>29 日赤病院問題、県地労委のあっ旋で解決</p> <p>○ 河上・岸・浅沼事件を契機に刃物を持たない運動始まる</p>	<p>1 県教委、高校教育審議会設置を決定</p> <p>10 県造形教育振興会主催第1回児童・生徒県展</p> <p>11 県産業教育振興会発足10周年記念式典</p>
<p>15 玄海のミンク捕鯨解禁、本県の出漁船なし(300年の伝統に終止符)</p> <p>19 松尾静磨、日本航空社長に就任</p> <p>25 武雄～嬉野間の国道34号線完全舗装</p> <p>28 上場地方農村建設青年研修所落成</p> <p>○ 佐賀機械金属工業会、郊外移転計画を進める（高木瀬工場団地）</p> <p>○ 佐賀銀行外国為替取扱業務始める</p>	<p>1 小児マヒワクチン強制接種始まる</p> <p>29 医療単価引上げ要求県医師会総決起大会、一斉1日休診</p>	<p>16 唐津市佐志惣原でたて穴式古墳発掘</p> <p>21 県教育委員会、生徒の急増による高校の再編成案を発表</p>

昭和36年（1961年）

	国内・国際	県治
		政
2 月	<p>1 右翼少年、中央公論社長邸を襲う、社長夫人刺される</p> <p>5 社会党構造改革論を軸とする新運動方針決定</p>	<p>6 県産業振興計画を策定</p> <p>28 全日農県連合会結成大会 両陛下奉迎準備委員会第1回会合</p>
3 月	<p>8 社会党大会、新委員長に河上丈太郎選出</p> <p>30 果樹農業振興特別措置法公布</p> <p>31 政府、5年制高等専門学校設置を決定</p>	<p>1 定例県議会（3/1～3/28）</p> <p>31 県警察職員国民健康保険組合解散 県地方改善対策協議会設置</p>
4 月	<p>19 炭労大手13社、合理化反対無期限ストに突入</p>	<p>1 県産業振興資金貸付要綱施行 三根村・三田川村大字箱川字南里カリの区域を編入 唐津社会保険出張所設置</p> <p>13 塩田町分町派、天皇行幸啓に際し浴道に200本のむしろ旗を掲げる</p> <p>19 天皇、皇后両陛下ご巡幸（4/19～4/22）</p>
5 月		<p>11 佐賀県、緊急失業対策地区に指定さる 小城警察署庁舎落成式</p> <p>12 鉄道建設審議会、唐津～呼子～伊万里線を調査予定線に決定</p> <p>16 機構改革 婦人児童課新設</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>3 第1回農協振興対策委員会（農協近代化への方策を協議）</p> <p>17 佐賀商工会議所、工場団地造成促進委員会を結成</p> <p>28 佐賀市内12農協、合併推進協議会結成</p>	<p>17 日本住血吸虫関係5県ブロック会議（嬉野町）</p> <p>19 県内の開業医一斉休診 県医師会、歯科医師会医療危機突破総決起大会</p>	<p>1 NHK佐賀放送局鍋島放送所完工</p>
<p>15 杵島炭鉱合理化案を提示</p> <p>16 県、杵島炭鉱労使に円満な解決を要望</p> <p>24 県炭鉱離職者職業訓練所第1回卒業式</p> <p>31 佐賀市営ト畜場落成式</p>	<p>10 日本赤十字唐津病院全面スト突入</p> <p>30 杵島炭鉱合理化団交始まる</p>	<p>24 有田町「有田焼の大物成形のロクロ技法」県重要無形文化財に指定</p> <p>25 第1回郡市対抗県内1周駅伝</p> <p>31 嬉野高、佐賀商高杵島分校、唐津西高厳木分校廃止</p>
<p>1 県、中小企業労務管理施設改善資金貸付を開始 伊万里地域、沿岸漁業振興対策事業実施地域に指定される</p> <p>6 九州山口経済連合会発足</p> <p>13 呼子線鉄道敷設促進期成会発会式</p> <p>○ 県農業試験場、水稻の直播栽培試験を始める</p> <p>○ 県農林部、除草剤PCPの使用要領を定める</p>	<p>1 佐嘉・松原両神社合併 拠出年金第1号受給 養護老人ホーム「松風園」開所 三田川村、国民健康保険実施（全市町村実施となる）</p> <p>19 杵島炭鉱1番方より金山無期限スト</p>	<p>1 厳木高等学校・嬉野商業高等学校・杵島商業高等学校開校 竜谷高女子部設置 佐賀大に農業土木科新設 県育英資金貸付け開始</p> <p>○ 戦後の出産ブームで県内中学校校舎不足を来たし、特別教室等で授業を行う</p>
<p>1 国営多良岳開発事業起工（太良町糸岐）</p> <p>15 農業危害防止運動始まる（厚生省、モデル県に指定） 玄海漁連、水産ファックスによる水産物市況産地受信事業を開始</p> <p>20 有明干拓福富工区潮止め</p> <p>25 住友石炭、杵島炭鉱北方鉱の閉山を決定</p>	<p>20 炭鉱合理化反対佐賀地区大集会開催</p>	<p>15 佐賀工業高で夜間高校生のミルク給食はじまる</p>



昭和36年（1961年）

	国内・国際	県治
		政
5月		27 臨時県議会（5/27～5/30） 副議長に横尾正二選任 ○ 県立自然公園審議会発足（県立公園審議会の発展解消）
6月	2 防衛2法改正案成立 12 農業基本法公布 16 選挙制度審議会第1回総会	9 知事、神集島・加部島・小川島の離島を訪問、地元民と話し合う 12 県風致地区規則施行 16 有田ダム建設事務所廃止 24 九州電力瓦林副社長、県内に火力発電所建設を発表 ○ 県小児マヒ対策本部設置
7月	20 小児マヒ流行のためソ連製生ワクチンの使用開始	28 定例県議会（7/28～8/10） ○ 県内の河川・クレーク・濠・有明海で魚貝類大量に死ぬ ○ 県、産炭地振興計画を発表
8月	1 大阪市釜ヶ崎に騒動発生 17 炭労臨時大会（東京）（19日杵島争議収拾を決定）	8 杵島炭鉱争議で石松住友石炭社長と原炭労委員長会談、収拾で一致（住友資本残留・7,350円の質下げ） 16 県財政調整積立金条例施行 22 自治省、県に再建期間の2年短縮を指示 ○ 県財政事情好転のため、37年度から超過課税廃止を決める

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
26 県物産(株)解散株主総会	28 伊万里市人形石山地すべり復興式典	
2 国道34号線バイパス建設促進期成会発足 6 有田ダム落成式 9 県水産試験船「かがみ」就航 16 国営幹線水路大井手幹線、芦刈幹線通水始める 30 長崎本線・佐世保線電化複線化促進期成会発足	1 小児マヒ生ワクチン投与開始 7 杵島炭鉱総決起大会を開き、1万人氣勢をあぐ 12 唐津市神集島の漁船「喜久恵丸」、韓国警備船にだ捕される(乗組員巡視船に移乗) 23 大町・北方・江北3町合同の杵島問題3か町合同危機突破大会 ○ 県立病院企業診断実施される	8 国立高専設置期成会
14 佐賀市高木瀬町に工場団地誕生 18 有明海沿岸4県漁連会長会PCPの全面禁止を決議 25 杵島炭鉱売山中止	12 タバコ耕作振興会発足 15 戦没者未亡人の靖国神社参拝開始 20 小児マヒ予防生ワクチン佐賀駅到着 24 県立病院に待望の鉄の肺到着	14 佐賀交響楽団第1回演奏会
1 佐賀市神野区画整理事務局設置 5 水産庁、有明海魚貝類PCP被害調査団来佐 8 東松浦郡厳木町日満鉱業新屋敷鉱閉山 10 県漁協婦人部連合会発足 有明漁協、廻里江漁協を吸収合併 11 鎮西橋建設促進期成会発会 ○ 有明干拓の堤防補強工事ほとんど完成 ○ 久保田村内の嘉瀬川ショートカット家屋移転問題、10年ぶりに解決	1 県下一斉に生ワクチンの投与始まる 7 多久市長東郷嘉八死去 ○ 日本脳炎大流行 ○ 上場地方の干害による収獲皆無田174haに達する	19 武雄市旧武雄藩主邸から日本最古の洋式大砲3門発掘 31 県体育館協議会発会 ○ 武雄高東校舎南側山林から洋式大砲鑄造所跡発見

昭和36年（1961年）

	国内・国際	政	県治
9 月	<p>9 炭労臨時大会（石炭政策転換闘争を決定）</p> <p>16 第2室戸台風、死者不明202人</p> <p>25 第39臨時国会召集</p>	<p>1 県消防学校設置</p> <p>8 県自動車運転免許試験場完成</p> <p>16 県、鹿島農林事務所に多良岳開発課を設置</p> <p>17 多久市長選挙、藤井儀作当選</p>	
10 月	<p>25 文部省、中学生一斉学力テスト実施</p>	<p>1 県人口、93万225人</p> <p>9 県みかん種苗対策事業実施要綱</p> <p>17 県企業誘致推進本部設置 機構改革 企画調整部門の強化・専門技術員室の新設・農業試験場の強化</p> <p>23 定例県議会（10/23～11/6）</p> <p>31 県議会、産炭地域振興対策特別委員会設置 炭労、県に離職者対策・産炭地振興・石炭産業の安定等を訴う</p>	
11 月	<p>2 第1回日米貿易経済合同委員会（箱根）</p> <p>10 農業近代化資金助成法公布</p> <p>13 低開発地域工業開発促進法公布 産炭地域振興臨時措置法公布</p> <p>15 災害対策基本法公布</p> <p>29 児童扶養手当法公布</p>	<p>9 県薬事審議会設置</p> <p>14 産炭地調査のため衆議院特別委員会来佐</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>8 佐賀市金立町で県下初の農薬空中散布行わる</p> <p>18 武雄公共職業安定所、大町町に臨時の炭鉱離職者の職業あっ旋出張所を設ける</p>	<p>1 杵島炭鉱11項目について組合側妥協正式調印</p> <p>15 第2室戸台風（台風18号）の影響で農作物に塩害が発生</p> <p>17 東松浦郡相知町岩屋炭鉱取炭業所でガス爆発、死亡9人、重軽傷2人</p> <p>25 県議会乱闘事件、7年ぶりに結審</p> <p>29 杵島炭鉱北方鉱配転始まる</p>	<p>26 県内小学校・高等学校学力テストを実施</p>
<p>1 佐賀線に初の準急「ちくご」走る 長崎～京都間に特急「かもめ」運行</p> <p>3 多良岳地区開発推進協議会発足 杵島炭鉱から北方坑分離（第2会社に移行）</p> <p>17 県、産業振興貯蓄運動始める</p> <p>21 唐津青年会議所発足</p> <p>○ 第2室戸台風による水稲潮風害20億円に達する</p> <p>○ 県農業労働力調整協議会発会</p>	<p>13 衛生処理場建設反対巨勢町民大会</p>	<p>26 県下中学校学力テスト実施</p>
<p>15 西日本マキ網漁業生産調整組合発足</p> <p>23 岸川ダム着工（九州で2番目の防災ダム）</p> <p>27 浜崎玉島町に西日本一のミカン集荷場完成</p> <p>30 竜王漁協、漁協整備促進法の組合に指定</p> <p>○ 江北町で水田300ha、鉱害のため陥没冠水する</p> <p>○ 川副町内の3電話局の統合決定（犬井道・早津江・西舟津）</p>	<p>15 佐教組・高教組合併賛否投票始まる（合併棚上げ決定）</p>	<p>6 今中次磨佐大学長に再選</p> <p>13 鳥栖高定時制生徒に県内初の給食始める</p> <p>17 県教委、高等学校長会に事務局試案として高校再編成（男女別学・学区制廃止・農業高校の定時制廃止等）の検討を依頼</p>

昭和36年（1961年）・昭和37年（1962年）

	国内・国際	県治	
		政	
12月	<p>9 第40国会召集</p> <p>12 旧軍人、右翼のクーデター計画発覚（3無事件）</p> <p>○ この年 レジャーブーム始まる シームレスストッキング流行 流行歌「上を向いて歩こう」</p>	<p>1 県立都市公園「城内公園」設置</p> <p>7 県放射能対策本部発足</p> <p>11 定例県議会（12/11～12/23）</p> <p>14 機構改革 農林部に園芸課設置 商工観光課を工鉱課・商務観光課に分離、工鉱課に産炭地振興係設置 薬務衛生課を公衆衛生課と薬務課に分離 県集約酪農指導所廃止</p> <p>21 県議会産炭地域振興特別委員会、石炭危機打開に参考人から意見聴取</p> <p>24 関西・名古屋・北九州の各経済事務所を、大阪・名古屋・小倉事務所と改称</p>	
1月	<p>25 第1回日米教育文化会議東京で開催</p>	<p>12 県、政府各省庁関係者に産振計画説明会開催（東京）</p>	
2月	<p>1 東京都の常住人口1,000万人を突破（世界初の1,000万人都市）</p> <p>20 米人間衛星フレンドシップ7号打上げに成功</p> <p>23 日ソ貿易議定書調印</p>	<p>6 県産炭地振興5か年計画を発表</p> <p>10 堀田町谷所地区分町派協定書に同意、分町問題6年ぶりに解決</p> <p>12 唐津火力発電所の設置決定</p> <p>13 参議院商工委員会、県内の産炭地視察</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 第1回酪農民大会</p> <p>7 九州能率協会県支部設立 有明漁連のり共同集荷所落成</p> <p>10 白石町御大典揃・中禰完成</p> <p>○ 県内産早生みかんの生産高全国第2位に躍進</p>	<p>10 肢体不自由児父母の会県連合会結成</p> <p>12 県警、3無事件で県内3か所を捜索 佐賀地方裁判所、乱闘県議会事件について判決</p> <p>25 諸富町臨時議会、佐賀市衛生処理場建設反対を決議</p>	<p>3 第1回県学校図書館研究大会開催</p> <p>21 NHK佐賀放送局開局20周年記念式典</p>
<p>11 全国初ののり共同施肥、佐賀郡地先で行われる</p> <p>22 九州縦貫高速道路実地踏査始まる</p> <p>24 県、土地取用法による初の取用を告示</p> <p>26 伊万里市山代町新向山炭鉱労組、相次ぐ合理化と経営者の交代に業をにやし退職金の精算を要求</p>	<p>19 県下各地大雪で交通事故多発</p> <p>20 県栄養改善普及車「かさきぎ号」と命名</p> <p>○ 児童扶養手当支給開始</p>	
<p>5 農業信用基金協会創立</p> <p>6 県農協振興対策委員会、農協の体質改善について答申</p> <p>13 佐賀市機械金属協組、工場集団化申請を行う</p> <p>16 県炭鉱離職者海外移住第1号ブラジル出発</p> <p>24 炭鉱離職者西独派遣第1号県内から7人出発</p> <p>○ 広報映画「佐賀みかん」完成</p>	<p>○ インフルエンザ猛威を振るう</p> <p>○ 県内市町村で交通安全宣言行われる</p>	<p>14 伊万里市文化連盟結成 NHKテレビ熊本局、TNC福岡局開局</p> <p>○ 名護屋城天主閣復元設計図完成</p>

昭和37年（1962年）

	国内・国際	政	県治
3月	<p>9 閣議、物価安定総合対策了解（財政金融引締め13項目）</p> <p>12 日韓会談開始</p>	<p>1 定例県議会（3/1～3/26）</p> <p>26 県、事務の合理化迅速化を計るためテレックスを設置</p> <p>○ 県議会内の会派、県政クラブ結成（3議員）</p>	
4月	<p>5 政策転換闘争で無期限スト中の炭労スト中止</p> <p>26 全日本労働総同盟組合会議結成（略称同盟会議）</p>	<p>1 県、北山ダムに国民宿舎設置 県立九千部学園設置 県果樹試験場設置（果樹分場廃止） 多布施職業訓練所廃止 県警本部に外勤課新設 県交通対策協議会設置（県交通事故防止対策協議会の組織拡大） 県スポーツ振興審議会設置 工場団地造成事業特別会計設定</p> <p>12 鳥栖市長に海口守三無投票3選</p> <p>15 鹿島市長に松浦茂3選</p> <p>20 伊万里市長に山口正次当選</p> <p>22 武雄市長に副島博当選</p>	
5月	<p>1 自治省公明選挙運動を全国に展開</p> <p>3 常盤線三河島駅構内で2重衝突、160人死亡325人重軽傷</p> <p>10 新産都市建設促進法公布</p> <p>11 石炭鉱業調査団設置</p> <p>23 国立ガンセンター開設</p>	<p>1 三根村、町制を施行</p> <p>4 機構改革、企画室設置 佐賀市衛生処理場設置反対の諸富町・北川副町・巨勢町・大川市道海島4地区の反対同盟員ら県庁に座りこむ</p> <p>11 池田知事、北・南米視察に出発</p> <p>25 臨時県議会（5/25～5/26）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 国鉄佐賀駅に運輸区設置</p> <p>12 北山ダムの県営国民宿舎の愛称、 “湖畔荘”に決定</p> <p>26 県立城内公園の管理、県に移管</p> <p>28 唐津～呼子～伊万里線、調査線に 決定（鉄道審議会）</p> <p>29 国道34号・35号線全線舗装完工式 （武雄市）</p>	<p>7 鹿島地区交通安全協会、本県初の交 通違反モニターを採用</p> <p>27 杵島炭鉱で落盤事故、20人生き埋め 5人死亡、7人重傷</p> <p>○ 県国保連合会診療費支払の1本化実 施</p>	
<p>1 県労働金庫、住宅貸付を始める 第1次農業構造改善事業・沿岸漁 業構造改善事業開始</p> <p>5 多久職業訓練所大町分所入所式 （第1期生）</p> <p>18 県農協振興対策委員会、農協の近 代化について知事に答申</p> <p>27 国道34号線全面舗装改良工事完工 開通式（嬉野町）</p> <p>28 雇用促進事業団佐賀総合職業訓練 所開所</p>	<p>10 警察職員宿泊施設「楠荘」落成</p>	<p>1 唐津農業高校・唐津工業高校・唐津 商業高校開校</p> <p>21 佐賀中央工業高校開校</p>
<p>1 県道佐賀～福岡線、2級国道昇格</p> <p>2 県果樹試験場果樹園経営研修施設 落成</p> <p>9 在京県人による県企業誘致懇談会 開催</p> <p>15 高木瀬工場団地、中小企業庁指定 の国庫補助団地に指定さる</p> <p>21 エカフェから白石平野地下水利用 状況視察団来佐</p> <p>22 県農業構造改善対策協議会発足</p> <p>24 県PCP使用対策委員会第1回会 合</p>	<p>4 九千部学園落成式</p> <p>20 佐賀地方同盟会議発足（佐賀全労発 展解消）</p> <p>26 県自衛隊協力会発会</p>	<p>16 富士村北山下合瀬の「下合瀬の大か つら」、天然記念物に指定</p> <p>25 大藤勇次、剣道十段位贈られる</p> <p>26 佐高北校舎落成式</p>



## 昭和37年（1962年）

	国内・国際	県治
		政
5月		
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自動車の保管場所の確保に関する法律公布</li> <li>2 ばい煙排出規制法公布</li> <li>7 参議院議員選挙公示</li> <li>17 北アルプス焼岳噴火</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20 東京事務所に企業対策主任を配置</li> <li>27 有沢団長以下9人の石炭鉱業調査団来佐</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>10 佐世保重工で世界最大のタンカー日章丸（13万トン）進水</li> <li>11 参議院で15議席となった創価学会、公明会を結成、院内交渉団体となる 米國テルスター1号打上げ成功</li> <li>13 生産者米価決定、1万2,177円</li> <li>18 池田改造内閣成立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 参議院議員選挙 4人立候補、投票率72.44%、杉原荒太当選（自民）</li> <li>7 県災害対策本部設置</li> <li>8 武雄市・鹿島市・北方町・嬉野町・塩田町・太良町に災害救助法発動</li> <li>10 自衛隊第4管区総監部、三田川補給処に前進指揮所設ける</li> <li>12 荒木文相を団長とする政府の九州水害調査団来佐</li> <li>28 定例県議会（7/28～8/10）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 第41臨時国会召集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 県コロナ防疫対策本部設置</li> <li>8 海区漁業調整委員会委員選挙 松浦海区無投票・有明海区投票率91.79%</li> <li>11 県農業構造改善事業審議会設置</li> </ul>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 武雄市おつほ山で神籠石発見（県下2番目）</li> <li>○ みかん新植ブームで開墾中に、遺跡発見続出</li> </ul>
<p>12 県下一斉道路交通量調査</p> <p>26 九州経済連合会菅脳部、県下の工場適地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 太良町大浦野崎漁港に自動検潮所設置</li> </ul>		<p>26 唐津海洋少年団結成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県立佐賀第3高校（現佐賀東校）敷地、南佐賀に落ちつく</li> </ul>
<p>16 県、除草剤PCPの使用を禁止、被害の現地調査を始める</p> <p>18 代行干拓大福工事竣工</p> <p>27 電源開発調整審議会、九州電力唐津火力発電所の建設認める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多久鉱業に中小鉱全国初の会社更生法適用</li> <li>○ 有明海の魚貝類死滅ふえる</li> </ul>	<p>1 「社会を明るくする」県民総ぐるみ運動始まる 豪雨（7/1～7/4） 家屋全壊1戸、半壊5戸、浸水798戸</p> <p>7 県西南部に集中豪雨（7/7～7/8） 太良町大浦で山津波、死亡56人、不明6人、重軽傷287人、家屋全壊78戸、半壊162戸、流失24戸、浸水1,177戸</p> <p>13 第1回県青少年代表者会議</p> <p>20 鹿児島本線旭駅で国電、旅客列車に追突、重傷5人、軽傷61人</p>	<p>31 離島へき地学生寮落成式</p>
<p>1 博多～唐津～佐世保間に準急「九十九島号」運行開始 山口鉱小城鉱業所閉山（従業員1,396人）</p>		<p>8 県教委、鹿児島市能古見流木区の岩陰住居跡発掘調査</p>

昭和37年（1962年）

	国内・国際	政	県治
8月	<p>12 堀江謙一青年小型ヨットで太平洋を横断、サンフランシスコに入港</p> <p>20 戦後初の国産旅客機YS11名古屋で試験飛行に成功</p>	<p>20 県養殖試験場設置（有明分場の独立） 川副分室・大浦分場設置</p> <p>22 機構改革 防災課・国民健康保険課設置</p> <p>25 県警本部機構改革 公安部を廃止、警務・刑事・警備の3部制</p>	
9月	<p>6 激じん災害法公布施行</p> <p>12 国産第1号研究用原子炉に点火</p> <p>15 行政不服審査法公布</p> <p>26 長崎県福江市で大火、391戸全焼 若戸大橋開通式</p>	<p>4 天災融資法特別災害地域に本県指定される</p> <p>11 衆議院石炭対策特別委員会来佐</p> <p>15 唐津市・鳥栖市・三養基郡（基山・中原・北茂安・上峰）・神埼町・三田川村低開発工業地域に指定さる</p> <p>19 県警、九州各県と共同広域捜査協定結ぶ</p> <p>24 衆議院地方行政委員会来佐</p>	
10月	<p>5 閣議、全国総合開発計画を決定</p> <p>6 初の1日内閣実施</p> <p>13 石炭鉱業調査団石炭対策を答申（スクラップ・アンド・ビルド）。</p>	<p>1 定例県議会（10/1～10/12） 有明村、町制施行 久保田村、芦刈村大字下古賀字大曲の区域を編入 県人口、92万1,147人</p> <p>9 県議会別館完成</p> <p>15 県農業協同組合併助成条例施行 県災害対策本部条例施行 県防災会議設置</p> <p>18 衆議院石炭対策特別委員会で池田知事参考人となる</p> <p>30 県農業構造改善事業審議会、初会合</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>28 有浦干拓潮止め</p>	<p>13 嬉野町大野原演習場問題17年ぶり解決</p> <p>27 佐賀地方裁判所、佐教組事件の3・3・4 休暇闘争に無罪判決（刑事事件）</p>	<p>○ 県、遺跡台帳の作製に着手</p> <p>○ 松浦史談会「末盧国」創刊号発行</p>
<p>6 国鉄、呼子線の経済調査始める</p> <p>11 県と農協4連の農協合併推進協議会発足</p> <p>○ 農協合併の機運高まる</p>	<p>25 県立病院好生館にガンセンター開設</p> <p>27 県ユースホステル協会設立総会</p> <p>28 農協4連合同労組結成大会</p>	<p>○ 佐賀フィルハーモニー結成</p>
<p>8 第3回全国小麦作改善競争大会で浜崎玉島町五反田のグループ日本一となる</p> <p>15 三日月村農業センター完成</p> <p>19 県工業試験場落成 県経済連農業機械センター店開き</p> <p>30 脊振山登山道路完工</p> <p>○ 経済連と園芸連との間にみかん販売問題で紛糾</p>	<p>18 県総評・炭労・社会党の石炭政策転換共闘会議、政策転換闘争を再開</p> <p>29 伊万里市二里町で大火、10戸17棟全焼</p>	<p>30 全国一斉高校学力テスト</p> <p>○ 鎮西町石室で名護屋城への一里塚発見</p>

昭和37年（1962年）・昭和38年（1963年）

	国内・国際	県治
		政
11月	<p>9 高崎達之助・廖承志「日中長期総合貿易に関する覚書」に調印（L・T貿易と略称）</p> <p>14 日英通商航海条約調印</p> <p>29 政府、石炭対策大綱決定</p>	<p>6 移動県庁、災害対策が中心となる（鹿島市）</p> <p>19 産炭地域政府調査団九州入り</p>
12月	<p>8 第42臨時国会召集</p> <p>24 第43国会召集</p> <p>○ この年 スモッグ禍問題となる 住宅難深刻化 大学の女子学生37%に達す 産米1,300万9,000トン</p>	<p>1 市町村職員共済組合新発足</p> <p>15 定例県議会（12/15～12/24）</p> <p>25 最高裁判所、基山町議会のリコールを成立と判決</p> <p>27 有明海地域総合開発計画まとまる</p> <p>30 多良岳総合開発計画（国営事業）閣議で決定</p>
1月		<p>5 県唐津総合庁舎落成</p>
2月	<p>1 日ソ貿易協定調印</p>	<p>2 佐賀市、住居表示整備審議会</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 伊万里市麻生産業久原鉱閉山</p> <p>7 有浦干拓潮止完成式（玄海町）</p> <p>16 九州地方建設局佐賀国道事務所庁舎落成式</p> <p>23 岸川ダム完工式</p> <p>29 県石炭危機突破大会</p> <p>○ 佐賀みかん東京に初出荷</p> <p>○ 炭鉱離職者雇用奨励金制度県内で初適用</p>	<p>18 肥前協会、東京県人会に改称</p>	<p>16 第1回社会教育研究大会</p> <p>27 県教委、佐賀高校を38年4月1日から佐賀西・佐賀北の2校に分離することに決定（自由志願・男女共学）</p>
<p>5 県園芸振興協議会発足</p> <p>15 農協発足15周年記念パレード県内各地で行われる</p> <p>20 福岡～佐賀～佐世保間に特急バス運行開始</p> <p>○ 福富レンコン東京市場に初出荷</p>	<p>3 唐津市に44人の密航韓国人上陸</p> <p>8 石炭政策転換要求で炭労無期限スト入り</p> <p>15 韓国から7か月ぶりに長久丸船員5人帰る</p> <p>○ この年、県内の稲豊作、史上最高24万トン</p>	<p>7 佐野常民60年忌</p> <p>20 佐賀文化団体連絡協議会発足</p> <p>○ 県教委「有明海の漁業習俗」出版</p>
<p>7 名護屋漁協、整備組合に指定</p> <p>○ 玄海の漁民、シケと降雪のため生活に困る</p>	<p>8 豪雪（佐賀地方気象台開設以来の豪雪）</p> <p>26 富士村で北山小学校の中村先生遭難殉職</p> <p>○ 中小鉱で炭鉱災害続発</p>	<p>21 県立高校の通学区域の改正</p> <p>22 大雪のため臨時休校 高校4校・中学7校・小学24校</p> <p>25 県立図書館落成式</p>
	<p>1 東脊振村小川内部落（豪雪で孤立）に食糧救援</p>	

昭和38年（1963年）

	国内・国際	県治
		政
2 月	10 北九州市発足	<p>5 県緊急雪害措置を定める</p> <p>10 「小倉事務所」を「北九州事務所」に改める</p> <p>11 県、雪害漁民救済のため、信漁連に3,000万円預託</p> <p>18 県初の防災会議開催</p> <p>25 定例県議会（2/25～3/16）</p>
3 月	31 中小企業近代化促進法公布	<p>4 唐津気象台誘致協議会発会</p> <p>11 県体育館設置</p> <p>18 県工業振興臨時措置条例制定 （県工場専業場等の設置奨励に関する条例廃止）</p> <p>23 知事選挙告示</p>
4 月	1 NHK学園高校設置	<p>1 県立いずみ荘設置 県立日の隈寮設置 嬉野町、塩田町大草野乙番地を編入 塩田町敷浪・三坂・長谷・五台の一部の嬉野町編入式（塩田町分町問題に終止符） 県看護婦等修学資金貸与条例 佐賀公共職業安定所多久出張所、本所に昇格 佐賀鉾山保安監督署設置</p> <p>2 県議会議員選挙告示</p> <p>9 県、観光開発基本計画を決定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>4 県酪農会議発足</p> <p>9 県経営者協会創立15周年記念式典 第1回玄海連合海区漁業調整委員会</p> <p>18 佐賀銀行県金庫、支店に昇格</p> <p>22 炭鉱離職者集団赴任第1陣佐賀駅 出発(35人)</p> <p>28 国道34号線嘉瀬橋完成</p>		<p>16 佐賀西高等学校・佐賀北高等学校・ 佐賀東高等学校・半津高等学校・多 久工業高等学校開校</p> <p>18 県立図書館自動車文庫ともしび号、 初巡回</p>
<p>9 明治鉱業、立山鉱閉山式</p> <p>16 嘉瀬川ショートカット通水祝賀式</p> <p>19 15万ト米出荷達成祝賀会</p> <p>23 県労働者共済生活協同組合創立 総会</p> <p>27 伊万里市久原炭鉱閉山式</p> <p>31 北波多村幸袋鉱業唐津炭閉山 (従業員452人) 唐津東港石炭埠頭完成</p> <p>○ ミカン新種ブーム(県外資本の進 出目立つ)</p> <p>○ 県内に農業法人第1号誕生 (肥前町万賀里川農場)</p>	<p>23 福岡高等裁判所、県議会乱闘事件に 関し7人に有罪の判決</p> <p>○ 炭鉱閉山・集団就職等により県の人 口減少目立つ</p>	<p>7 第12代酒井田柿右衛門死去</p> <p>11 県体育館落成式</p> <p>20 佐賀市協楽園小籠校式</p> <p>30 塩田町姫野町小学校組合発足</p>
<p>1 国道指定(263号・264号)</p> <p>3 新除草剤(MCPCA)使用説明会</p>	<p>2 上峰村で山火事、100人焼く</p> <p>3 多久市養老施設「恵光園」開園</p> <p>5 精薄児養護施設めぐみ園付属養護学 校開校式</p>	<p>9 佐賀で初の日展開催</p> <p>14 佐賀北高通信制初めて入学式を行う</p>



昭和38年（1963年）

	国内・国際	県治
		政
4 月		17 県議会議員選挙 投票率86.23%、当選、自民25・農政連5・社会11・無所属3  21 池田直、知事に無投票当選  25 佐賀市長に宮田虎雄無投票当選  30 市町村長・市町村議会議員選挙 投票率90.14% 唐津市長に金子道雄当選
5 月		7 臨時県議会（5/7～5/9） 議長小原嘉登次・副議長勝谷弘弼選任  9 県下7市選挙管理委員会総会、記号式投票の推進を決議  22 県防災計画決定  28 武雄警察署庁舎落成
6 月	20 観光基本法公布施行	7 県地域防災計画を策定  15 定例県議会（6/15～6/29）  30 宮副新一副知事退任 坂井隆治出納長退任 県災害対策本部設置 富士村・三瀬村に災害救助法適用
7 月	11 老人福祉法公布 12 生存者叙勲復活を決定	1 出納長に徳高廣次任命  4 衆議院災害対策特別委員会、県内被災地視察  10 県産炭地振興計画案決定

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
24 県炭鉱関係商工業者協議会結成		19 永原学園佐賀短期大学開学  ○ 県遺跡台帳完成
21 国営有明干拓福富工区潮止工事  ○ 水稲の集団統一栽培急増	1 県立公園北山ダムに白鳥登場	19 県絵を描く運動の会第1回集会  29 創立50周年記念第46回佐賀美術協会展  ○ 鳥栖市に市民オーケストラ誕生
6 愛知県合板工業協同組合伊万里湾視察  23 唐津市営国民宿舎落成（唐津市虹の松原）	1 県初めての交通事故処理車、鳥栖署と神埼署に配置  9 第1回県子どもまつり県内各地で開かれる 10 佐賀善意銀行発足  18 県立日の限療（救護施設）落成式  29 集中豪雨（6/29～6/30） 富士村で山津波、死亡15人・負傷21人・家屋全壊34戸・半壊106戸・浸水1,790戸	1 県文学賞創設    15 第1回県下高校総合体育大会開催  21 鍋島家古文書4,000冊県立図書館に寄託
1 大川洋鏡諸富工場落成（大川市の家具業者の諸富町進出第1号）  13 筑肥線に準急"からつ"初運行（門	3 県中央児童相談所新庁舎落成  6 県教職員連盟結成大会	1 NHK鏡山中継所テレビ放送開始九州で初のUHFテレビ局、唐津で放送開始  6 佐賀演奏家協会第1回発表会（県立図書館） 10 文部省文化財保護委員会、武雄市のおつぼ山神籠石の発掘調査始まる  13 県内文芸誌「城」同人会解散

昭和38年（1963年）

	国内・国際	政	県治
7月	16 生産者米価1万3,200円と決定(7月13日米価審議会算定方式のみを答申)	15 市町村農業委員会委員選挙、投票率75.6% 16 県土地改良調査事務所設置 (河内土地改良調査事務所、嘉瀬川土地改良調査事務所、梅ノ木谷土地改良調査事務所) 岸川防災ダム管理事務所設置 18 機構改革 企画室の充実(行政調査事務) 商務観光課を中小企業課と観光通商課に分離 農業構造改善室設置 土木部に工事検査監設置 農林部に専門技術員室設置	
8月	14 政府核実験停止条約に調印 15 第1回全国戦没者追悼式	1 県農業改良普及所を整備統合(浜崎玉島・大町・有田廃止、富士・脊振統合) 5 県、災害市町村との県政懇談会開く 8 臨時県議会(8/8~8/12) 16 市町村振興資金貸付規則公布 22 産炭地振興審議会九州地域部会、本県の同地域振興計画を決める 31 県総合開発審議会、後期産振5か年計画を答申	
9月	9 物価問題懇談会初会合	9 九州高速道路建設期成会発会 16 知事、馬渡島・向島を視察 22 県コレラ対策本部設置 25 県多良岳開発事業所設置	
10月	11 東京国際スポーツ大会開催	1 県人口、89万4,077人 5 定例県議会(10/5~10/12) 13 副知事に山田滋任命	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
司港～東唐津間の週末列車)  18 代行千拓東与賀工事、久保田工事竣工  24 福富村大福がらみ完工式  31 唐津港臨港道路完成	31 唐津市衛生処理場完工式	20 佐嘉城「シャチの門」の復元落成式
1 佐賀市呉服町のアーケード完成  6 北山ダム虹の橋渡り初め  13 佐賀～北九州間の電話、自動即時通話となる  ○ 伊万里市、ラグダ産業誘致に成功	3 国民年金相談所開設  10 佐賀専門店会争議56日ぶりに妥結  15 県戦没者追悼式  17 県立老人ホーム「いずみ荘」落成式  ○ 佐賀市衛生処理場、処理水の地下浸透方式の採用に踏み切る	10 佐賀フィルハーモニーオーケストラ第1回定期演奏会  17 県立図書館大学開放講座開く
5 炭鉱離職者雇用促進第1回自動車運転委託訓練卒業式  16 雇用促進事業団伊万里総合職業訓練所開所  23 日本工業立地センター、佐賀東部を調査 24 唐津火力発電所建設に伴う漁業補償問題解決	25 玄海沿岸でコレラ予防接種始まる  27 神埼保健所新庁舎落成式  ○ 日本脳炎大流行	4 県7市市長会、来年度以降の高校建設負担金拒否を決める  ○ 県文化財保護委員会、カチガラスの生態調査を実施
2 大阪工業会、県内視察		

昭和38年（1963年）・昭和39年（1964年）

	国内・国際	政	県治
10月	<p>15 第44臨時国会召集</p> <p>23 衆議院解散</p> <p>31 衆議院議員総選挙公示</p>	<p>16 知事、宮中で天皇陛下に県政を御説明</p> <p>21 薬局等の配置の基準を定める条例公布 武雄市・山内町・有田町・西有田村・三根町・神埼町・千代田村・諸富町、低開発地域に指定さる（第2次指定）</p> <p>2B 北部九州水資源協議会発会</p> <p>○ 県政モニター制度発足</p>	
11月	<p>1 新千円札発行</p> <p>9 東海道線鶴見駅で脱線二重衝突、163人死亡 三井三池三川鉱でガス爆発、死亡458人・重 軽傷555人</p> <p>22 米ケネディ大統領暗殺さる</p> <p>23 通信衛星利用の日米間のテレビ中継に成功</p>	<p>1 県養鶏試験場設置 県畜産試験場設置</p> <p>5 県鳥獣審議会初会合</p> <p>21 衆議院議員選挙 投票率80.07%、立候補9人（自民4・社会2・民社1・共産1・ 無所属1）、当選井手以誠（社会）・大坪保雄（自民）・三池 信（自民）・八木昇（社会）・館林三喜男（自民）</p>	
12月	<p>4 第45特別国会開会</p> <p>9 第3次池田内閣成立</p> <p>20 第46通常国会召集</p> <p>○ この年 兼業農家、全農家の4割を超える 火力発電量、水力発電量をオーバー、火主 水従となる プロパンガス使用家庭、都市ガス使用家庭 を上回る</p>	<p>4 失業者就労事業運営管理規程公布</p> <p>7 県企画室、佐賀空港候補地調査</p> <p>10 初の県政モニター県政懇談会開催</p> <p>14 定例県議会（12/14～12/25）</p>	
1月		<p>4 九州工業試験所誘致促進進期成会発足</p> <p>10 県厚生行政5か年計画発表</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>24 東与賀干拓完工式</p> <p>26 多久市北多久町県種鶏場閉鎖（江北町に移転）</p>	<p>15 県環境衛生大会</p> <p>20 第1回県身体障害者体育大会</p> <p>23 多久市に精薄者収容施設「しみず園」開園</p> <p>25 呼子町観光遊覧船組合、七つ釜を探検</p>	<p>14 県、明治行政資料を県立図書館に移管</p> <p>31 佐賀大学長に田中定決定</p>
<p>1 第2次漁業センサス実施</p> <p>2 佐賀共同仕入れ機構協同組合創立総会</p> <p>7 県中小企業団体中央会設立15周年記念式典</p> <p>15 江北町佐留志地区杵島炭鉱佐留志地区石炭採掘反対総決起大会</p> <p>23 鳥栖～東京間即時通話となる（全国主要都市との即時通話県内初めて）</p>	<p>15 多久市、消防本部設置</p>	<p>9 第1回県文学賞授賞式</p> <p>12 佐賀新聞社新社屋落成</p>
<p>1 国鉄新博多駅店開き</p> <p>12 中央の財界代表者からなる産炭地企業進出視察団来佐</p> <p>17 大阪の財界人からなる産炭地企業進出視察団来佐</p> <p>○ 10a当たりの水稲収量450kgを初めて突破</p>	<p>27 生活保護施設「南瀬陸園」廃止</p> <p>○ 県内の炭鉱の休廃山相つぎ、労働者2,000人減少</p>	<p>10 NHK八幡岳テレビ中継局UHF放送開始</p>
<p>15 佐賀・鳥栖・神埼～九州主要都市間に即時通話開通</p>		<p>10 県社会教育委員会、青年の家建設を知事に陳情</p>

昭和39年（1964年）

	国内・国際	県治
		政
1 月	<p>20 日本共同証券発足</p> <p>25 文部省特殊教育振興方策を公表（聾聵学校の設置を各県に要請）</p> <p>27 経済関係懇談会公共料金値上げの1年間ストップ等を決定</p>	
2 月	<p>5 九州開発審議会、長期総合開発計画を首相に答申</p> <p>18 文部省国立大学学生寮経費の負担区分について通達（水道費・光熱費の学生負担を明示）</p> <p>23 国鉄電子式座席予約装置の運転開始</p> <p>27 大分空港で富士航空機墜落炎上、20人死亡、22人重軽傷</p>	<p>4 県、市町村振興計画作成要綱をまとめる</p> <p>28 知事、財政再建債の繰上げ償還を表明</p> <p>29 定例県議会（2/29～3/26）</p>
3 月		<p>1 上場開発基本計画実施始まる</p> <p>3 久保田村と芦刈村との境界決定</p> <p>25 県議会内に明政クラブ結成（所属議員5人） 県議会、44年団体誘致採択 県議会、国立九州工業技術試験所の県内誘致を決議</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 唐津港に戦後初めて韓国の鮮魚水揚げ</p> <p>○ 九州松下電器島栖進出本決まり</p>	<p>31 人形石山動きだし、10戸に避難警告</p>	<p>25 郷土作家近代洋画展</p>
<p>6 杵島共同仕入機構組合創立総会</p> <p>9 有明干拓入植10周年記念式典</p> <p>11 鎮西町馬渡、加唐両島～唐津間即時通話開通（玄海の離島全部即時通話となる）</p> <p>13 佐賀営林署新庁舎落成</p> <p>17 県、国立防災科学技術センターと山崩れ総合研究会開く</p> <p>20 唐津市内の7農協合併仮調印（県内大型合併第1号）</p> <p>○ 川副町南川副漁協に日本一のノリ人工採苗場完成</p>	<p>8 教職員削減反対春闘要求貫徹総決起大会</p> <p>18 老人大学、県下5か所で始まる</p> <p>29 佐賀専門店会組合員17人を指名解雇</p>	<p>1 塩田工業高等学校設置 同人誌「文学佐賀」（佐賀）創刊</p> <p>3 東京オリンピック聖火リレーの県内コース決定</p> <p>20 佐高蓮池分校最後の卒業式</p>
<p>1 佐賀～東京間に自動即時通話開通</p> <p>13 伊万里港にフィリピンからラワン材貿易第1船入港</p> <p>15 伊万里市森林組合発足</p>	<p>2 県で初めての小児マヒの国産生ワクチン投与始まる</p> <p>3 天山地区共同衛生処理場組合発足</p> <p>12 佐賀市婦人連絡会、悪書追放の会を開き、雑誌等1,000冊焼く</p>	<p>8 定時制高校生を描く8回映画「若い麦」完成</p> <p>16 県体育協会、44年国体の誘致を県議会に陳情</p> <p>25 文化財保護委員会、有田町の奥川忠右衛門を重要無形文化財技術記録保存選択に指定</p>



昭和39年（1964年）

	国内・国際	県
		政 治
3 月	31 政府、4月1日からカラーテレビ・灯油等 8品目の自由化決定、自由化率93%	31 県財政再建計画完了
4 月	1 日本IMF8条国へ移行 海外旅行自由化  8 ミロのヴィーナス展（東京）          28 第1回生存者叙勲201人を発表 日本、経済協力開発機構(OECD)に加盟	1 機構改革 農林部の専門技術員室を農業専門技術員室と林業専門技術員室 に分離 県立みどり園設置 県教科用図書選定審議会設置 監査委員に代表監査委員制度採用  14 九州工業技術試験所、鳥栖設置決定          27 日本工業立地センター「東部地区経済開発調査」まとまる 28 第1回生存者叙勲県関係者に田中耕太郎・本村善太郎・田中鉄 三郎の3人          ○ 「米づくり県民運動推進本部」設ける
5 月	10 熊本県「蜂の巣城」で下釜ダム建設反対九 州総決起大会          20 初の中国黨参団出発	20 東部工業用水道水利権問題解決 21 臨時県議会（5/21～5/23） 県総合防災訓練（嘉瀬川）

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
27 県貿易協会設立 31 県養鶏試験場落成 代行干拓東山代工事竣工	29 三田川町で、20棟全焼16世帯焼け出される	31 県内初の小城町給食センター完成
1 国鉄唐津線中多久駅開駅 補助干拓沼川工事着工  10 別府～長崎・佐世保を結ぶディーゼル準急「西九州号」運行開始  14 県山林会館落成  19 佐賀茶商工組合設立  24 長崎本線電化複線化促進期成会発足  26 唐津シーサイドヘルスセンター完成 27 県貯蓄推進委員会、「県民貯蓄の日」定める  29 県下で初のガス窯設置 30 北方炭鉱閉山(高取資本の発祥地、55年の歴史閉す)	1 県失業対策事業に長期紹介方法(現場直行)を採用	1 塩田工業高校開校 伊万里女子高校開校  10 佐賀工業高に電子実験室完成  15 帯隈山神龍石緊急調査  19 佐賀北高通信制に肥前町から23人集団入学
12 県農山漁村近代化センター落成 13 呼子町臨海道路開通 14 佐賀駅移転のボーリング調査開始  19 県建設会館落成 20 県農林業機械化協会設立  24 株式会社サンのり設立  27 雇用促進事業団佐賀・伊万里職業訓練所完成	18 佐賀地裁、佐賀専門店会に団交再開の緊急命令  24 戸上電機、月1回の週5日制を採用 25 佐賀市高木瀬小学校で集団赤痢大流行(400人を越える大量の患者発生) 27 愛と平和の像除幕(佐賀市城内公園) 佐賀市宗龍寺に無名戦士の碑除幕  31 日赤佐賀学生献血連盟発足	7 佐賀大学、大学拡充計画の基本方針発表(理工学部・経文学部の設置構想)  13 県社会教育委員会、成人教育振興について答申  23 塩田町「唐泉山の権の天然林」を県天然記念物に、肥前鳥岩5基を県重要文化財に指定 24 国立阿蘇青年の家開所  30 お母さんバレーボール県大会(県体育館)

昭和39年（1964年）

	国内・国際	県治
		政
6 月	<p>1 新三菱重工・三菱日本重工・三菱造船の3社合併、三菱重工発足 ビール・酒類全面的に自由価格制実施</p> <p>16 新潟地震、死者不明38人・全半壊8,600戸</p>	<p>3 東部工業用水道建設事業に関し福岡・佐賀両県調印</p> <p>11 県、市町村行政診断実施要領を定め、市町村の行政診断を始める</p> <p>20 県、都市計画課設置</p> <p>22 県産業振興後期5か年計画に、住民の要望を反映すべく、多久で県政懇談会開催</p> <p>○ 県、農業就業動向発表（4年間に1万6,000人離農）</p>
7 月	<p>1 母子福祉法公布</p> <p>3 工業整備特別地域整備促進法公布</p> <p>9 生産者米価、1万5,001円と決定（5日米価審議会生産費及び所得補償方式が妥当と答申）</p> <p>18 第3次池田内閣改造成立</p>	<p>1 機構改革、企画室知事直属となる</p> <p>7 警察制度改革10周年記念式典</p> <p>10 企画室に青少年対策部門を新設</p> <p>18 定例県議会（7/18～7/31）</p> <p>○ 県、筑後川水系利水計画を検討</p> <p>○ 県立病院好生館再建5か年計画を作成</p>
8 月		<p>1 県理科教育センター設置 県特別職報酬等審議会設置 東山代耕地事業所廃止</p> <p>6 海区漁業調整委員会委員選挙、有明海区無投票、松浦海区投票率76.56%</p> <p>11 県、新佐賀段階米づくり推進本部設置</p> <p>15 県、紙業試験場を工業試験場に吸収 県農業試験場干拓営農分場設置</p> <p>29 県唐津港の振興計画案まとまる</p>



昭和39年（1964年）

	国内・国際	政	県治
9月	<p>1 閣議、中高年齢者層の雇用促進を決定</p> <p>9 オリンピック聖火リレー始まる</p> <p>17 羽田～浜松町間モノレール開通</p> <p>23 横須賀・佐世保で原潜寄港反対集会</p>	<p>1 県上場地域開発対策委員会設置</p> <p>10 県政モニター懇談会 九州横断自動車道建設期成会発足</p> <p>14 衆議院石炭特別委員会来佐</p> <p>21 定例県議会（9/21～10/5）</p> <p>30 第2次政府石炭鉱業調査団来佐（団長有沢広巳）</p>	
10月	<p>1 東海道新幹線営業開始</p> <p>3 九州横断道路開通</p> <p>10 第18回オリンピック東京大会開会</p>	<p>1 県人口、88万536人</p> <p>8 県林業構造改善事業促進対策審議会設置 県屋外広告物条例公布</p>	
11月	<p>8 国際身障者スポーツ東京大会開会（愛称パラリンピック）</p> <p>9 佐藤内閣成立</p> <p>11 全日本労働総同盟結成大会</p> <p>12 原子力潜水艦、シードラゴン号佐世保港入港</p> <p>17 公明党結成大会 経済審議会、中期経済計画の答申案決定（39年～43年）（所得倍増計画のひずみ是正、高度安定成長を目標とする）</p>	<p>16 県屋外広告物審議会設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>11 県キャラ楠保存会発足</p> <p>21 第5回県石炭対策推進協議会</p> <p>28 県漁業共済組合設立</p> <p>○ 多良岳開拓道路完成（鹿島市）</p>	<p>1 交通教育指導車「緑十字号」を警察本部に配置</p> <p>5 唐津胃研究所開所</p> <p>11 動く交通教室、県内で初めて開かれる</p>	<p>6 第1回7市対抗陸上競技大会</p> <p>15 オリンピック聖火、県内を通過（9/15～9/16）</p> <p>25 帯限山神籠石緊急調査報告会</p>
<p>8 全販連佐賀種鶏場完成</p> <p>13 タイのバンコクで西日本物産見本市に出品</p> <p>19 大日鉱業立川炭鉱2鉱着炭式</p> <p>20 新佐賀段階米づくり推進運動本部第1回現地検討会</p> <p>○ 県水産試験場でカニの繁殖実験に成功</p>	<p>7 県献血推進協議会発足</p> <p>8 第1回県統計大会</p> <p>20 佐賀市城内公園に噴水登場</p>	<p>1 NHK、カラー放送開始（九州・山口地方）</p> <p>2 佐賀商高移転総合落成式</p> <p>18 佐賀野鳥の会設立総会</p> <p>19 県総合競技場建設促進協議会発会</p>
<p>4 県信用保証協会創立10周年記念式典</p> <p>5 サンのり株式会社落成（佐賀市西与賀町）</p> <p>11 高木瀬工場団地落成式</p> <p>13 開拓道路能古見線（代行事業）完成（鹿島市）</p> <p>19 農林省九州農政局白石地下ダムの注水試験を実施</p> <p>25 国家公務員共済組合佐賀宿泊所「有明荘」落成</p>	<p>5 鳥栖市衛生処理場完成</p>	<p>3 第1回県中学校剣道大会開催</p> <p>5 県理科教育センター落成式</p> <p>8 パラリンピックに県勢7人参加（金2・銀1・銅4獲得）</p> <p>9 佐賀新聞社創立80周年記念式典</p>

昭和39年（1964年）

	国内・国際	政	県治
11 月			
12 月	<p>16 石炭鉱業審議会、炭価引上げ利子補給などの石炭産業再建策を答申（第2次答申）</p> <p>21 第48国会召集</p> <p>○ この年 流行歌「東京五輪音頭」、ノースリーブ</p>	<p>1 県屋外広告物条例施行 公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例施行</p> <p>9 県未収債権審査委員会設置</p> <p>12 県、出先機関の統合計画発表（県税事務所・福祉事務所・家畜保健衛生所の3機関） 定例県議会（12/12～12/24）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>30 県道佐賀駅～中館線用地買収、11年ぶりに解決</p> <p>○ 八幡岳観光道路完成</p>	<p>26 本県女性ドライバー第1号、26年間無事故で全国初の大臣表彰をうける</p> <p>27 ナイチンゲール賞受賞の武藤ヒロ死去</p>	<p>29 県教師会結成大会</p>
<p>1 昭和バス、九州で初めてワンマンカー運行始める 県漁業取締船「ありあけ」就航</p> <p>12 県労働者住宅生活協同組合創立総会</p> <p>22 県開拓会館落成</p> <p>○ 県内誘致企業に暗影（サンウェブ工業・ペリカンメリヤス操業中止）</p>	<p>12 県医師会一斉休診</p> <p>20 県医師会一斉休診</p>	<p>5 県庁演劇サークル10周年記念公演「父と子」上演</p> <p>7 県教育映画祭（県立図書館）</p> <p>12 「佐賀県生物誌・植物編」出版</p>



昭和40年（1965年）

	国内・国際	政	県治
1 月	<p>10 ILOドライバー調査団来日</p> <p>22 閣議、中期経済計画決定（成長率8.1%、物価上昇2.5%）</p>	<p>21 国立防災科学技術センター「有明海北部沿岸内水排除」について現地調査</p> <p>31 県東部開発促進期成会発足</p>	
2 月	<p>20 アンブル入り風邪薬による中毒死多発のためアンブル入り風邪薬販売自発的に中止</p>	<p>1 青少年の声を聞く会「こんにちは知事さん」開く 県庁中別館落成式</p> <p>9 県、唐津港運営委員会に、唐津港振興5か年計画諮問</p>	
3 月	<p>6 山陽特殊鋼株式会社、会社更生法の適用申請（負債総額500億円、戦後最大の倒産）</p> <p>13 交通安全国民会議初会合</p>	<p>1 定例県議会（3/1～3/26）</p> <p>7 民社党県支部再建大会（4年ぶり）</p> <p>11 県、特別職報酬改定について特別職報酬審議会に諮問 海口守三島樺市長辞任</p> <p>20 機構改革 交通指導課・運転免許課新設</p> <p>31 佐賀市・大和町・鹿島市・塩田町、低開発工業開発地区の指定をうける</p>	
4 月		<p>1 千代田村・西有田村・三田川村・北茂安村、町制施行 県立血液センター設置 県漁民研修所設置 県有料道路建設事務所設置 県道路整備調査事務所設置 佐賀社会保険事務所設置 自動車運転免許試験場設置 県医療扶助審議会設置 第1回町村職員採用統一試験実施</p> <p>5 県内で初めての住居表示制度唐津市で実施</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
14 六角川、牛津川改修促進決起大会	11 大雪のため県内交通機関マヒ (1/11～1/12)  22 県春闘共闘委結成大会	29 日韓親善文化使節韓国児童劇団公演
3 日本商工会議所産炭地視察団来佐  14 佐賀市と全国県庁所在都市間の電話即時通話となる  26 唐津シーサイドヘルスセンターにボーリング場開場(県内初めて)	18 米軍ジェット機基山町宮浦に墜落 太良町大浦地区で全国初の潜水病調査  26 県子供クラブ連絡協議会発会式	5 唐津市、暴力団関係者の興業に体育館を貸さないことを決定  18 佐賀高等学校最後の卒業式
1 白石町有線放送電話起工式 3 県上場開発対策委員会、上場地域開発計画書を答申  15 松浦漁協等に解散命令  20 県水産試験場移転新築落成  27 県下初の農業後継者激励大会 28 県営有明総合実験農場開場式 29 新佐賀段階米づくり運動推進大会	5 唐津市老人福祉センター完成  7 佐賀地方同盟発足	22 NHK佐賀放送局FM放送開始  ○ 佐賀植物友の会できる
1 多久市農協(納所農協を除く6農協合併)・太良農協(太良・大浦・東部酪農の3農協合併)発足  4 有明海モガイ漁13年ぶりに解禁	1 県母子福祉センター設置  7 県レントゲン車完成「なぎさ号」と命名	1 佐賀大学農学部農芸化学科新設

昭和40年（1965年）

	国内・国際	県治
		政
4月	<p>15 衆議院ILO特別委員会で87号条約承認、これに伴う関係国内4法案強行採決</p> <p>30 4月の消費者物価指数11年半ぶりの大幅上昇</p>	<p>17 鳥栖市長選挙、安原謙市当選</p> <p>22 県農政協議会発足（農政連の改組）</p> <p>○ 県、役場消防の設置を奨励する</p>
5月	<p>11 山村振興法公布</p> <p>28 九州横断自動車道建設法公布（長崎～大分）</p>	<p>12 国立九州工業技術試験所開所 県鳥に「かささぎ」決定</p> <p>13 県議会明政クラブの3人、自民党入党</p> <p>17 臨時県議会（5/17～5/18） 副議長坂井靖弘選任</p> <p>25 県政懇談会</p> <p>27 県筑後川水資源開発協議会設置</p>
6月	<p>1 福岡県山野炭鉱でガス爆発、236人死亡</p> <p>9 ベトナム戦争反対国民行動の日、安保以来最大規模の集会デモとなる</p> <p>10 参議院議員選挙公示</p> <p>22 日韓協定調印式</p>	<p>15 県、44年国体誘致申請書提出</p> <p>16 機構改革 青少年交通対策室設置 行政調査課設置 県税事務所・福祉事務所・家畜保健衛生所を佐賀・唐津・武雄の3か所に統合 佐賀県物産観光東京センター設置 嘉瀬川土地改良事務所設置</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
11 伊万里港に唐津税関支署監視署設置 14 県韓国経済視察団出発 15 天山横断林道完成 16 佐賀銀行東京支店開店 23 県営白石北部用水改良事業25年ぶり完成 30 県水産試験場漁民研修所落成 ○ 人形石山防災工事農林省直轄工事(5か年計画)開始	17 県血液センター採血車「しろはと号」到着 25 県身体障害者連合会から盲部会脱退し、盲人福祉協会を設立	20 佐賀市金立町大門金立山麓で1,400年前の古墳発見 28 日本退職女教師連合会県支部結成
12 国営多良岳パイロット事業にミカン苗新植始まる 20 国鉄呼子線起工式 31 県農畜産物流通改善対策協議会、価格安定を建議	1 県血液センター開所式 17 県青少年問題研究大会 25 県採血車「しろはと号」初の採血	9 佐賀フィルハーモニーと杉町バレエ合同公演 26 佐賀大学筑紫寮、水道料問題で紛争
1 佐賀商工会議所内に中小企業技術研修所開設 6 佐賀・唐津～伊万里間電話自動即時通話となる 15 うまい佐賀みかんづくり推進本部結成 23 県共同仕入れ機構協同組合連合会発足	5 県ママポリス登場 18 豪雨、武雄地方で160mm冠水	4 佐賀市「大隈重信旧宅」・武雄市「おつほ山神籠石」史跡に指定 13 色鍋島今右衛門300年祭

昭和40年（1965年）

	国内・国際	県治
		政
6月		
7月	<p>9 生産者米価、150kg1万6,375円決定</p> <p>27 閣議、不況対策で国債発行の方針決定</p>	<p>4 参議院議員選挙 立候補者3人（自民1、社会1、共産1）、投票率73.56%、鍋島直紹（自民）当選</p> <p>10 東与賀耕地事務所廃止</p> <p>11 唐津市県議会議員補欠選挙、立候補者4人、投票率71.14%</p> <p>14 県議会産炭地域振興対策特別委員会、杵島炭鉱役員を参考人に呼ぶ</p> <p>26 知事、県農業試験場の移転を発表（跡地に総合競技場建設を計画） 定例県議会（7/26～8/6）</p>
8月	<p>13 前首相池田勇人死去</p>	<p>1 山田滋、副知事辞任</p> <p>4 徳富廣次、副知事任命 板谷経道、出納長任命</p> <p>13 九州地方行政連絡会議発足</p> <p>22 山内町に県下初の役場消防団発足</p> <p>26 県地域沿岸漁業構造改善審議会設置</p>
9月		<p>5 多久市長選挙、藤井儀作当選</p> <p>7 筑後川総合開発反対福岡・佐賀両県漁民大会（大牟田市）</p> <p>8 県青少年問題協議会、毎月第1日曜日を「家庭の日」と決定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
24 唐津港海水汚濁対策協議会初会合 25 肥前町に県内初の観光釣船協議会発足	26 第1回国土を美しくする運動県推進委員会 27 第1回県歩け歩け運動（佐嘉神社～川上峡）	
8 うまい佐賀みかん作り推進大会 9 県中小企業労働対策協議会発足  16 北山ダム湖畔荘別館落成 19 県鉱業市町村協議会、関西に企業誘致班派遣 22 県物産観光センター、東京銀座に開店	1 佐賀市信愛社争議82日ぶりに解決 3 伊万里市人形石山崩き出す、9戸に避難命令  18 豪雨（7/18～7/19）	8 佐賀大学拡充整備期成会発会  23 星巖寺楼門、県文化財に指定  27 旭高、旭学園、佐賀女子高と名称変更短大・多久分校新設を決める
1 佐賀市農協発足（市内10農協合併、県下最大のマンモス農協）  6 八幡岳開発促進期成会発会  10 白石町有線放送電話施設開通式 佐賀市中央大通開通式  18 石炭鉱業審議会杵島炭鉱再建計画審議（債務73億円、融資元本返済猶予、利子棚上げ、開発資金の融資を決定）  ○ 旧地主の農地報償金支払手続き始まる	2 佐賀市衛生処理場落成（佐賀市巨勢町） 7 県衛生合同庁舎落成（佐賀保健所・県衛生研究所）  29 県初の母親大会開催 30 県市町村青少年問題協議会設置	1 全国高校野球大会西九州大会、佐商3年ぶり甲子園出場決定  8 全国高校剣道大会で佐賀北高校優勝  18 県公立学校施設整備期成会発会  21 県教職員チーム、全国教職員剣道大会で優勝
1 佐賀市内の青空駐車禁止となる 3 鹿島市ミカン選果場完成	1 精薄児施設「くろかみ学園」落成	

昭和40年（1965年）

	国内・国際	県治
		政
9 月		<p>9 北部九州水資源開発協議会が筑後川からの白石平野への導水を承認</p> <p>29 定例県議会（9/29～10/12）</p>
10 月	<p>1 第10回国勢調査</p>	<p>1 国勢調査、県人口87万1,885人</p> <p>29 観光政策審議会、九州観光ルート（S字型）答申</p> <p>31 アメリカ州知事団一行13人来佐</p>
11 月	<p>10 日本原子力発電会社、初の営業用原子力発電に成功</p>	<p>3 元県知事真崎長年死去</p> <p>10 全国都道府県議会議長会（嬉野町）</p> <p>25 伊万里港運営委員会（石炭中心からの転換をはかる）</p> <p>○ 県営ほ場整備事業に東与賀村、浜崎玉島町を指定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>11 北方町にゴルフ場設置さる（旧北方炭鉱跡）</p> <p>18 杵島炭鉱再建案に労使双方調印</p> <p>26 国鉄長崎本線複線化工事佐賀～鍋島間完成、正式運転開始</p> <p>○筑後川水資源開発漁業影響調査始まる</p> <p>○三菱古賀山鉱業所月1人60ト出炭の日本記録樹立</p>	<p>10 県医療機関整備審議会、西有田町共立病院のケイ肺病棟設置を承認</p> <p>29 県総評第16回定期大会（地区労の統合を決める）</p> <p>30 初の県交通安全県民会議開催</p> <p>○ニクピタン問題、県内全般に広がる</p>	
<p>1 伊万里市内10農協合併 塩田、大草野農協合併 国鉄西唐津駅から鮮魚専用列車運行始まる 唐津港公共臨港鉄道開通</p> <p>2 九州経済同友会、民間の九州開発構想をまとめる</p> <p>5 県初のミカン園の航空防除始まる</p> <p>11 佐賀駅高架移転促進期成会発会</p> <p>16 復活第1回県発明考案奨励展開催</p> <p>○脊振山間部水稲に冷害発生（被害6億7,000万円）</p>	<p>1 佐賀駅にみどりの窓口設置</p> <p>3 第1回家庭の日</p>	<p>2 第18回県民体育大会（初の郡部開催、小城市）</p> <p>31 佐賀オペラ初公演「真間の手古奈」上演</p>
<p>5 武雄市国鉄嬉野新線期成会発会</p> <p>10 日本商工会議所産炭地視察団来佐</p> <p>14 県内企業就職者激励大会</p> <p>24 18銀行佐賀支店開店（佐賀市白山町）</p> <p>29 川副町大詫間代行干拓瀬止工事</p> <p>○県、通産省の委託を受けて玄海町値賀崎の原子力発電所適地調査を始める</p>	<p>1 県、佐賀市内18の病院を救急病院に指定</p> <p>11 全電通県支部、スト処分のマンモス訴訟を佐賀地裁に提訴</p>	<p>1 唐津鏡山山麓で日仏合同の唐津遺跡発掘調査</p> <p>13 鳥栖商高設置期成会発会</p> <p>○「佐賀県の歴史と文化」刊行</p>



昭和40年（1965年）・昭和41年（1966年）

	国内・国際	県治
		政
12月	<p>14 水資源開発審議会、「筑後川水系水資源開発基本計画」答申</p> <p>18 日韓条約批准書交換</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学の学生数100万人突破</li> <li>○ 戦後最大の証券不況</li> <li>○ 消費者物価上昇7.4%（過去10年間の最高）</li> </ul>	<p>3 県民生委員審査会設置</p> <p>11 定例県議会（12/11～12/24）</p> <p>20 県住宅供給公社発足</p>
1月	<p>19 国債引受契約書調印</p> <p>21 日ソ航空協定調印</p> <p>29 赤字国債発行</p>	<p>17 在日韓国人の永住申請始まる</p> <p>25 県、ニューカッスル病防疫対策本部設置</p>
2月	<p>4 全日空機東京湾に墜落、33人死亡</p>	<p>25 伊万里市等9市町村近接の長崎県と消防協定締結</p> <p>○ 県、公共事業早期着工のため公共事業等施行推進本部設ける</p>
3月	<p>4 カナダ航空機、濃霧で羽田空港防潮堤に激突炎上、死者64人</p>	<p>1 定例県議会（3/1～3/28）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 佐賀玉屋新装開店 県屋外広告物条例完全実施となる</p> <p>7 北方町鉦寄復旧工事完成</p> <p>8 県開拓20周年記念式典</p> <p>18 有明漁連ノリ保管庫完成</p> <p>24 本県、米作り日本一となる。10a 512kg</p> <p>○ 東京銀座香蘭社ビルに「東京佐賀 クラブ」発足</p>	<p>9 県警、交通事故急増のため非常事態 宣言</p> <p>25 県体力作り協議会発足</p>	<p>3 県産業教育80周年記念式典</p>
<p>6 日韓漁業協定規制水域への本県漁 船に出漁許可証交付</p> <p>20 県営嘉瀬川土地改良事業起工</p> <p>21 伊万里港エネルギーセンター建設 促進期成会発足</p> <p>24 米作日本一東与賀村から出る</p> <p>○ 県商工会連合会、中小企業高度化 推進委員会設ける</p>	<p>7 体力づくり歩け歩け運動始まる</p> <p>13 副島博武雄市長死去</p> <p>15 済生会唐津病院、成人病教室を設け る</p> <p>18 諸富町、佐賀市の衛生処理水佐賀江 放流に反対し知事に斡旋を申し入れ</p> <p>26 佐賀市衛生処理場処理水佐賀江放流 をめぐる県・佐賀市・諸富町3者会談</p>	<p>12 現代日本版画展</p> <p>16 中島哀浪歌碑除幕式</p> <p>24 県陶芸協会発会</p>
<p>6 昭和40年度朝日農業賞、福富村に 決定</p> <p>9 県農林部、来年度の米づくり推進 策として近代化集団倍增を決める</p> <p>27 筑後川開発影響調査団、水産物へ の影響の中間報告取りまとめる</p> <p>28 長崎本線電化複線化協議会、電化 利用債の引受けを正式表明</p> <p>○ 巖木町広瀬のミカン園共同防除施 設完成（西日本一）</p>		<p>12 県漕艇協会発足</p> <p>17 小城高校多久分校開校式</p> <p>24 第1回県スポーツ賞受賞者決定（5 団体、4選手）</p>
<p>4 第1回有田川汚水対策協議会</p>		

昭和41年（1966年）

	国内・国際	政	県治
3 月	<p>5 BOAC機、富士山付近で空中分解墜落、死者 124人</p> <p>20 全国カラーテレビマイクロ回線完成</p> <p>31 法務省、住民登録集計による総人口1億を突破</p>	<p>5 公営選挙連盟県支部発会</p> <p>6 武雄市長選挙、本山昌太郎当選</p> <p>12 社会党県本部結党20周年式典</p> <p>29 政府、ノリ被害に天災融資法適用を決定</p> <p>30 県農政協議会第1回総会</p>	
4 月	<p>1 交通安全施設等整備事業緊急措置法公布</p>	<p>1 県警察本部交通部新設、機動捜査隊発足 佐賀市の新住居表示スタート</p> <p>5 諸富警察署庁舎完成</p> <p>17 伊万里市長山口正次当選、鹿島市長矢野正治当選</p> <p>19 機構改革 中小企業診断指導室設置</p> <p>25 水資源開発公園筑後川工事事務所開所</p>	
5 月		<p>10 県、総合開発審議会に県勢新長期計画を諮問</p> <p>20 臨時県議会（5/20～5/21）</p>	
6 月	<p>1 公職選挙法改正公布（永久選挙人名簿作成）</p>	<p>1 佐賀地裁・家裁新庁舎落成</p> <p>2 県政懇談会</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>5 日韓共同規制水域出漁船協議会結成</p> <p>19 県陸運事務所庁舎落成</p> <p>25 筑肥線に準急「からつ」初運行(博多～有田～佐世保)</p>	<p>6 佐賀市衛生処理水佐賀江放流反対町民総決起大会(諸富町)</p> <p>9 県地方労働委員会創立20周年記念式典</p> <p>17 佐賀市巨勢町に交通安全母の会結成</p> <p>25 労働問題懇話会開催</p> <p>○ 県、佐賀市衛生処理場処理水の放流禁止を勧告(処理水が基準以上)</p>	<p>7 農村漁村体カづくり運動大会</p> <p>20 第1回県庭球大会</p> <p>22 第1回県スポーツ授賞式</p>
<p>1 武雄市農協発足(7農協合併) 上場農業協同組合発足(呼子・打上・値賀・有浦・入野・入野西部・切木の7農協合併)</p> <p>3 県農林漁業祭開催</p> <p>11 李ラインだ捕漁船の特別給付金支給受付開始(県関係14隻) 漁民研修生第1回入所式</p> <p>22 県花き園芸組合設立総会</p>	<p>1 多久警察署内に交通事故相談所開設 県家庭相談員設置</p> <p>5 佐嘉神社前に県内初の歩道橋完成</p> <p>13 佐賀市民会館落成式</p> <p>○ 県青少年交通対策室、民間交通指導員250人委嘱</p>	<p>1 小城高多久分校廃止 教員保養所廃止 佐賀大学に経済学部・理工学部設置 カラーテレビ放送の本格的放送始まる</p> <p>12 旭学園佐賀女子高多久分校開校</p> <p>18 太良町高校誘致促進協議会設立</p> <p>20 県出身佐々木精一郎、ボストンマラソンで第2位に入賞</p>
<p>9 県東部工業用水道通水試験始まる</p> <p>13 玄海国定公園区域拡張促進期成会発会</p> <p>17 初の県工業開発懇談会開催</p>	<p>1 県警察本部各署に交通事故相談所開設</p> <p>2 佐賀市昭栄中、県内初の交通安全宣誓</p> <p>18 沖繩慰霊塔の名称、「はがくれの塔」に決定</p> <p>27 鹿島市民会館落成</p>	<p>13 県体育館に立体音響装置完成</p> <p>19 多久聖廟の設計書発見される</p>
<p>3 海岸保全区域に東与賀・久保田・福富の海岸指定</p> <p>4 敷木町に西日本一のミカン園共同防除施設完成</p>		

昭和41年（1966年）

	国内・国際	政	県治
6月	<p>14 ILO87号条約発効</p> <p>25 国民の祝日に関する法律の改正法公布（敬老の日・体育の日が加わる）</p>	<p>17 県児童福祉審議会設置</p> <p>○ 県、土木工事入札について、土木工事指名審査委員会設置</p>	
7月	<p>1 第2次佐藤内閣発足</p>	<p>1 県、給与等の支給事務の集中管理始まる 県西部ブロック市町村消防相互応援協定調印</p> <p>5 定例県議会（7/5～7/16）</p> <p>21 建設省、九州縦貫高速道路最終計画発表</p> <p>31 県競馬事務局廃止</p>	
8月	<p>1 佐藤改造内閣成立</p> <p>26 閣議、石炭産業の長期安定策決定</p>	<p>1 県競馬組合設置</p> <p>20 佐賀・福岡両県国道3号線バイパス建設促進期成会発会</p> <p>29 定例県議会（8/29～9/10）</p> <p>31 管理職員等の範囲を定める規則施行</p>	
9月		<p>1 県中部19市町消防相互応援協定調印</p> <p>2 県議会、ILO関係特別委員会を設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>8 B S 液化ガス唐津工場に中近東から第 1 船入港</p> <p>13 第 1 回た捕漁船特別給付金支払</p> <p>18 県公害対策連絡会議発足</p>	<p>25 県社会福祉会館落成</p> <p>○ 各地に献血協力組織できる</p>	<p>9 小中学校長会・高等学校長会、県高校入試制度改善研究部会発足</p>
<p>2 筑後川水系農業開発構想策定委員会発会</p> <p>5 県議会、総理大臣顕彰(水稲改良)の山川寛・岡田正憲への感謝決議</p>	<p>6 脊振山に私人飛行家アンドレ・ジャビー遭難記念碑除幕</p> <p>12 佐賀市中央ライオンズクラブ結成</p> <p>15 県自治会館落成</p> <p>18 古湯・熊の川温泉、国民保護地に決定</p>	<p>1 第 1 回県陶芸協会展</p> <p>19 鹿島実高塚田分校廃校</p> <p>26 杵島山古墳群発掘調査</p>
<p>11 県農協系統組織整備委員会第 1 回会合</p> <p>18 県航空防除推進協議会発足</p> <p>20 諸富橋無料開放</p> <p>23 佐賀北部バイパス用地買収工事始まる</p> <p>31 県農協共済創立10周年記念式典</p>	<p>2 県血液センター街頭献血を始める</p> <p>31 県、日本脳炎の汚染地区に指定さる</p>	<p>9 杵島山古墳群杵島山古墳発掘調査</p> <p>25 同人誌「玄海派」創刊</p>
<p>15 県園芸連20周年記念式典</p> <p>16 佐賀土地改良区成立(市の江・大井手・西芦刈・東芦刈合併)</p>	<p>8 佐教組 I L O 関係二条例制定に抗議し、1.5割の休暇闘争を実施</p>	

昭和41年（1966年）

	国内・国際	県治
		政
9 月	24 天草五橋開通 台風26号関東中部地方に大被害、死者不明 314人	
10 月		1 富士村・東与賀村、町制施行 県人口、86万8,704人  25 元衆議院議員真崎勝次死去 27 県青少年育成県民会議結成
11 月	30 第53臨時国会召集	1 浜崎玉島町、町名を浜玉町に変更

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
17 農村出稼家庭の声を聞く会  20 福岡ー長崎間直通の特急バス開通 21 杵島6か町村による杵島水資源開発推進総決起大会  29 佐賀商工会議所70周年記念式典		20 虹の松原保護対策協議会発足
1 国鉄有田駅、コンテナ基地に指定される  5 第1回県月給農家大会 6 西唐津ー東京間鮮魚特急列車第1陣出発  9 佐賀電話局、市外電話センター開局 11 第1回九州地区水稲集団栽培研究会  13 県産炭地域振興実施計画案まとめる 14 佐賀江大橋完工  20 県観光キャッチフレーズ「伝説と陶芸のくに 佐賀」に決定  28 唐津城落成式	14 共同募金20周年記念県社会福祉大会  19 沖縄の「はがくれの塔」除幕式 21 佐教組半日休暇闘争  24 肥前町で出かせぎ者の労働組合結成	2 県写真協会結成  17 有田焼創業350年記念式典 20 NHK有田テレビ中継局開局  25 第21回国民体育大会で毛利俊海、高校男子槍投に優勝  29 歌人中島哀浪死去
1 県農業後継者対策協議会発足 2 コンバイン、県で初の実用化  14 県南部地区観光推進協議会発会  16 浜千拓締切  29 県中部観光振興協議会発足	7 杵東地区衛生処理場問題4か月ぶり解決	1 日仏合同唐津市鏡地区遺跡発掘調査再開  4 県立図書館主催婦人と読書研究協議会開催  19 大隈記念館引渡式  30 佐賀東高落成式  ○ 県営テニスコート完成



昭和41年（1966年）・昭和42年（1967年）

	国内・国際	県治
		政
12月	<p>3 佐藤改造内閣成立</p> <p>27 第54通常国会召集 衆議院解散</p> <p>この年 ○ 交通事故による死亡者1万3,904人で交通戦争の言葉生まれる ○ ひのえうまで出生率25%減</p>	<p>12 定例県議会（12/12～12/24）</p> <p>14 県総合開発審議会10年間の総合開発計画を答申</p>
1月	<p>8 衆議院議員選挙公示</p>	<p>5 県庭球場設置</p> <p>15 県東部工業用水道設置</p> <p>21 県教委、10月21日休職闘争参加者3,198人を行政処分</p> <p>25 佐教組、県人事委員会にマンモス提訴</p> <p>29 衆議院議員選挙、投票率83.8%、当選保利茂(自民)、三池信(自民)、八木昇(社会)、井手以誠(社会)、大坪保雄(自民)</p>
2月	<p>11 初の建国記念日</p> <p>15 第55特別国会召集</p> <p>19 佐藤第2次内閣発足</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>9 県から初めてみかん専用列車発車</p> <p>15 第1回佐賀地区雇用協議会</p> <p>16 千代田町六五郎橋完成</p> <p>19 松浦川かんがい用水改善対策協議会発足</p> <p>26 長崎本線電化複線化促進期成会利用債の配分を決定</p>	<p>1 県医師会健康教育センター店開き</p> <p>6 県、対ガン協会発足</p> <p>12 厳木町営老人ホーム「寿光園」落成 佐賀市神野町できゅう舎など2棟全焼、火に狂った馬57頭 街に逃走(15頭死亡)</p> <p>28 県の胃検診車「ひまわり号」配置</p>	<p>1 幼稚園教育90周年記念式典</p> <p>4 佐賀演奏家協会、佐賀合唱団合同演奏発表会</p> <p>21 県総合運動場起工式(佐賀市高木瀬 県農業試験場跡)</p>
<p>4 伊万里市手形交換所開所</p> <p>9 米づくり県一に東与賀町の山田義勝2年連続入賞</p> <p>11 白石町地下ダム地下水注水試験始まる</p> <p>16 有料道路「名護屋大橋」と命名</p>	<p>16 22年ぶりの寒波襲う(脊振山に積雪1m)</p> <p>20 県胃ガン検診車「ひまわり号」検診開始</p> <p>22 佐教組10.21スト参加者大量処分抗議集会</p> <p>23 第1回交通安全県民総決起大会</p>	<p>27 大学設置審議会、伊万里工大の認可見送り</p> <p>○ 同人誌「神埼文学」創刊</p>
<p>7 伊万里湾開発のためのボーリング調査始まる</p> <p>10 第1回県農業後継者実績発表大会</p> <p>19 元衆議院議員永井英修死去</p>	<p>11 第1回「建国記念の日」県内で賛否様々の行事開催</p>	<p>17 伊万里地区学校給食センター完成</p>

昭和42年（1967年）

	国内・国際	県治
		政
2 月		25 定例県議会（2/25～3/14）
3 月	7 物価安定推進会議初会合	1 伊万里湾開発調査室設置  8 鳥栖市永吉町の国道3号線と34号線分岐点に県警交通機動警ら隊分駐所設置  20 赤松職業訓練所、中央職業訓練所と改称 21 知事選挙告示  31 県議会議員選挙告示
4 月		1 福富村・芦刈村・久保田村町制施行  15 県東部工業用水道管理事務所設置 ・ 知事選挙、立候補者2人、投票率76.94%、池田直3選 ・ 県議会議員選挙、投票率79.39% 当選、自民32人、社会8人、民社1人、無所属2人  28 市町村長・市町村議会議員選挙、佐賀市長宮田虎雄、唐津市長瀬戸尚当選
5 月		1 県有料道路建設事務所廃止

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>24 大和町温泉開発祝賀会</p> <p>28 新佐賀段階米作り運動推進技術者大会</p>		<p>26 成富兵庫記念碑除幕 第16回祐徳マラソン大会、佐々木精一郎国内最高タイムで優勝</p>
<p>1、白石バイパス完成</p> <p>6 県西北部地域観光振興協議会発足</p> <p>14 唐津火力発電所火入れ</p> <p>15 中小企業技術者研修第1期生修了式</p> <p>18 名護屋大橋有料道路供用開始</p> <p>○ 新佐賀段階米づくり運動推進本部米作近代化500集団の中から高度集団化集団として10集団指定</p> <p>○ 有明ノリの生産、全国3位の4億4,000枚に達す</p> <p>○ 日本陶器の伊万里進出問題化</p>	<p>3 伊万里市衛生処理場完成</p> <p>8 万国博キャラバン佐賀入り</p> <p>20 大和町に特別養護老人ホーム「ロザリオの園」落成</p> <p>25 西有田共立病院ケイ肺病センター落成</p> <p>○ 北方町、田中耕太郎に名誉町民の称号贈る</p>	<p>1 NHKテレビ多久中継所完成</p> <p>3 佐賀大初代経済学部長に平野隆教授選任</p> <p>5 NHK松浦FM局開局</p> <p>10 NHK武雄テレビ中継局完成</p> <p>26 田沢義輔顕彰碑除幕式（鹿島市旭ヶ丘）</p> <p>30 小城町社会教育会館落成（旧春日山道場） 佐賀県史（下巻）発刊</p>
<p>7 巡視船「からつ」就航 唐津地裁、簡易裁新庁舎落成</p> <p>20 県、基山町基山でヘリコプターによる植林を実施</p> <p>23 県食肉環境衛生同業組合発足</p>	<p>19 県血液センター落成</p> <p>24 県警マイクロ回線開通・主要道府県と即時開通</p>	<p>1 県立養護学校開校</p> <p>22 酒井田柿右衛門の製陶技法、県文化財に指定 佐賀民俗学会設立総会</p> <p>○ 高校体育に22年ぶりなぎなた・弓道・レスリング復活</p>
<p>1 県薬業指導所改築落成</p>	<p>2 県内に悪書追放の白いポスト登場</p>	<p>1 NHKテレビ呼子中継局完成</p>

昭和42年（1967年）

	国内・国際	県治
		政
5 月		<p>6 臨時県議会（5/6～5/8） 議長小原嘉澄次、副議長富田寿之選任</p> <p>18 県、第27回国体（昭和47年）に正式立候補 20 池田知事、アメリカアイオワ州の日米知事会議に出席</p> <p>24 最高裁判所、県議会乱闘事件に上告を棄却、有罪確定 27 日中友好協会正統県本部結成</p>
6 月	<p>5 第3次中東戦争勃発 6 閣議、資本取引き自由化基本方針を決定 9 佐藤首相、国会周辺デモ許可を認める東京地裁の決定に異議申し立て</p>	<p>6 県防災図上演習</p> <p>16 福岡・佐賀両県境の市町村消防相互応援協定に調印 19 県、干害対策本部設置 26 定例県議会（6/26～7/10）</p>
7 月	<p>2 自動車工業会、自動車保有台数が1,000万台に達したとの推定を発表</p> <p>16 政府、生産者米価150kg 1万9,521円と決定</p> <p>27 第56臨時国会召集 28 NHK、ラジオ受信料廃止決定</p>	<p>1 県交通事故相談所設置</p> <p>9 伊万里市・有田町・西有田町・北方町・相知町・敷木町・多久市・武雄市・山内町に災害救助法適用 県災害対策本部設置</p> <p>11 政府災害調査団来佐 12 伊万里市に県水害復旧対策本部設置</p> <p>15 県、公共用地先行取得事業特別会計設置</p> <p>21 伊万里市等、9市町激じん災害地に指定決定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>13 県、みかん園の航空防除試験を実施</p> <p>16 唐津西港に県漁民会館完成</p> <p>17 有田川水質保全対策協議会設置</p> <p>23 日本陶器の伊万里市進出3か月ぶり解決</p> <p>31 有明漁連、佐賀干拓反対を決議</p> <p>○ 八幡岳災害無線中継所完成</p>	<p>○ 久留米大学岡部浩洋教授、宮入貝の天敵線虫を発見</p>	<p>20 県教委、テニス教室開設</p> <p>24 佐賀龍谷学園創立90周年記念式典</p> <p>31 県在外県人子弟県費留学生第1号来佐</p>
<p>1 伊万里港開港</p> <p>8 県水産上屋、唐津魚市場社屋落成式</p> <p>12 八幡岳観光道路開通 枝吉樋門開閉協議会、開閉権の県への移管を了承</p>	<p>14 武雄市上水道時間給水を始める</p> <p>○ 県内各地に干害の被害でる</p> <p>○ 佐賀市内の交通、車両増加でマヒ状態に陥る</p>	<p>2 佐賀美術協会展50回記念回顧展</p> <p>24 虹ノ松原保存対策協議会第1回総会</p> <p>30 佐大入寮問題をめぐる学生処分抗議に抗議して学生無期限ストに全学突入</p>
<p>1 県、伊万里湾開発構想地元懇談会開催</p> <p>7 新佐賀段階米づくり運動推進本部総理顕彰決定</p> <p>12 玄海町値賀崎で九電による原子力発電所地質検査始まる</p> <p>18 杵島炭鉱再建策まとまる</p>	<p>8 伊万里市・有田町一帯に集中豪雨、死亡34人・重軽傷510人・家屋全壊流失169戸・家屋半壊365戸・家屋浸水2万6,352戸（7/8～7/9）</p> <p>11 唐津市養母田高尾山で地すべり、5世帯避難</p> <p>13 伊万里市人形石山動きだす、13戸に避難命令</p> <p>19 10.21スト初公判（佐賀地裁）</p>	<p>20 県水泳場設置</p>

昭和42年（1967年）

	国内・国際	県
		政 治
7 月		29 臨時県議会（7/27～8/2）
8 月	3 公害対策基本法公布       27 ユニバーシアード東京大会開催	1 県青年の家設置   4 農林省、県に天災融資法の適用を決定    12 西村建設大臣、県内7.9被災地視察   18 県警、巡查長制度発足 23 知事、米づくり3年連続日本一達成のための農村行脚 （8/23～8/24）  31 佐賀労政事務所鳥栖出張所廃止
9 月	5 石炭鉱業再建整備臨時措置法公布       28 新清水トンネル開通	1 機構改革 河港課を河川課・港湾課に、医務予防課を医務課・予防課にそれぞれ分課し、公衆衛生課を環境衛生課に改む、中小企業診断指導室を中小企業総合指導室に改める 農業構造改善室を農業構造改善課に改める 九州自動車高速道路建設のため鳥栖土木事務所に高速自動車道路建設推進室設置 中小企業課に消費者行政係を設置 6 池田県知事、亀井福岡県知事と初会談  8 県干害対策本部を県下6農林事務所に設置   19 政府干害調査団来佐   26 干害で県激じん災害地に指定 27 県水対策委員会設置  29 定例県議会（9/29～10/11）

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
25 九州農業開発基本計画推進協議会 発足 ○ 7.9災害被害の伊万里市大川内の 窯元移転を検討 ○ 杵島炭鉱の再建問題化		31 佐賀大学紛争に警官隊出動 ○ 県教委のカササギ生息調査とまる (県内に約1万羽)
3 有明海の魚貝類汚染調査始まる 9 戸上電機社長、戸上信文死去 10 石炭鉱業審議会、杵島鉱業所再建 整備案を承認 12 総理大臣顕彰記念、災害克服米づ くり運動決起大会 17 杵島炭鉱労組、再建案を承認 30 伊万里湾石油基地建設絶対反対県 玄海地区漁民大会 ○ 県内各農協準低温農業倉庫の建設 にのりだす	2 武雄市時間給水に入る 第18回佐賀新聞主催花火大会(交通 マヒのため佐賀市から諸富町に移転) 11 高木瀬町協楽園住民、戦後20年ぶり に兵舎生活に別れをつけ鉄筋アパ ートに転居	10 県青年の家落成(大和町部渡城) 26 西有田町山本の岩陰縄文遺跡発掘調 査
6 伊万里港に木材輸入船100隻目入港 7 武雄バイパス完成開通式 13 園芸連段ボール工場落成 16 県経済部、中小企業近代化推進総 合連絡協議会設ける 25 有明海ノリ自衛監視船6隻就航	1 県立病院に脳神経外科・神経科新設 離島に県、保健婦を駐在させる 16 武雄市上水道完全断水、自衛隊給水 応援出動(各家庭に1日1回バケツ 1杯の給水)	1 佐賀大農学部にて園芸学科設置決定 6 大隈記念館展示始まる 7 県、干害被災生徒222人に授業料の減 免を決定 18 県ヨット協会発足



昭和42年（1967年）

	国内・国際	県
		政 治
9月		
10月	<p>20 元首相吉田茂死去（31日戦後初の国葬）</p>	<p>1 県人口、86万6,073人</p> <p>5 衆議院石炭対策特別委員会調査団、三菱古賀山炭鉱調査</p> <p>9 元県知事田中省吾死去</p> <p>16 佐賀政経懇話会発足</p> <p>20 閣議、本県等の西日本干ばつ災害を激じん災に指定し天災融資法発動を決定</p> <p>29 倉石農林大臣、干害視察のため来佐</p>
11月	<p>15 ワシントンで日米共同声明（小笠原は1年以内に返還、沖縄は明示せず）</p> <p>17 地方自治法施行20周年記念式典</p> <p>25 佐藤改進黨内閣成立（保利建設大臣、鍋島科学技術庁長官就任）</p>	<p>21 7・9災害の総合的実態研究調査団現地調査</p> <p>25 県人事委、教職員に対する超勤手当支給を判定</p> <p>29 地方自治法施行20周年記念式典（30日記念講演）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 佐賀西部魚市場設立（武雄、高橋、大町の3魚市場合併）</li> <li>○ 住ノ江港の機帆船、石炭合理化のあおりで姿を消す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 唐津市ゴミ収集スピード化のためダストコンテナ導入</li> <li>○ 無医村の加唐・馬渡両島に医師着任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県教委、教職員の宿日直代行員制度の実施を決定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1 県中小企業機械貸与公社発足</li> <li>2 三菱鉱業、三菱古賀山鉦を43年1月をメドに閉山と組合側へ通告</li> <li>6 中小企業金融公庫佐賀出張所開設</li>   <li>12 福島大橋開通</li> <li>16 伊万里川改修計画説明会（川幅を2倍に拡張）</li> <li>18 九電唐津火力発電所開所</li>   <li>○ 山内町に隣接の有田町製陶業者進出続出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12 引揚者特別交付金受給申請受付開始</li> <li>15 北波多村役場火災</li>   <li>27 馬渡島に海底ケーブル開通、電灯ともる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 佐賀大、警官隊導入のもとで前期試験行われる</li>   <li>23 佐賀大学、学生大会でスト解除決議、長期紛争に終止符</li> <li>25 玄海町、県内初めて教職員宿日直廃止の代行措置を決める 大隈記念館落成</li> <li>30 郵政省、UHFテレビで佐賀放送（仮称）に予備免許</li> <li>31 画家山口亮一死去</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>10 山村振興対策審議会、七山村を振興山村に指定</li> <li>11 伊万里－佐賀間に直通バス開通</li>   <li>16 伊万里湾内の漁協、石油基地の基礎調査に同意</li>   <li>21 西九州縦貫道路新設促進期成会発会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20 県医師確保対策協議会設置</li> <li>21 有明海沿岸警備艇「はやかぜ」就航</li>   <li>29 睡眠薬による野犬狩県内で初めて実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 県室内温水プール一般に公開</li> <li>4 旭学園開学70周年記念式典</li> <li>6 佐賀大学学長選挙、田中定再選 中学校教育20周年記念式典</li>   <li>28 塩田工商総合落成式</li> </ul>

昭和42年（1967年）・昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
12 月	<p>4 第57臨時国会召集</p> <p>この年 ○ ベトナム特需 ○ ミニスカート流行</p>	<p>9 定例県議会（12/9～12/22）</p> <p>22 天災融資法に基づく特別被害地域の指定</p> <p>25 衆議院災害特別委員会調査団来佐（ノリ被害調査）</p>
1 月	<p>19 米軍原子力空母エンタープライズ佐世保寄港</p> <p>23 日本海で米海軍情報収集艦アエプロ号、北朝鮮に捕獲される</p>	<p>14 保利建設、鍋島科学技術庁両大臣就任祝賀会</p> <p>28 元衆議院議員江藤夏雄死去</p> <p>○ 県啓、佐世保警備に出動</p>
2 月		<p>28 唐津港運営審議会、第3次唐津港整備5か年計画を答申</p> <p>29 県、道路公団と九州縦貫高速自動車道建設用地取得事務委託契約結ぶ</p> <p>定例県議会（2/29～3/26）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 伊万里港、出入国管理港に指定</p> <p>6 七浦代行干拓潮止め</p> <p>10 鳥栖市庁舎落成式</p> <p>11 国鉄呼子線工事実施計画認可</p> <p>16 県、三菱古賀山鉾炭鉾閉山対策協議会設置</p> <p>26 九州電力、値賀崎に原子力発電所設置構想を発表</p> <p>○ 本年産米10a当たり540kg(全国第4位) 県全体で29万4,300t</p> <p>○ 唐津湾・伊万里湾ノリに白ぐされ赤ぐされ病発生(全滅に近い被害でる)</p>	<p>11 精薄者援護施設「富士学園」落成式</p> <p>18 福岡高等裁判所、佐教組事件で佐賀地裁判決を支持、全員無罪判決</p> <p>24 民生委員制度50周年記念県社会福祉大会</p>	<p>15 ろう学校総合落成式</p> <p>○ 県内の私立高校、ベビーブームの影響が去り、定員を割る学校増える</p>
<p>10 佐賀東部、福岡南部広域開発会議発会</p> <p>22 三菱古賀山鉾閉山</p> <p>23 県経営者協会20周年記念式</p> <p>30 九州電力、原子力発電所建設用地として玄海町値賀崎の用地買収を正式申し入れる</p>	<p>18 佐世保原子力空母入港に反対する3派系全学連、佐賀大学に150人おしかく</p> <p>23 交通安全県民総ぐるみ大会</p> <p>26 県婦人検診車「なでしこ号」と命名</p>	<p>13 佐賀大学に園芸科と養護教員養成課程設置決定</p> <p>16 佐賀女子高武雄校舎開校</p> <p>30 大学設置審議会、佐賀家政大の追加認可を答申</p>
<p>2 ノリの白ぐされ病被害対策県関係市町村長会議</p> <p>12 西藤津森林組合発足</p> <p>20 県ノリ白ぐされ病の特別被害地域に決定</p>	<p>1 ダンプの背番号制スタート</p> <p>14 豪雪、交通網マヒ、停電、山間地各所で孤立部落500戸出る、ミカン・ハウス野菜・山林等に大被害、被害約60億円、学校229校休校(2/14~2/15)</p> <p>25 佐賀土木事務所古湯出張所全焼</p>	<p>10 定時・通信制教育20周年記念式典</p> <p>14 佐賀大、寮問題一時休戦となる</p> <p>15 初代佐賀大学理工学部長に高田京一当選</p>

昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
3月	27 富山県のイタイタイ病カドミュウムの流出源は三井神岡鉱と厚生省結論	<p>1 伊万里港運営委員会、同港第3次港湾整備5か年計画を答申</p> <p>9 県、水系別水資源開発基本計画まとめる</p> <p>27 山村振興対策審議会、七山村の振興対策を答申 明治百年記念植樹祭</p> <p>28 県、2月豪雪の特別被害地域に指定される（天災融資法、激じん災害法2法適用）</p> <p>31 自治体消防制度20周年記念県消防大会</p>
4月	<p>1 米ジョンソン大統領、ベトナムの北爆停止を公表</p> <p>5 小笠原返還協定に調印</p>	<p>1 水防管理団体の指定 県内職公共職業補導所設置 県内職相談員設置 県立高等看護学院設置</p> <p>3 唐津市議会、県内初めて公害対策特別委員会設置</p> <p>23 県内産炭地域振興実施促進基本調査まとめる</p> <p>30 天災融資法に基づく特別被害地域の指定（白くされ病のノリ被害漁家対策）</p>
5月	13 米と北ベトナムの正式会談開催	9 県政85周年記念式典

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 伊万里川河川改修対策協議会発会</p> <p>8 国鉄呼子線起工式</p> <p>18 ノリ被害に対する天災融資法融資額 8 億9,000万円に決定 国営有明干拓廻里江工区漁業補償問題解決</p> <p>29 新佐賀段階米作り運動推進大会</p> <p>○ 佐賀市営畜殺場廃止</p>	<p>2 新日本協議会県連合支部結成</p> <p>10 唐津市の救急業務開始</p> <p>22 大町の国道34号線に県内初の地下道完成</p> <p>28 県運転免許総合試験場落成</p>	<p>5 佐賀テレビ 創立総会 県教委、脊振山冷泉寺跡出土の経筒4本購入</p> <p>23 警官隊警備の中で佐大入試</p> <p>26 NHK佐賀放送会館完成</p>
<p>1 農協創立20周年記念大会 有料道路住ノ江橋無料開放 鳥栖基山農協発足</p> <p>5 富士町宮古湯温泉会館落成</p> <p>6 佐賀地裁伊万里支部、伊万里簡易裁判所合同庁舎完成</p> <p>17 門司税関伊万里監視署、出張所に昇格</p> <p>18 佐賀労働基準局新庁舎落成</p> <p>24 有田焼工業協同組合新工場落成</p> <p>27 中小企業団体中央会創立20周年記念式典</p>	<p>1 県下に25年ぶりの地震（震度4、日向灘地震）</p> <p>5 佐賀市医師会付属高等看護学院開校</p> <p>7 佐賀齒科衛生士学院開校</p> <p>13 県立高等看護学院落成式</p>	<p>1 20年ぶりに女の学校長2人誕生 県立高校の宿日直廃止</p> <p>7 佐賀で日展はじまる</p> <p>8 仁比山神社の御田舞、12年ぶり開催</p> <p>23 府招浮立、県文化財に指定 佐賀家政大第1回入学式</p> <p>28 県総合運動場水泳場落成</p> <p>○ 小城郷土史研究グループ「小城の歴史」創刊</p>
<p>1 第1回県商工まつり</p> <p>7 伊万里市東山代町国見炭鉱の閉山決定</p>	<p>1 戦後初の分裂メーカー</p> <p>9 富士町古湯に日照権訴訟起きる</p>	<p>4 佐賀児童合唱団第1回公演</p> <p>10 県総合運動場水泳場一般に公開</p> <p>11 県立図書館第1回古文書研究会開催</p>

昭和43年（1968年）

	国内・国際	政	県治
5 月	<p>16 十勝沖地震発生</p> <p>25 政府、小笠原返還協定の承認を決定</p>	<p>21 臨時県議会（5/21～5/22） 県、伊万里地区炭鉱閉山対策協議会設置</p>	
6 月	<p>2 九大構内に米軍機墜落</p> <p>10 九州縦貫高速自動車道起工式</p> <p>13 参議院議員選挙公示</p> <p>17 東大安田講堂内の学生排除に警官隊を導入</p> <p>26 小笠原諸島復帰実現</p> <p>27 経済企画庁国土総合開発構想発表</p>	<p>14 唐津市・伊万里市・東松浦郡消防相互応援協定調印</p> <p>17 2月豪雪による天災融資法の特別被害地域として13市町村を指定</p> <p>18 機構改革 県民室設置（青少年交通対策室廃止） 統計調査課設置（行政調査課と統計課を統合） 土木部に用地監を設置 農林部土地改良課を土地改良第1課に、干拓開墾課を土地改良第2課に改める 農林部の各耕地事務所、土地改良事務所、ダム建設事務所を農林事務所に統合</p> <p>22 県、日脳対策本部設置</p> <p>○ 米軍板付基地移転問題化</p>	
7 月	<p>1 交通反則金制度と郵便番号制始まる</p>	<p>7 参議院議員選挙、立候補6人（自民1・社会1・民社1・共産1・無所属2） 投票率78.4%、杉原荒太（自民）当選</p> <p>15 自然公園審議会、玄海国定公園の延長を答申</p> <p>17 国営有明干拓滞留問題第1回協議会</p> <p>29 定例県議会（7/29～8/10）</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
15 九州電力玄海調査所開所 16 全国ノリ養殖技術研究協議会開催 17 県農協合併推進協議会開催  20 杵島郡有明干拓福富工区潮止め工 事完了  27 果樹試験場果樹会館落成  30 伊万里市山代町久恒鉱業楠久炭鉱 閉山  ○ 県職安課、県内出かせぎ者実態を 発表（昨年2,390人に達す）	23 県労働者福祉協議会結成	25 「新郷土」創刊20周年記念式  28 佐賀放送株主総会、サガテレビと改 称
2 呼子国民宿舎完成  8 有明干拓福富工区潮止完工式  12 シェル石油タンカー入港テスト(住 ノ江港)     24 上場開発事業促進期成会発会  27 波戸岬国民宿舎完成	14 鹿島保健所新庁舎落成 15 県厚生部、農夫症一斉調査実施	25 松浦文化連盟機関紙「文化春秋」発 刊
1 鹿島市農協発足（市内5農協合併） 三養基農協発足 3 県産業安全大会 5 唐津駅高架改築期成会発会     17 韓国貿易使節団来県  ○ 県水産課、有明海ノリ漁場の区画 整理を計画 ○ 白石地区野菜出荷協議会発足（レ コン・タマネギの共同出荷）	1 交通反則金通告、初日に46人に反則金 2 豪雨 床上浸水32戸、床下浸水1,092戸    15 県立病院、臨床研修病院に指定	1 佐賀県史（中巻）発刊     10 佐賀市久保泉町帯隈山神籠石発掘調 査 17 全国高校軟式野球県予選に県立ろう 学校初優勝



昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
8 月	<p>1 第56臨時国会召集</p> <p>8 札幌医大で日本初の心臓移植に成功</p> <p>14 自治省「広域市町村圏構想」発表</p> <p>○ 米の生産過剰、政治問題になり始める</p>	<p>3 県豚コレラ防疫対策本部設置</p> <p>6 海区漁業調整委員会委員選挙、投票率有明海区96.2%、松浦海区無投票</p> <p>17 県産炭地域振興推進協議会開催</p> <p>30 知事、米軍板付基地の切木地区移転反対を表明</p>
9 月	<p>17 食糧庁長官、自主流通米制度を実施することを衆議院で表明 科学技術庁種ヶ島宇宙センター、気象観測用ロケット打上げに成功</p> <p>26 政府、水俣病と新潟県阿賀川水銀中毒は公害病と発表</p>	<p>10 県虹の松原ユースホステル設置</p> <p>20 増田防衛庁長官、板付基地の切木移転計画を否定</p> <p>21 松浦海区漁業調整委員会補欠選挙（無投票）</p> <p>22 第1回県政現地めぐり開催</p> <p>30 定例県議会（9/30～10/12）</p>
10 月		<p>1 県人口、85万6,769人</p> <p>9 県鉱業市町村協議会、産炭地振興に拠点開発方式を提案</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>6 国鉄長崎本線久保田～牛津駅間複線化工事完成</p> <p>7 伊万里駅開業70周年記念式</p> <p>12 杵島水資源開発促進期成会設立総会</p> <p>22 県ノリ養殖安定推進協議会（養殖の過密対策、採苗等規制問題）</p> <p>26 鉄道建設公団、長崎新幹線構想発表</p> <p>29 佐賀駅高架移転計画案まとまる</p>	<p>4 有田ライオンズクラブ結成式</p> <p>○ 県、犬取締条例の制定指導を始める</p>	<p>2 甲子園県代表に佐工高、春夏連続出場決定</p> <p>4 唐津市陸上競技場完成</p> <p>23 小学校学習指導要領講習会県内3会場が始まる</p> <p>28 九州縦貫自動車道建設予定地内の遺跡調査</p>
<p>3 国鉄長崎本線複線化工事（伊賀屋～佐賀間）完成</p> <p>4 国鉄諮問委員会、佐賀線・岸岳線の廃止を石田総裁に答申 県、上場地域の水資源開発構想まとめる</p> <p>5 唐津～阪神間に定期貨物船就航</p> <p>9 鉄道建設公団唐津鉄道建設所開所 国鉄佐賀線存続期成会発表</p> <p>14 六角川汚水被害漁民総決起大会</p> <p>22 長崎本線三田川～神埼間の複線開通</p>	<p>1 県、民間社会福祉施設職員に特殊勤務手当の県費補助を実施</p> <p>8 米軍基地唐津上場移転反対大集会</p> <p>19 佐賀郡大和町江熊駐在所で爆薬爆発</p> <p>27 小川島・松島・加唐島への本土からの送電祝賀会</p>	<p>1 佐賀県史（上巻）発刊 「かささぎ短歌会」発表</p> <p>6 第23回国民体育大会夏季大会（福井県）で古川友幸、青年100m背泳で優勝 伊万里市東山代町白蛇山洞くつ遺跡発掘調査（1万年前の遺跡）</p> <p>12 清和高新校舎完成</p> <p>16 県下11地教委、佐教組の宿日直拒否闘争で378人を訓告処分 （9/16～9/19）</p> <p>21 第1回県ユースラリー</p> <p>28 明治記念展開催（県体育館）</p>
<p>1 唐津市農協、北波多村農協合併 第1回県離島青年会議</p> <p>11 松浦東部農協発足（七山・玉島・浜崎の3農協合併）</p>	<p>1 中原村県内初めて国保老人10割給付を実施 県市町村交通災害共済制度発足</p>	<p>1 NHK唐津西テレビ中継放送局開局</p> <p>6 佐賀スイミングクラブ発足</p>

## 昭和43年（1968年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>16 九州地方で米ぬか油中毒患者ひろがる、厚生省販売中止</p> <p>17 川端康成、ノーベル文学賞決定</p> <p>21 反戦統一行動デー、反日共系全学連新宿駅を占拠、騒乱罪適用逮捕者734人</p> <p>23 明治百年記念式典</p> <p>25 最高裁判所、八海事件に無罪判決</p>	<p>23 県明治百年記念式典</p> <p>27 県「あすを開く青少年大会」開催</p>
11 月	<p>9 九大油症研究班、米ぬか油中毒事件の原因はカネクロールと発表</p> <p>10 沖縄第1回主席公選、屋良朝苗当選</p> <p>18 文部大臣、大学問題の解決策を中央教育審議会に諮問</p> <p>30 佐藤改造内閣発足（保利茂、官房長官に就任）</p>	<p>6 知事、国道3号線交通緩和に基山バイパス建設計画発表</p> <p>22 国の山村振興対策審議会、富士町を振興山村指定区域に答申</p> <p>28 県警第3機動隊発足</p>
12 月	<p>10 東京都府中市で現金輸送車襲われ3億円奪われる 第60臨時国会召集</p>	<p>9 定例県議会（12/9～12/23）</p> <p>11 県旗制定</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 県韓国経済視察団出発</p> <p>24 鳥栖市上水道落成式</p> <p>25 福富町土地改良事業15年ぶりに完成 玄海国定公園区域編入記念祝賀会 (伊万里市)</p> <p>26 国営有明干拓 35年ぶり完工</p> <p>28 県原子力発電所設置促進対策協議会発足</p>	<p>15 米ぬか油中毒事件、県内で25人の被害届けでる</p> <p>21 県米ぬか油中毒事件で無料相談所開設</p> <p>○ 米ぬか中毒、県下で患者100人超す</p>	<p>19 明治百年記念講演とリサイクル開催</p> <p>○ 県下農業団体、学校給食に米の使用運動始める</p> <p>○ 名護屋城鳥瞰図発見さる</p>
<p>1 久保田町農協発足 (久保田町・久保田町第1 両農協合併)</p> <p>7 日本商工会議所企業進出視察団、県内産炭地視察</p> <p>11 七瀬干拓再締切</p> <p>13 太良町油津海岸保全事業完成</p> <p>20 多久市青果連、低温ミカン貯蔵庫完成</p> <p>28 富士町～前原町間県道拡張工事完成</p> <p>○ 米の生産過剰で県内の食糧倉庫満杯で新米の入庫に支障を来たす</p>	<p>26 国民健康保険法施行30周年記念式典</p> <p>27 鹿島市・塩田町・嬉野町共同衛生処理場完成</p>	<p>6 大隈重信宅の復元落成記念式</p> <p>○ 栗原荒野「葉隠のころ」再刊</p>
<p>13 農林省・経済企画庁水資源合同調査団、白石平野の地盤沈下視察</p> <p>16 県出身、株式会社リコー社長・市村清死去 呼子・高串阿漁港第3種漁港に変更 石炭鉱業審議会答申に抗議、無期限坑底座りこみ始まる(県下4炭山)</p>	<p>10 青振村、県下初の福祉資金貸付制度創設</p> <p>11 県内の主な観光地の火災予防施設調査</p> <p>12 佐賀ローターアクトクラブ結成</p>	<p>1 浜玉中に寄宿舎完成</p> <p>7 旭学園施設総合落成式</p>

昭和43年（1968年）・昭和44年（1969年）

	国内・国際	政	県治
12月	21 アメリカ3人乗り衛星船アポロ8号打上げ （24日人類初の月周回飛行に成功）  25 石炭鉱業審議会、石炭産業抜本再建策答申 27 第61通常国会召集  29 東京大学、大学紛争のため入試中止決定	21 石炭対策、産炭地振興危機突破県大会	
1月	16 ソ連の宇宙船ソユーズ4・5号初の宇宙ドッキングに成功 18 東京大学に機動隊導入（19日安田講堂封鎖解除さる）	1 三日月村、町制を施行  7 県、佐賀博事務局を設置  19 県選出国会議員と町村議会議員との行政懇談会開催 20 機構改革 知事室新設（秘書、広報事務） 観光通商課を観光課に改める 工鉱課を工鉱通商課に改める 県岩屋川内ダム建設事務所設置 24 県過疎対策問題打合せ会（21市町村）  30 県警察本部、初の総合交通診断を実施 31 徳富副知事退任	
2月	1 東名高速道路開通（岡崎～静岡間） 3 米国大使館構内に覆面の学生10人乱入  14 京都大学教養学部自治会と反日共系学生が乱闘、双方で250人の負傷者を出す		25 県議会議事堂・議場の改造完成  28 定例県議会（2/28～3/26）
3月	6 八幡・富士両製鉄合併契約書に調印、新会社「新日本製鉄」		

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>18 県営農推進大会、基盤整備充実を決議</p> <p>27 九州電力唐津重油専焼火力発電所建設の漁業補償交渉解決</p>	<p>21 北山ダム感謝のつどい開催（湖底に沈む108戸の人々を招き感謝する）</p>	<p>27 県広域人事研究会発足</p> <p>○ 佐賀錦保存会発足（佐賀・鹿島）</p>
<p>1 佐賀商工会議所会頭福岡敦次郎死去</p> <p>20 唐津港運営委員会、石炭荷役機械ガントリークレーン廃止決定</p> <p>29 第1回日本万国博覧会佐賀県推進協議会開催</p> <p>○ 九州縦貫高速自動車道県内クイ打ち始まる</p>	<p>16 唐津湾に重油汚染発生</p> <p>23 玄海漁民油被害対策漁民大会</p> <p>24 日赤県支部社屋落成</p>	<p>21 県教委、県立博物館建設整備委員会設ける</p>
<p>1 本県から韓国の米作り指導へ6人出発</p> <p>10 県漁協金融推進大会</p> <p>14 県酪農業協同組合連合会創立50周年大会</p> <p>18 杵島水資源開発促進期成会、ダム建設総決起大会</p> <p>26 明治鉱業、県内2鉱（西杵・佐賀）の第2会社を提案</p> <p>○ 杵島炭鉱、明治鉱業の閉山具体化する</p>	<p>6 県婦人問題対策審議会、婦人の健康と保健対策について答申</p> <p>18 唐津競艇場で入場者暴徒化、放火破壊強奪を行い警官隊出動</p>	<p>1 県市町村教育長連合会、45年度から小中学校教職員の宿日直の全廃を決議</p> <p>18 神埼町尾崎通称天竜山で帯隈山神籠石の緊急発掘調査</p> <p>23 第18回祐徳マラソン大会、佐々木精一郎、日本最高記録で3連勝</p>
<p>9 小川島・加唐島、電話即時通話開通</p>		

昭和44年（1969年）

	国内・国際	県治
		政
3 月		31 県農業試験場三瀬分場設置、同干拓分場廃止
4 月	<p>2 最高裁判所、都教組事件（勤務評定反対闘争の地方公務員法違反に問われた事件）に無罪の判決</p> <p>4 新技術開発財団（市村財団）初の授賞式</p> <p>22 国土総合開発審議会、新全国総合開発計画の最終案決定</p> <p>25 新石炭対策関係3法案成立</p>	<p>1 県農業研修学園設置 自動車取得税新設 佐賀市制80周年記念式典</p> <p>6 鳥栖市長選挙安原謙市再選</p> <p>18 新都市計画法説明会</p> <p>24 大町町、杵島炭鉱閉山対策本部設置</p> <p>30 佐賀市と周辺8町村との消防応援協定調印</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 県石炭緊急対策協議会設置</p> <p>16 向島漁港完成 杵島炭鉱閉山反対総決起大会</p> <p>20 佐賀博覧会開催</p> <p>30 県窯業試験場落成</p> <p>31 千代田町内の3農協合併 上場農協、名護屋農協合併 川副町3農協（西川副を除く）合併 鹿島市古枝農協、鹿島市農協と合併</p> <p>○ 昭和43年度県内ノリ販売額（60億8,849万5,000円）日本一となる</p>	<p>12 NHK放送ドラマ「信子とおばあちゃん」ロケーション始まる 自治労県本部2,8闘争を始める</p> <p>17 唐津湾で重油もれ騒ぎ発生</p> <p>29 佐賀市ハシゴ付消防車購入 RHマイナス友の会発足</p>	<p>15 NHK佐賀テレビ局放送開始 神埼町日の隈山テレビ送信所開局</p> <p>19 県教委「君が代」斉唱について通達</p> <p>23 佐大入学試験（入試学外で実施）</p> <p>25 県教委、10.8統一行動参加者2,476人 訓告処分</p> <p>27 大和町古墳公園開園</p> <p>○ 県教委、「佐賀県の人物と遺跡」出版</p>
<p>1 石炭鉱害復旧事業団佐賀出張所江北分室発足</p> <p>4 諸富橋、歩道橋完成</p> <p>8 牛津江水門完成</p> <p>11 県家畜防疫推進協議会発会</p> <p>19 杵島炭鉱閉山</p> <p>20 明治佐賀・明治西杵両炭鉱労組臨時大会で新会社への移行同意を決議（23日明治鉱業解散）</p> <p>22 県緊急石炭対策現地相談所設置 大町町に臨時職業相談所開設</p> <p>23 佐賀県下で初の個人タクシー、13人に認可さる</p> <p>25 川副南・三反田・北山・古湯の4局即時通話開通（県内電話100%即時化）</p> <p>30 第2次農業構造改善事業説明会</p> <p>○ 韓国に本県産米輸出（唐津港）</p>	<p>1 鹿島市・多久市救急業務開始 米登録制度改正</p> <p>26 巖木・相知・北波多3町村共同衛生処理場落成</p>	<p>1 「サガテレビ」開局</p> <p>7 定時制第2次募集試験9年ぶり復活 佐大全学共闘、旧文理学部教室占拠</p>



昭和44年（1969年）

	国内・国際	政	県治
5月	<p>23 大学立法に反対し全国統一行動行われる</p> <p>26 東名高速道路全線開通</p>	<p>1 県消費生活相談室設置</p> <p>12 臨時県議会（5/12～5/13） 副議長に大島英一選任</p>	
6月	<p>5 運輸省、トヨタ・日産両社に対し欠陥のある自動車の車種を公表し、総点検・修理せよと指示</p> <p>10 政府、生産者、消費者両米価の据置きと稲作特別対策費225億円の交付を決定</p> <p>12 我が国初の原子力船「むつ」進水</p> <p>14 新都市計画法施行</p> <p>16 運輸省、日本自動車工業会加盟12社の欠陥車を公表</p>	<p>1 県総合運動場設置</p> <p>13 北部九州水資源開発協議会、筑後川水系開発全体計画決定</p>	
7月	<p>1 地価公示法施行 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律公布</p>		

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>9 杵島炭鉱鉱害対策協議会発会</p> <p>10 農村青年の像除幕（県立農業研修学園内）</p> <p>13 九州縦貫高速自動車道鳥栖インターチェンジ説明会（完全クローバ方式）</p> <p>25 新明治鉱業創立総会</p>	<p>2 保健衛生生活環境整備懇話会発足</p> <p>10 唐津市保健センター落成（唐津保健所、唐津市東松浦郡医師会合同庁舎）</p> <p>14 特別養護老人ホーム「真心の園」落成式 県立九千部学園通勤寮完成</p> <p>18 杵島炭鉱労組解散式</p>	<p>24 「柿右衛門焼」の商標の使用についての紛争解決</p> <p>29 県内の農業団体、佐大に米づくり研究資金1千万円贈呈</p> <p>31 佐大開学20周年記念式典</p> <p>○ 松浦党創始期の居館跡「山の寺」発見</p>
<p>4 県企業誘致対策連絡協議会、工業開発促進連絡協議会と改称</p> <p>12 東京で「駅高架移転事業促進期成会」（4県1市で）発会</p> <p>13 唐津市七ッ釜観光道路開通</p> <p>15 上場地域土地改良事業推進協議会発足</p> <p>30 杵島農協発足（江北・大町・北方3町の6農協合併）</p>	<p>3 県立病院の2・8闘争妥結</p> <p>21 自衛隊協力会県連合会発会</p> <p>23 佐賀大学で大学法案に反対し安保廃棄等のスローガンを掲げ全学スト</p> <p>28 社会福祉施設「いとしの子の家」落成</p> <p>29 豪雨（～7/1）床上浸水15戸・床下浸水59戸</p> <p>○ 県、看護婦不足対策として潜在看護婦発掘にのりだす</p>	<p>10 社会教育法施行20周年記念式典</p> <p>12 県サイエンスカー運行式</p> <p>13 西松浦郡有田町猿川古窯跡発掘調査</p>
<p>1 白石地区農協発足（白石・有明・福富3町、9農協合併）</p>	<p>1 工業技術院による佐賀市地盤沈下の原因調査始まる（地下水の過剰汲み上げが原因と発表）</p>	

## 昭和44年（1969年）

	国内・国際	県治
		政
7 月	<p>1 農業振興地域の整備に関する法律公布</p> <p>20 アメリカアポロ11号月面着陸（人類初めて月面に到着）</p>	<p>7 県警発足15周年記念式典</p> <p>25 定例県議会（7/25～8/5）</p> <p>26 県土石等災害防止対策連絡会議初会合（土石採取を防災方面から規制指導）</p>
8 月	<p>17 大学の運営に関する臨時措置法施行</p>	<p>3 板谷憲道出納長退任</p> <p>4 県、副知事・竹下亮一、出納長・森一郎を任命</p> <p>24 坂田道太文部大臣来佐</p> <p>26 県広域市町村圏推進連絡会議開催</p> <p>31 多久市長に藤井俊作3選</p>
9 月	<p>29 農政審議会、総合農政について答申（米の生産抑制に重点をおく）</p>	<p>1 県騒音規制地域の騒音取締りを開始 唐松広域市町村圏協議会発足</p> <p>13 自治省、唐津市・東松浦郡に広域市町村圏の設置を指定</p> <p>22 坪川建設大臣来佐（県下の道路事情視察）</p>
10 月	<p>1 交通点数制スタート</p> <p>5 アポロ11号の「月の石」東京に到着</p>	<p>1 県人口、85万2,441人</p> <p>2 定例県議会（10/2～10/15）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 県中央職業訓練所大町分所入所式</p> <p>17 プリヂェストーンタイヤ鳥栖工場新設で県との間に調印式</p>	<p>23 三神ゴミ処理場建設に反対して地元民座り込む</p> <p>○ 唐津市でミカン山長雨のため崩壊相次ぐ</p>	<p>14 佐賀市赤松小にティーチングマシン設置</p> <p>16 東与賀町にスイミングクラブ誕生</p> <p>23 下村湖人生家保存調査</p>
<p>1 向島の電気導入事業完成</p> <p>12 唐津湾のノリ重油汚染補償交渉7か月ぶり妥結</p> <p>21 天山自然公園協議会結成</p> <p>29 伊万里市波多津町の早場米、県自主流通米第1号として初出荷</p>	<p>22 県警察発足15周年記念「暮らしを守る警察展」開催</p> <p>25 佐賀・長崎2県合同消防訓練</p> <p>26 県下でニシキ蛇騒動発生</p>	<p>1 第1回勤労者美術展開催</p> <p>4 佐賀相撲連盟発表会</p> <p>24 第11回全国教職員剣道大会開催、県教職員、団体が優勝</p> <p>25 下村湖人生家保存会発表会</p> <p>29 白石町米飯給食推進大会</p>
<p>2 建設省、嘉瀬川を1級河川に指定</p> <p>3 嘉瀬川改修工事促進期成会第2北山ダム建設促進を決める</p> <p>16 農協3組織（生産組合等）合同大会、米飯給食等決議</p> <p>24 鳥栖～肥前山口間の複線完成、1番列車走る 佐賀無線中継局開局披露 佐賀機械金属会創立10周年記念式典</p> <p>26 県観光映画「佐賀」完成</p> <p>○ 県東部工業団地（三田川、東脊振、上峰）の用地買収に着手</p>	<p>2 県、県医師会スモン病患者調査実施を決定</p> <p>4 県、交通遺児実態調査まとめる</p> <p>17 韓国でコレラ発生に伴い移入を防止するため唐津市でコレラ予防ワクチンの接種始まる</p> <p>○ 各地に干害の被害ひろがる</p>	<p>1 佐賀大学農学部研究科に大学院（修士課程）の設置決まる</p> <p>13 第1回陶芸技術伝承者養成講習会開催（有田町）</p> <p>16 第1回教職員海外研修に3人決定</p> <p>17 鹿島市文化連盟結成</p>
<p>1 農事参観デー開幕</p> <p>2 建設省、地方生活圏域に唐津市・伊万里市を指定</p> <p>3 小城郡農協ミカン選果場落成</p>	<p>4 「安保を守る県民会議」結成大会</p>	<p>2 第1回九州沖縄芸術祭文化史展</p>

昭和44年（1969年）

	国内・国際	県治
		政
10月	<p>8 プロ野球の八百長事件明らかとなる</p> <p>14 九州大学に機動隊を導入封鎖解除さる</p> <p>21 国際反戦デー、学生ゲリラに首都騒然</p> <p>29 厚生省、11月10日から「チクロ」を含む食品、医薬品の製造加工の禁止と市販商品の回収決定</p>	<p>20 県公営対策審議会設置</p> <p>25 鳥栖市議会解散</p> <p>29 川副町で佐賀空港の初の説明会開催</p> <p>30 県専修職業訓練校設置</p>
11月	<p>21 日米首脳会談、沖縄72年返還決定</p>	<p>1 神埼町・三田川町・千代田町・東脊振村、4町村合同消防本部発足</p> <p>4 県予算編成に総合予算主義採用</p> <p>10 皇太子殿下県内をご視察（4/10～4/13）</p> <p>25 県、鹿島地区総合庁舎落成</p>
12月	<p>1 第62臨時国会召集</p> <p>2 衆議院解散</p> <p>10 BHC工業会、BHC・DDTの生産中止を発表</p>	<p>1 唐津海上保安部と唐津市消防本部、船舶火災の応援協定結ぶ</p> <p>2 定例県議会（12/2～12/6）</p> <p>6 安原鳥栖市長辞表提出</p> <p>8 県体育協会理事会、51年国体立候補を決める</p> <p>9 佐賀地区広域行政協議会設立会議</p> <p>22 県新長期総合開発計画案を審議会に諮問</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>8 全国かんきつ研究大会開催</p> <p>21 県技能検定協会設立</p> <p>23 日本工業立地センター伊万里湾開発構想を調査報告</p> <p>30 佐賀ビジネスセンター落成</p>	<p>7 県、交通点数制ではじめて3人に免許停止処分</p> <p>10 佐賀市医師会産科看護学院開校 県、佐賀市共催消費生活展「これからの生活展」開催（佐賀市）</p> <p>15 県警、老人交通大学、開く</p>	<p>10 NHK西有田テレビ放送局開局</p> <p>19 江北町祖子分面浮立40年ぶり復活</p>
<p>21 山村振興対策審議会、旧松梅村を振興山村に指定</p> <p>29 国道路審議会で佐賀～浜玉線の国道323号への昇格決定</p> <p>○ 食品からテクロ、酒からサルチル酸追放される</p>	<p>5 身障者福祉法制定20周年県社会福祉大会</p> <p>9 教育正常化県民会議結成</p> <p>13 11.13統一スト10単産、1万人参加</p> <p>15 安保改定、民主主義を守る佐賀地方県民会議結成</p>	<p>7 佐賀大学学長に田中定、3選文化財保護委員会、黒田陣屋跡（呼子町）を特別史跡に指定</p> <p>15 県文化会議10周年記念式典</p> <p>16 県体育館で6周年記念と市村清追悼音楽会開催</p> <p>22 有田工高総合落成式</p>
<p>1 県農村工業農協連発足</p> <p>12 九州横断自動車道建設計画説明会</p> <p>22 唐津港運営委員会、唐津港港湾計画を承認</p>	<p>10 佐賀地方検察庁新庁舎落成</p>	<p>14 佐賀混成合唱団創立20周年記念演奏会</p>

昭和44年（1969年）・昭和45年（1970年）

	国内・国際	政	県治
12月	15 衆議院議員選挙のテレビ政見放送開始 公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法公布	27 衆議院議員選挙、立候補者9人（自民4、社会2、共産1、民社1、無所属1）、投票率75.79%、当選者、保利茂（自民）三池信（自民）大坪保雄（自民）山下徳夫（自民）八木昇（社会） 県養殖試験場大浦分場廃止	
1月	14 第3次佐藤内閣成立 第63特別国会召集  28 メーカー事件第1審判決、騒乱罪成立 農林省牛乳汚染防止でBHC・DDT等の使用禁止を各都道府県に指示	1 嬉野町消防署発足  7 農林省米減反の各県別配分を発表（全国150万t・35万4,000ha、本県3万1,000t・6,090ha）  12 県、市町村行政懇談会（米の生産調整に集中）  19 森林公園、都市計画公園に組み入れ  25 鳥栖市長選挙、原忠実当選	
2月	5 中央米生産調整推進協議会100万tの減産（23万6,000ha平均7.4%の減反）決める  10 新幹線岡山一博多間起工式	5 農林省、県の減反目標2万700t・4,060ha（7.5%減）を提示    14 県体育協会、「51年国体誘致委員会」設ける 16 鹿島市救急業務開始  20 武雄市長選挙、本山昌太郎再選	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
23 伊万里湾河口湖建設模型実験始まる 25 県米生産調整推進協議会設立準備会 ○ 農協中央会に農協組織整備委員会発足 ○ 県内自主流通米当初予想の6000tを下回る2043tと不振	27 県医師会、一斉休診に入る	27 NHK、大川・松浦両テレビ中継局完成
13 米の生産調整地区別説明会始まる 19 佐賀東部4青果市場合併調印（佐賀青果・上佐賀青果・神埼青果・多久青果の4社） 26 諸富町米生産調整推進協議会、県内のトップを切って発会 ○ 唐津バイパスのルート決定 ○ 佐賀市地盤沈下で深井戸の使用制限を呼びかける	16 大雪のため県内各所で交通規制 ○ 集団カゼ流行 ○ 県社会福祉協議会、事故家庭の実態調査まとめる	8 鳥栖市山浦古墳群発掘調査
2 佐賀青年工業会発足 7 県初の米生産調整推進協議会開催 9 佐賀土地改良区、佐賀市上水道1日5万t取水を認める 10 県、農業振興地域に6市町を指定簡易保険、郵便年金事業団武雄保養所落成（武雄市永島） 13 新都市計画法地元説明会始まる（諸富町） 17 県米生産調整説明会	16 県東部伝染病隔離病舎完成 21 佐賀市内公衆電話3分打ち切り制実施 25 川副・東与賀・諸富3町、佐賀市に上水道の共同利用を申し入れ	



昭和45年（1970年）

	国内・国際	県治
		政
2月		28 定例県議会（2/28～3/27）
3月	14 万国博覧会開会式  31 日本航空「よど号」赤軍派に乗っとられる（北朝鮮に着陸）	4 県警機動隊庁舎落成 5 県緊急農業対策連絡協議会設置  16 知事、県議会で医大設置の検討を表明  23 玄海ノリ被害（1月末の暴風雨による流失）に天災融資法適用決定 26 県開発公社発足 27 県農業構造改善審議会、第2次構造改善事業の基本方針答申県議会、51年団体誘致決議
4月		1 県立博物館準備事務室設置 県文化館廃止、社会教育課に文化室設置 県心身障害者扶養共済制度発足  10 伊万里市長竹内通教、鹿島市長矢野正治それぞれ無投票当選  16 鳥栖警察署新庁舎落成  21 県立自然公園審議会、天山・八幡岳県立公園指定答申 佐賀空港建設促進期成会結成 24 九州新幹線建設促進期成会結成
5月		1 機構改革、企画部設置（企画第1課・企画第2課・統計調査課）、知事室廃止、秘書課、用地取得対策室設置 農林部の「農政食糧課・農業構造改善課・農業改良課・農地開拓課」を「農林経済課・農政企画課・営農指導課・農産課」に改組 「岩屋川内ダム建設事務所」を「岩屋川内ダム・竜門ダム建設事務所」に改称 過疎地域対策緊急措置法に基づく地域に多久市等12市町村を指定 9 臨時県議会（5/9～5/11）

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
27 県工業開発懇談会		26 基山バイパス建設工事で萩野古墳遺跡調査 山下惣一の「海鳴り」農民文学賞に決定
2 上場土地改良事業推進協議会設立  11 県農協組織整備委答申  26 九州電力、玄海原子力発電所炉型決定（加圧水型）  ○ 県下各市町村で米減反割当行われる	10 県高等看護学院第1回卒業式  21 第1回県ユース・フェスティバル	7 佐賀商高、交通対策として時差通学を採用  27 文化財保護審議会、与賀神社の鳥居などを重要文化財に指定
1 鉱害復旧事業団江北事務所開所 木炭検査の廃止  4 県佐賀土木、嘉瀬川改修事務所合同庁舎完成 6 九州電力・唐津火力発電所第3期工事計画を発表  15 県物産観光東京センター開所  17 県、自転車道の建設計画発表  22 鳥栖市九千部山系「峠越連絡林道」開通式	1 身体障害者福祉法施行20周年記念県身体障害者福祉大会開催 元県会議長大渡熊次 死去  15 県下初の交通公園佐賀市で開園	9 佐賀大学に農学研究科の大学院の設置決定 11 嘉瀬川緑地運動場開き 14 伊万里市中央公民館落成  18 県立養護学校総合落成式  24 文化庁・文化財愛護モデル地区に鎮西町指定 25 NHK嬉野テレビ中継局開局

## 昭和45年（1970年）

	国内・国際	政	県治
5 月	<p>11 日本山岳会登山隊の松浦・植村両隊員、日本で初めてエベレストの登頂に成功</p> <p>27 水俣病補償処理委員会、斡旋案合意</p>	<p>18 佐賀・長崎両県協議会9年ぶりに開催</p> <p>27 池田県知事、全国知事会副会長に選出</p>	
6 月	<p>9 閣議45年度生産者米価の据置きを決定</p> <p>22 政府、日米安保条約の自動延長を声明</p> <p>23 全国的な反安保統一行動</p>	<p>10 県、公害対策審議会に公害防止条例を諮問</p> <p>24 自然公園審議会、玄海海中公園指定等を答申</p> <p>30 県公害対策審議会、県公害防止条例制定について答申</p>	
7 月	<p>14 閣議、「日本」の呼称を「ニッポン」に統一</p> <p>18 東京杉並の高校で女生徒40数人が倒れた原因は光化学スモッグと発表（27日、東京都光化学スモッグ警報発令体制スタート）</p>	<p>1 県立博物館設置 県立博物館協議会設置 玄海海中公園指定 万国博覧会佐賀県の日始まる</p> <p>14 建設省、県下36市町村を地方生活圏整備計画の調査対象地区に指定</p> <p>17 定例県議会（7/17～7/28）</p> <p>18 自治省、佐賀地区を広域市町村圏に指定</p> <p>27 県議会、公害対策特別委員会設置</p> <p>30 県人事委、警察官の採用試験を他府県と共同実施</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
12 圃造干拓潮止め工事 13 県立中央専修職業訓練校改築完成  18 県内初の大型市場、佐賀青果市場開設 19 県営北茂安干拓完工式  23 県営かんがい排水事業竣工 26 久保田橋開通	18 佐賀市で初の消費者モニターを委嘱	23 嬉野町の湖上体育館落成  31 県PTA会館落成式
1 米の生産調整目標を上回る119%に達す 2 野菜特産地指定説明会  11 鳥栖市農業防災ダム河内ダム完工式 12 代行干拓福富工区潮止め  14 浜干拓営農管理組合設立  19 県万国博覧会推進協議会開催  22 県農協会館落成式  29 佐賀広告協会設立総会 ○ 唐津石炭協会解散	4 神集島で離島火災訓練          23 県下4地区で反安保集会	28 第1回県合唱祭
1 B Sタイヤ鳥栖工場操業開始 呼子～壱岐間にフェリー開通  8 筑後川下流土地改良事業推進協議会、初の推進大会  15 農協中央会主催農業大学スタート 16 昭和45年産米の産地品種別銘柄に佐賀米「レイホウ」指定さる  23 九竜と県、唐津市との間に公署防止協定調印  29 有明海ノリ、カドミウム汚染対策4県会議	4 長雨被害による天災融資法適用に関する調査団来佐 日本建設連合健保県支部発足    17 県、有明ノリからカドミウム検出発表 18 鳥栖市勤労青少年ホーム開館	1 県立博物館、博物館登録 3 西久光（佐大初代学長）死去  12 九州現代工芸美術展    25 唐津で県下初のヨットレース開催

昭和45年（1970年）

	国内・国際	政	県治
8 月	1 自動車の一酸化炭素ガス規制始まる 2 銀座・新宿・池袋・浅草で「歩行者天国」実施  9 静岡県田子ノ浦でヘドロ公害追放の住民抗議集会（13日静岡地検田子ノ浦ヘドロで公害捜査）  ○ カラーテレビの二重価格問題化	1 県公害防止条例制定 県消費生活苦情相談員設置 佐賀地区広域市町村圏協議会発足  14 県災害対策本部設置 15 塩田町に災害救助法適用  26 「一日土木県政」鹿島市で開催  28 運輸省第2次空港整備計画に佐賀空港（第3種）入る 29 県行政事務機械化審議会設置	
9 月	5 梅新瀨大学教授スモン病の原因はキノホルムが関係していると発表（7日厚生省キノホルムの使用・販売中止を通告）  13 日本万国博覧会閉幕  ○ 農林省新規干拓の米作禁止通達（45年度以降）	1 県機構改革 厚生部に公害課設置 県、公害に備え衛生研究所に公害検査課設置 県公害対策本部設置 2 県公害対策審議会に専門部会（大気・水質・騒音・地盤沈下）を設置  8 県過疎地域振興の方策を決定  11 県総合開発審議会、新長期総合開発計画まとめる  14 国民体育大会誘致委員会設立総会  19 定例県議会（9/19-10/2）  ○ 台風9・10号被害激甚災害に指定決定 ○ 県、有明海カドミウムの汚染調査実施	
10 月	2 日本最長の山陽新幹線の六甲トンネル開通	1 国勢調査実施 県人口、83万8,442人 天山県立自然公園、八幡岳県立自然公園それぞれ指定  5 有明海沿岸4県、有明海の汚水合同調査決定  7 県交通安全対策会議設置 県開発審査会設置 8 県都市計画審議会、佐賀駅高架移転計画とこれに伴う付帯工事を答申  15 県過疎地域振興協議会発足  18 県庁西別館できる（旧県農協会館）	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 米生産調整確認始まる 伊万里港・植物防疫港に指定</p> <p>3 佐賀陸運事務所、初のCOテスト</p> <p>6 県中部家畜保健衛生所庁舎完成 白石地区農協福富支所分離推進委員会</p> <p>11 県生鮮食糧品流通情報センター設立総会</p> <p>24 県農協の新長期計画案まとまる</p> <p>28 肥前陶磁器鉛毒対策委員会発会</p>	<p>8 県、全域を日本脳炎警戒地区に指定</p> <p>14 台風9号来襲、死亡1人、負傷者27人</p>	<p>1 残留磁気測定による古窯調査（有田天狗谷古窯）</p> <p>26 鳥栖音楽団体連盟結成</p> <p>29 唐津市立図書館落成</p>
<p>1 佐賀南部広域営農団地農道整備事業推進協議会発足</p> <p>4 多良岳大幹線林道起工式</p> <p>5 県うまい米づくり運動総決起大会</p> <p>10 国道263号線全線舗装完了</p> <p>30 門司植物防疫所、伊万里出張所開所</p> <p>○ 佐賀・鳥栖両地区で新都市計画法にもとづく線引説明会公聴会実施される</p>	<p>2 県職員安全運転を守る会設立</p> <p>13 母子連盟結成20周年記念大会</p> <p>18 県、有明海産赤貝貝柱からカドミウム検出発表</p> <p>○ 県第2期住宅建設5か年計画まとめる</p>	<p>11 県展運営委員会（委嘱作家を全廃、招待作家を新設）</p> <p>13 第17回日本伝統工芸展に県から13人が入選</p> <p>30 大観麟大関昇進</p>
<p>1 国鉄松浦線（3駅）、筑肥線（7駅）無人化される 佐賀電報局、電話局統合</p> <p>5 国道263号線開通</p> <p>13 県生産組合連合協議会結成20周年記念大会 佐賀商工会議所内にスーパーなど大型店舗進出調整機関「小売り商業調整懇話会」発足</p>	<p>1 県厚生部、県下チクロ食品の一斉追放を始める</p> <p>4 県第1回本因坊戦</p> <p>7 旅館業施設の衛生措置基準条例改正（モーター対策）</p> <p>10 伊万里市で県下初の歩行者天国</p>	<p>4 県総合運動場落成祝賀県体</p> <p>14 県立博物館落成式</p> <p>15 桃山江戸美術名作展開催</p> <p>17 弥栄義塾創立40周年式典</p>

昭和45年（1970年）・昭和46年（1971年）

	国内・国際	政	県治
10月			
11月	<p>15 戦後初の沖縄、国政参加選挙</p> <p>25 三島由紀夫、陸上自衛隊東部方面総監部でクーデターを呼びかけ、切腹</p> <p>29 初の公害統一メーデー 国会、国会開設80周年記念式典挙行</p>	<p>1 県公害審査会設置 県公害苦情相談員任命</p> <p>7 県交通巡視員設置</p> <p>13 九州地方建設局、有明海総合開発についての調査報告書発表(同総合開発計画事実上棚上げとなる)</p> <p>17 県総合開発審議会、新長期総合開発計画案を答申</p> <p>19 山村振興対策審議会、脊振村を振興山村に指定答申</p> <p>21 杵島・藤津地区広域市町村圏協議会結成</p> <p>30 急傾斜地崩壊危険区域として6市町村の危険地区を指定</p>	
12月	<p>12 農林省、1977年に米の生産を30%減とするなどの農業生産の地域分担指標を発表</p>	<p>1 県消費生活センター設置</p> <p>10 定例県議会（12/10～12/23）</p> <p>14 佐賀都市高速鉄道事業、建設大臣に認可される</p> <p>23 玄海海中公園マスタープラン完成</p> <p>24 川副町空港対策協議会発足 過疎地域内における県税の免除に関する臨時措置に関する臨時措置条例公布</p>	
1月	<p>2 和歌山県新和歌浦で旅館全焼、14人焼死</p>	<p>1 県立佐賀コロニー設置</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
16 林業普及指導事業20周年記念大会 20 佐賀ミカン初の専用列車走る 30 伊万里市立川炭鉱閉山調印式 ○ 各漁協、ノリ冷凍庫を建設 ○ 田植機械の著しい普及（昨年73台、今年629台）	18 唐津湾姫島沖でタンカー一座礁重油流出 ○ 県スモンの会発足	30 伊万里高新築総合落成式 31 唐津市文化会館落成式
4 佐賀駅高架移転計画認可 5 佐賀西部九州横断自動車道建設促進期成会結成 16 原子力委員会原子炉安全審査会、九州電力玄海原子力発電所安全審査パス 佐賀空港予定地のボーリング調査始まる 20 県、立川炭鉱の閉山に伴い緊急石炭対策現地相談所設置 21 九州横断高速自動車道佐賀地区建設促進期成会発会 24 県農民研修センター落成式	5 第1回県職員美術展 14 県、有明海のカドミウム汚染を発表 20 佐教組事件処分無効確認訴訟13年ぶり結審 24 佐野記念館建設促進委員会設立 28 県婦人連絡協議会、カラーテレビの買い控え運動提唱	8 第20回西日本各県対抗剣道大会、佐賀県優勝
2 農業委員会法施行20周年記念農政推進県決起大会開催 10 政府、九州電力玄海原子力発電所認可 11 初の県茶業振興会 16 佐賀ミカン、欧州へ初出荷 28 佐賀米、韓国へ2,000t出荷	7 佐賀市片田江交差点にCOの自動測定機を設置 16 鳥栖市役所広場に蒸気機関車268号登場	10 県立博物館の常設展始まる 26 S氏賞第1回賞に玄海派同人中村一三「冴えない休日」選ばれる ○ 色鍋島の技術を守る技術保存会発会
1 九州電力、玄海原子力発電所建設所設置		



## 昭和46年（1971年）

	国内・国際	県治
		政
1 月		<p>13 運輸省飛行場部長、佐賀空港建設予定地を視察</p> <p>18 県公害対策審議会、規制基準を答申 佐賀国体誘致のため各県行脚始まる</p> <p>25 県、佐賀空港の建設について地元代表者に協力を求める</p>
2 月	<p>3 農林省、来年度の米減反割当発表（本県4万2,900t、8,400ha、昨年2倍）</p> <p>5 辺地医科大学開設準備委員会初会合</p> <p>23 成田国際空港土地収用について初の強制代執行</p>	<p>5 川副町内の4漁協、空港建設反対を表明</p> <p>20 定例県議会（2/20～3/10）</p> <p>22 元衆議院議員中村又一死去</p> <p>23 県辺地医科大学誘致促進期成会発足</p> <p>24 米生産調整市町村長会議</p>
3 月	<p>15 バングラディッシュ独立宣言</p>	<p>9 県警機構改革、捜査1課内に特殊事件捜査班設ける</p> <p>17 知事選挙告示</p> <p>29 県物価対策連絡会議</p> <p>30 県議会議員選挙告示</p> <p>31 伊万里市・西松浦地域広域市町村圏協議会設立総会</p>
4 月		<p>1 中原村・町制施行 有田地区消防組合発足</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
29 九州電力唐津火力発電所2号機火入れ 30 県内4か所の農村人材銀行開所	12 県消費生活センター第1回「くらしの1日教室」開催  21 日航、若人のつどい開催	15 幕末維新の「佐賀先哲資料展」  ○ 「佐賀県議会史統編」刊
1 唐津で農村人材銀行開所 住ノ江港、貿易港指定取り消し  6 鳥栖ガス、ガス供給始める 8 鳥栖インターチェンジ起工式  18 杵島農業改良普及所で農業大学発 会式  ○ 県商業近代化地域計画推進協議会 発足	3 県食品検査車運行式  10 県警の女性交通巡視員街頭にでる 12 馬渡島、加唐島に保健婦駐在員室設 置  ○ 県キノホルム調査実施	5 第1回県日本画家展  10 佐賀労音第1回公演、民芸「星の牧 場」上演  20 県芸術文化振興連絡協議会初会合  28 県下初の私立幼稚園PTA大会  ○ 県、「風土記の丘」企画
12 嘉瀬川、閘議で1級河川に決定さ する(4月1日から)  25 「北山」国民保養地に指定さる  30 福岡通産局佐賀石炭事務所閉鎖  ○ 林業労働力流動化対策協議会初会 合 ○ 九州海運局伊万里分室廃止	3 武雄署管内で1人暮らし老人のパト ール始まる  18 特別養護老人ホーム「好日の園」落 成  23 佐教組事件(刑事罰)の無罪確定 (最高裁)  30 鹿島市西牟田で7棟全半焼20世帯被 災、1人重体、5人軽傷	16 短歌誌「麦の芽」創刊 17 今日出海文化庁長官文化講演会  26 文化財保護審議会「色鍋島」「柿右 衛門」の両技術保存会を人間国宝に 指定 武雄市の「荒踊」無形文化財に指定  29 唐津市鏡神社蔵「絹本着色楊柳観音 像」国の重要文化財指定  ○ 明治初期の住居表示発見(唐津) ○ 馬川小(七山村)・河内小(鳥栖市) 廃校
1 嘉瀬川、1級水系に指定 2 大川橋歩道橋開通		1 佐大教育学部に附属幼稚園開設 鳥栖商高新設

## 昭和46年（1971年）

	国内・国際	県
		政 治
4 月	<p>7 米卓球団訪中決定（ピンポン外交）</p> <p>16 天皇・皇后両陛下初めて広島の実験慰霊碑御参拝</p>	<p>1 浜崎海岸、海岸保全区域に指定 県立衛生専門学院設置 有田警察署新庁舎落成</p> <p>3 知事選に初めてテレビによる政見放送開始</p> <p>11 知事選挙、立候補者2人、投票率82.87%、池田直4選 県議会議員選挙、立候補者66人、投票率82.86%、当選、自民27、 社会7、無所属9</p> <p>15 鳥栖地区広域市町村協議会発足</p> <p>20 杵藤地区広域市町村協議会発足</p> <p>25 市町村長、市町村会議員選挙、佐賀市長宮田虎雄、唐津市長瀬戸尚当選</p> <p>30 筑西町、江北町過疎振興地域に指定さる</p> <p>○ 武雄保健所白石分室閉鎖</p>
5 月	<p>1 米価3年ぶり上げられる。150kg 2万1,305円</p> <p>14 自治医科大学、栃木県設置決定</p> <p>28 スモン患者、国と製薬会社相手に訴訟おこす</p>	<p>4 臨時県議会（5/4～5/7） 議長小原嘉登次、副議長森永恒範選任</p> <p>6 佐賀空港建設反対期成会、空港建設反対漁民総決起大会</p> <p>7 知事の職務代理者に副知事竹下亮一指定</p> <p>10 池田知事、生産性本部商業地域視察団長として欧州出発</p> <p>13 県、公害審議会に公害防止条例の改正を諮問</p> <p>18 伊万里・西松浦広域市町村協議会、長崎県の北松・伊万里湾広域市町村圏との結合に同意（全国初めての県境を越えた広域市町村圏誕生）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>5 県陸運事務所コンピューターによる自動車登録始める</p> <p>10 県信連電算機始動式</p> <p>16 中小企業庁、佐賀市を商業近代化地域に指定</p> <p>28 県水産会館落成</p> <p>○ 牛津江排水樋門完成</p>	<p>5 佐賀市内の交通信号機、コンピューターによって自動制御される</p> <p>6 佐賀市に箱型歩道橋完成</p> <p>20 郵便百年記念行事、各地で開催</p> <p>30 西日本新聞チャーター機中原町古田原の脊振山系沢に墜落、4人全員死亡</p> <p>○ 佐賀市、蚊退治に、熱帯魚グッピー、タップミノール導入</p>	<p>鹿島市祐徳博物館新築落成</p> <p>6 唐津市鬼塚小元山田分校の児童タクシー通学始める</p> <p>16 高志狂言・川原狂言、県文化財に指定</p>
<p>18 鳥栖市藤木地下道開通式</p> <p>21 新佐賀段階米づくり運動推進本部、複合経営の確立を基本方針に決定多良岳国定公園指定促進期成会結成</p> <p>○ タイル業界経営不振</p> <p>○ 津地鎮祭違憲訴訟で名古屋高裁違憲としたため県下の公共団体工事の神事控えられる</p>	<p>1 県内救急車のサイレン、電子式サイレンに変更</p> <p>4 特別養護老人ホーム「寿楽園」落成</p> <p>11 衆議院産業公害対策特別委員会で、県内の母乳BHC汚染0.8PPM検出明らかにされる</p> <p>12 第12回日本住血吸虫病全国大会</p> <p>24 九州公害分析センター、鳥栖市に設置決定</p> <p>26 集中豪雨（5/26～5/27）六角川上流を中心に被害</p> <p>27 県労働者福祉事業大集会、労働者信用保証協会設立を決める</p> <p>31 県医師会、開業医全員の保険医一斉辞退届</p>	<p>10 伊万里農高新校舎落成</p> <p>27 日本・ソ連対抗バレーボール試合佐賀大会</p>

昭和46年（1971年）

	国内・国際	政	県治
6 月	<p>4 参議院議員選挙公示</p> <p>11 中央教育審議会「第3の教育改革」を答申</p> <p>17 沖繩返還協定調印式</p> <p>29 政府、グレープフルーツの自由化決定</p> <p>30 富山タイタイ病裁判判決、患者勝訴</p>	<p>11 新佐賀競馬場起工式（鳥栖市村田町）</p> <p>12 佐賀検察審査協会設立</p> <p>17 伊万里・北松地域広域市町村圏協議会設立総会</p> <p>18 県、参議院議員選挙公報の1部削除を決める</p> <p>27 参議院議員選挙 立候補3人（自民党1、日本社会党1、共産党1） 投票率65.83% 鍋島直紹（自民）当選</p>	
	<p>1 環境庁発足</p> <p>3 東亜国内航空YS11「ばんだい号」函館で墜落、乗客ら68人死亡</p> <p>5 佐藤改造内閣発足（保利茂、自民党幹事長に就任）</p> <p>26 大阪セメントの白桦市進出反対の漁業権確認訴訟で風成地区漁民勝訴</p> <p>28 保険医総辞退問題解決</p> <p>30 岩手県で全日空機と自衛隊機衝突、162人死亡</p>	<p>1 県職員の吏員昇任試験制度廃止</p> <p>3 伊万里・北松、杵藤、鳥栖の3地区、広域市町村圏に指定</p> <p>7 佐賀空港建設絶対反対期成会、航空公害の調査報告で建設反対を再確認</p> <p>17 県伊万里総合庁舎落成式</p> <p>19 県武雄総合庁舎落成式 県予防接種救済制度発足</p> <p>28 定例県議会（7/28～8/11）</p>	
8 月			

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 本庄江沿岸排水土地改良事業完成 住友銀行佐賀支店の閉鎖発表</p> <p>11 呼子町にグラスボート就航 玄海原電資料室開設</p> <p>14 九州電力唐津火力発電所3号機公 害防止協定調印</p> <p>16 佐賀北部野菜出荷連絡協議会発足</p> <p>21 県農協中央会農外就労対策研究会 発足</p> <p>24 住友銀行佐賀支店存続決定</p>	<p>6 県赤十字アマ無線奉仕団結成式</p> <p>13 佐賀市に「佐賀交通通児を励ます会」 発足</p> <p>17 地労委、深川製磁の無期限スト（5 /14から）の斡旋にのりだす</p> <p>26 佐賀市中央大通り玉屋前交差点に歩 行者優先のスクランブル方式信号誕 生 深川製磁の賃上げ無期限スト45日ぶ り解決</p> <p>28 県歯科医師会保険医辞退届</p>	<p>1 市村幸恵より茶室「清恵庵」を県へ 寄贈</p> <p>11 NHKテレビ鳥栖中継局開局</p> <p>23 寺浦廃寺塔跡、県史跡に指定</p>
<p>2 九州電力唐津火力発電所2号機運 転開始</p> <p>19 佐賀市内の地下水揚水調査始まる</p> <p>23 運輸審議会、国鉄岸線線の廃止決 定</p> <p>27 国鉄門鉄局、第3次合理化案、県 内で6駅無人化と発表</p> <p>28 自然保養林に黒髪山指定</p>	<p>1 県内の医師703人保険医辞退</p> <p>16 鹿島市で「医師と市民の対話集会」</p> <p>22 第39回日教組定期大会 佐賀市内で「野菜の日」を設け消費 者へサービス実施</p> <p>26 県医師会、診療費の「被保険者代表 受領方式」を決めて8月1日実施</p> <p>○ 県内の医療機関窓口混乱</p>	<p>10 日本伝統工芸秀作展</p> <p>23 佐賀独立展支部結成第1回展</p>
<p>2 名村造船所誘致促進協議会発足</p>	<p>2 佐賀市のゴミ収集、袋詰ステーショ ン方式に切り替えられる</p> <p>4 台風19号佐賀市を直撃(8/4～8/6)</p>	<p>4 有田焼創業期の築炉法判明</p>

## 昭和46年（1971年）

	国内・国際	政	県治
8 月	<p>15 アメリカ、金の交換停止、輸入課徴金制度を発表</p> <p>28 日本、変動相場制に移行</p>	<p>6 自治省、伊万里市大川町を「コミュニティ構想」モデル地区に指定</p> <p>10 鳥栖地区広域市町村圏協議会発足</p> <p>13 町の境界変更（三根町一北茂安町）</p>	<p>25 杵藤地区広域市町村圏協議会発足</p> <p>30 県政広報紙「県政だより」刊行</p> <p>○ 県、国立医大誘致にのりだす</p>
9 月	<p>27 天皇・皇后両陛下 欧州親善訪問に出発</p> <p>28 東大宇宙観測所、初の科学衛星打ち上げ成功</p> <p>29 新潟水俣病訴訟判決、患者勝訴</p>	<p>1 機構改革 参事室設置、厚生部に環境保全対策室（公害、環境整備、環境生活の3課）新設・伊万里湾開発室（同調査室昇格）転換作物販売対策室、職業訓練課、建設技術センター（道路整備調査事務所の補充）、中小企業総合指導センター（中小企業総合指導室の強化）、工鉱通商課を工鉱課に変更</p> <p>用地取得対策室廃止</p> <p>土木部に工事検査室設置</p>	<p>30 定例県議会（9/30～10/13）</p>
10 月	<p>4 通産省、初の資源白書発表</p> <p>8 公労委、国鉄のマル生運動に救済命令</p>	<p>1 小城地区消防事務組合発足</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>17 県農業構造改善審議会、19市町村を農業振興地域に指定答申 県野菜価格安定基金協会設立総会</p> <p>19 国鉄岸線線廃止</p> <p>22 伊万里湾青年経済懇話会設立</p> <p>23 多布施川改良事業促進期成会発会</p> <p>26 県、稲作転換特別相談員に民間人32人委嘱</p>	<p>10 佐賀地裁、佐教組事件行政処分取消し無効確認訴訟判決、佐教組勝訴</p> <p>17 離島子どもクラブ夏期研修会</p> <p>23 国際地質学会、白石平野の地盤沈下調査</p> <p>29 台風23号来襲</p>	<p>8 全国高校総合体育大会女子400m自由形に野田真樹子（佐北）優勝</p>
<p>2 稲作転換促進特別対策事業打合せ会</p> <p>4 勤銀佐賀支店開設50周年記念式典</p> <p>10 県中小企業課、ドル防衛対策の「貿易懇談会」開く</p> <p>12 三瀬村井手野の観光薬園店開き</p> <p>14 県産米改良総決起大会</p> <p>16 嬉野茶生産者総決起大会</p> <p>29 県、転換作物の作付状況まとめる（転作率68.6%）</p> <p>○ 県内金融機関、中小企業の不況対策に特別融資制度創設</p>	<p>3 「九州の自然を守る会」連絡協議会発会</p> <p>5 集中豪雨、異常潮位、家屋損壊5戸、家屋浸水689戸</p> <p>6 国鉄鹿児島本線鳥栖～肥前旭駅間で貨物列車競合脱線</p>	<p>1 佐大理工学部に生産機械工学科設置決定</p> <p>4 鳥栖市民吹奏楽団誕生</p> <p>6 三日月町土生の鉱害復旧工事現場で弥生中期の大集落発見</p> <p>11 日本古美術展</p> <p>16 県教委、三日月町土生遺跡を国史跡に仮指定</p>
<p>1 佐世保検疫所伊万里出張所設置 鳥栖久留米地区開発協議会開催</p>	<p>1 県盲人会連合会点字出版所開設 県下市町村で老人医療費の軽減措置実施</p> <p>4 有明海沿岸に異常潮位</p> <p>10 佐賀市の「日峰さん」に歩行者天国出現</p>	<p>4 県教委、小城町畑田、弥生住居遺跡「久蘇遺跡」緊急発掘調査</p> <p>10 「体育の日」に県総合運動場無料開放</p>



昭和46年（1971年）・昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
10 月	<p>15 日米繊維交渉妥結</p> <p>20 国鉄第3次合理化案提示 關芸連冷凍果汁工場操業開始（小城町布施ヶ里）</p> <p>26 中國の国連参加決定</p>	<p>15 県農村地域工業導入対策審議会設置</p> <p>19 県公害対策審議会、有明海の水質環境基準海域の指定答申</p>
11 月	<p>5 国鉄第4次合理化案提示</p> <p>10 愛知県全県下で1日ノーカー運動</p> <p>16 全購連、全販連合併調印</p> <p>30 新潟港沖でタンカー座礁原油流出 政府、BHCの製造、販売を全面禁止</p>	<p>12 日中國交回復県民会議結成大会</p> <p>18 佐賀・長崎両県九州新幹線建設促進大会</p> <p>25 中央公害対策審議会、有明海を水域類型に指定</p>
12 月	<p>9 文部省大学入試改善会議、共通テスト実施を報告</p> <p>20 国語審議会、当用漢字音訓表の改定 新レート`1ドル=308円実施</p> <p>22 沖繩返還協定承認</p>	<p>10 定例県議会（12/10～12/23）</p> <p>21 山村振興対策審議会、振興山村に三瀬村指定</p> <p>22 県農村工業導入対策審議会初会合</p> <p>24 県伊万里湾工業用地造成事業特別会計創設</p>
1 月	<p>5 佐藤首相訪米</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>15 第1回武雄商工業者大会</p> <p>23 小城郡農協カントリーエレベーター落成</p> <p>25 国道264号線開通式</p> <p>○ 県東部工業団地構想まとまる</p> <p>○ 唐津市内のミカンに公害発生</p>	<p>13 基山町の笹原山に九電送電線工事用大型ヘリ墜落8人重軽傷</p> <p>20 東京県人会から「ふるさと訪問団」来佐</p> <p>29 伊万里市国見中で県内初めてのヘルメット自転車通学始まる</p>	<p>16 歌誌「ひのくに」創刊50年記念大会日新小分校建設起工（佐賀市）</p>
<p>2 闘芸連果汁工場落成式</p> <p>25 有田青年会議所設立総会</p> <p>○ 県水産課、栽培漁業振興にのりだす</p>	<p>3 伊万里市民会館落成</p> <p>15 身体障害者自動車操作訓練所開所</p> <p>24 唐津市で大規模な重油火災消火訓練実施</p>	<p>7 財団法人佐賀育英会学生寮「松濤学舎」新築落成</p> <p>9 佐賀大学学長選挙、田中定当選</p>
<p>7 多良岳国定公園指定促進協議会発会</p> <p>16 港湾審議会、伊万里湾開発を承認九電、米原子力委との間で玄海原発燃料濃縮について調印</p> <p>25 佐賀南部バイパス全面開通国鉄佐賀駅高架工事の佐賀工事区事務所開所</p>	<p>15 鎮西町、名護屋、打上の両診療所閉鎖</p> <p>20 県、佐賀市職員を中心に1日ノーカーデー行われる</p> <p>24 国の出先機関の佐賀地方合同庁舎落成式</p>	<p>12 武雄市西川登小で火事、職員室など4室焼く</p> <p>17 伊東玄朴胸像除幕（神埼町）</p>
	<p>3 佐賀競馬でファン騒ぐ</p>	<p>1 佐賀市文化連盟結成</p> <p>5 全九州教職員卓球大会で佐賀商高優勝</p>

昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
1 月	7 日米共同声明、沖縄の核抜き本土並み返還決定	11 佐賀医科大学に調査費がつく
	20 農林省、標準価格米創設を提案	
	24 グアム島で元日本兵横井正一を発見	24 県広域市町村圏推進連絡会
	28 農林省47年度米の生産調整発表（全国215万t、県3万7,400t、適地適産を打ち出す）	
2 月	3 札幌オリンピック開幕	
	10 新幹線福岡市内起工式	
	19 連合赤軍浅間山荘事件発生	
	21 ニクソン米大統領、訪中 27 米中共同コミュニケ発表	21 自治省、鳥栖市を公営競技（競馬）施行市町村に指定  29 定例県議会（2/29～3/27）
3 月		1 佐賀市公共下水道事業認可

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>17 名村造船の土地買収解決</p> <p>20 県うなぎ養殖漁業協同組合創立総会</p> <p>21 国鉄佐賀駅移転工事くい打ち始まる</p> <p>25 佐賀ミカン、韓国に初出荷</p> <p>26 西部地区開発推進協議会設立総会</p> <p>27 岩屋川内ダム定礎式</p>	<p>21 基山町洗心寮寮舎落成式</p> <p>29 伊万里市南波多町実験集落整備事業起工</p> <p>○ 地盤沈下測定用水準点測量始まる</p>	<p>12 佐大に生産機械工学科新設決定</p> <p>16 県立博物館、博物館教室を開設</p> <p>22 佐工70年記念碑除幕式</p> <p>27 県文化財に米多浮立ら3件指定</p>
<p>1 玄海町仮屋に国土地理院検潮所開所</p> <p>8 鳥栖基山農協の育苗センター完成</p> <p>12 神埼ソーメンのJAS合格認定書の伝達式</p> <p>15 国道新武雄～佐世保線新設促進期成会発会式 県漁業取締船新「まつろ」就航</p> <p>28 伊万里湾漁業補償交渉調印式</p> <p>○ 長崎県、カナギまき領釣りの制限を通告</p> <p>○ 三日月町、町単独で減反見舞金支給</p> <p>○ 農家の米作り放棄急増</p>	<p>1 県、工場排出ばい煙工場9社に改善指示</p> <p>6 佐賀市での佐賀競馬、最後のレース</p> <p>10 第1回県内精薄施設合同展</p> <p>16 鳥栖市、BSタイヤと公害防止協定結ぶ</p> <p>19 県、重金属排出企業5社に改善命令</p> <p>26 第1回施設出身就職者激励大会</p>	<p>2 高田保馬（文化功労者）死去</p> <p>13 県野鳥の会、有明海の水鳥を4県合同調査</p> <p>19 国体市町村説明会</p> <p>20 佐賀の自然と文化を守る会発足 第1回県レクリエーション大会</p>
<p>1 県経済連畜産センター開所</p> <p>13 小城羊かん協同組合創立20周年記念式典</p>	<p>1 大雪（3/1～3/4）農作物を中心に被害</p> <p>4 鎮西町松島に診療所開設</p> <p>6 武雄市老人福祉センター「日輪荘」開所</p> <p>13 鳥栖機関区から蒸気機関車姿消す</p> <p>14 武雄～永尾間の機関車二重連結、グイヤ改正で姿消す（C11・C57）</p>	<p>6 県自然保護審議会第1回会合</p> <p>13 中原町の姫方遺跡緊急発掘</p>

昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
3 月	<p>15 沖縄返還協定批准書交換 山陽新幹線岡山まで開通</p> <p>22 奈良県明日香村で高松塚古墳発掘</p> <p>30 全農設立総会</p> <p>○ 連合赤軍リンチ殺人事件明るみになる</p>	
4 月	<p>1 福岡・札幌・川崎の3市、政令指定都市となる</p> <p>4 沖縄返還協定機密漏えい事件で西山記者ら2人逮捕</p> <p>13 自治医科大学開学式</p> <p>16 ノーベル賞作家川端康成自殺</p>	<p>1 県警本部に交通企画課新設 神埼地区消防事務組合に脊振、三瀬村加入 伊万里、北松広域市町村圏設立総会 県競馬組合、新発足（県、鳥栖市） 唐津東松浦広域市町村圏消防本部開庁式</p>
5 月	<p>2 鉄道建設審議会、九州新幹線の組み入れを答申</p> <p>13 大阪千日デパート火災、死者116人、重軽傷38人</p> <p>15 沖縄27年ぶり本土復帰 首相官邸とホワイトハウスを結ぶ日米ホットライン開通</p>	<p>4 臨時県議会（5/4～5/6）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>19 名村造船進出協定調印式</p> <p>31 財団法人玄海海中公園公社認可</p>	<p>24 県大気環境測定車運行開始</p> <p>30 鳥栖市内の交通信号自動感應方式となる 県心身障害者対策協議会設置 ○ 女子刑余者の更生施設「清風寮」閉鎖 ○ 多久保育会法人認可（私立保育園7を統合）</p>	<p>19 神野公園の野外音楽堂贈呈式</p> <p>20 県立点字図書館完成</p> <p>29 米多浮立、県重要無形文化財に指定</p>
<p>1 米の自由販売開始 日本専売公社、佐賀支局に格下げ、小城出張所を廃止</p> <p>5 有明漁連、ノリ調整保管倉庫完成</p> <p>7 国道34号線北部バイパス1部開通 県公害防止技術連絡会議発足</p> <p>11 唐津港湾合同庁舎落成 県上場農村青少年研修センター完成</p> <p>14 県農村地域工業導入対策審議会、基本計画を承認</p> <p>18 有明海関係漁協、海の大掃除作戦を展開</p> <p>○ 佐賀市商業近代化地域計画まとまる</p>	<p>1 唐津東松浦医師会発足</p> <p>10 県遺族会の「平和会館」落成</p> <p>17 県警、交通事故死急増対策に特別体制を敷く</p> <p>23 県障害児親の会結成</p> <p>24 鳥栖市で宮入員掃討作戦</p> <p>29 県内タクシースト</p> <p>○ 学校周辺通学道路にスクールゾーン誕生</p>	<p>1 鳥栖市文化連盟結成 社会教育指導員配置 大隈重信侯50年祭</p> <p>2 県庁前に「51年国体を佐賀県で」の広告塔出現</p> <p>3 中川副公民館（佐野記念館併設）完成</p> <p>16 第1回県馬術大会</p> <p>25 県教委、伊万里市セツ島の縄文遺跡を調査記録保存</p>
<p>2 呼子漁港臨港道路開通</p> <p>8 名村造船下請企業整備促進会発足</p>	<p>1 県、6 医院、5 医師を保険医取消処分</p> <p>2 唐津市制施行40周年記念式典</p> <p>11 ニクピタン事件で和解成立</p> <p>12 伊万里市大川町のモデルコミュニティセンター完成</p> <p>16 呼子町の養護老人ホーム「延寿荘」落成</p>	<p>5 第1回サイクリングオリエンテーション大会</p>

昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
5 月		30 港湾審議会唐津湾の水産物流通加工センター建設を答申
6 月	<p>5 スtockホルムで国連人間環境会議開く</p> <p>11 田中角栄、「日本列島改造論」発表</p> <p>13 コンコルド（超音速旅客機）日本に初飛来</p> <p>14 日航機、インドのニューデリーで墜落</p> <p>17 佐藤首相、退陣を表明</p> <p>24 東京外国為替市場閉鎖 水質汚濁防止法全面施行</p>	<p>1 池田知事、文部省と日体協に佐賀国体誘致を陳情、申請書提出</p> <p>10 臨時県議会（6/10～6/14）</p> <p>12 県議会、名村造船特別委員会設置</p> <p>22 県災害対策本部設置</p> <p>26 鳥栖総合庁舎完成</p> <p>27 定例県議会（6/27～7/11）</p> <p>30 知事、佐賀空港建設予定地の川副町民に協力要請</p>
7 月	<p>5 自由民主党臨時党大会、田中角栄総裁に選ばれる</p> <p>7 第1次田中内閣発足</p>	<p>6 川副町議会、空港特別委員会設置</p> <p>10 県議会に開発特別委員会設置</p> <p>12 三池信、郵政大臣に就任 佐賀市に災害救助法適用</p> <p>16 自由民主党災害視察団九州班、県内災害状況を視察</p> <p>19 唐津東松浦広域市町村圏消防本部、唐津海上保安部と海上火災消火について協力協定結ぶ</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>13 国見山開発促進協議会発会</p> <p>16 県、重金属たれ流し工場に改善命令</p> <p>21 鳥栖筑紫野有料道路供用開始</p> <p>23 伊万里湾漁民転業対策委員会発足</p> <p>27 県農林部のパイプライン用水方式、上野賞を受賞</p>	<p>17 元衆議院議員 田中善内死去</p>	<p>28 「ひのくに」創刊50周年記念祝賀会</p> <p>○ 中原町姫方遺跡の取扱い問題化</p>
<p>1 県園芸連、ミカンの消費拡大にサンレージュースの販売を決める九州公害分析センター完成</p> <p>10 佐賀相互銀行本店完成</p> <p>17 47年度米減反計画まとまる。割当7,053ha、3万7,400t、計画8,543ha、4万4,810tで目標を19%上回る</p> <p>22 建設大臣、九州横断自動車道（武雄～鳥栖）に施行命令</p> <p>29 県競馬場落成</p> <p>○ 唐津市神楽島に民宿ブーム</p> <p>○ 公害防止のため、ノーカーボン紙の追放行われる</p>	<p>1 自衛隊沖縄派遣阻止の過激派学生80人、佐大構内に入る 県労働者信用基金協会発足</p> <p>9 佐教組事件の休職処分無効訴訟、双方和解を受諾</p> <p>16 離島への緊急医療用ヘリポート完成</p> <p>20 佐教組事件の第1回和解審理</p> <p>21 集中豪雨（6/21～6/22）県西部を中心に被害発生</p>	<p>7 佐賀市青年の家完成</p> <p>14 県文化室、民家緊急調査の第1次報告を取りまとめる</p> <p>19 牛津町オアシス運動展開</p> <p>○ 北茂安町の白石焼民陶で復活する</p> <p>○ 鎮西町立名護屋中に文化財愛護少年団結成</p>
<p>1 鳥栖市の佐賀競馬場オープン</p> <p>5 北山ダムに三瀬村農協の農産物直売所完成</p> <p>6 県、九州電力玄海原子力発電所周辺に13か所のモニタリングポスト設置</p>	<p>3 脊振山系に豪雨、被害</p> <p>8 太良・塩田町7.8災10周年慰霊祭</p> <p>9 県北西部、県中南部に集中豪雨（7/9～7/13）佐賀市中心部巨勢川堤防の決壊により湛水、死者3人、負傷16人、家屋全半壊78戸、床上浸水1,148戸、床下浸水1万5,325戸</p> <p>19 県下ボタ山総点検始まる</p>	<p>4 玄海・有明海漁撈具展</p>



昭和47年（1972年）

	国内・国際	県治
		政
7 月	<p>29 47年度産米150kg 2万2,384円に決定</p> <p>30 中国湖南省の馬王堆で2,100年前の完全な人体発掘</p> <p>31 環境庁、宮崎県土呂久鉱害を公害病と認定</p>	<p>25 51年国体開催佐賀県に決定（於九州体協長会議）</p>
8 月	<p>12 日航機、中国へ戦後初の直行便飛ばす</p> <p>26 ミュンヘンオリンピック開幕</p>	<p>1 県消防学校落成</p> <p>2 日体協第2回国体委員会</p> <p>4 県漁業調整委員会委員選挙</p> <p>8 杵藤地区広域市町村圏組合設立総会</p> <p>15 県、7月豪雨で激じん法指定</p> <p>26 機構改革 文化課、国体準備室設置、農地改良局、環境保全局、電子計算課、漁港課、特定地域開発室、公共用地室新設 嘉瀬川改修事務所廃止</p> <p>28 第31回国体開催準備委員会創立総会</p>
9 月	<p>1 日米首脳会談</p> <p>5 パレスチナゲリラ、ミュンヘン五輪の選手村を襲う</p> <p>25 田中首相訪中</p>	<p>20 定例県議会（9/20～10/4）</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
20 上場開発研究青年同志会設立総会 24 県水質審議会、六角川水系の水質基準を答申 26 肥前町出稼ぎ就労者互助会結成  ○ 県農林部、米の転作計画まとめる、転作率71%	30 第1回民間社会福祉施設で働く人達を励ます会	21 文化財保護委員会、高志狂言を無形文化財に指定  28 第1回文化財愛護地域活動推進協議会  ○ 鎮西町史跡を守る会発足
1 玄海海中公園「ビジターセンター」落成  11 佐賀東部広域水道推進協議会設立  18 鎮西町出稼ぎ労働者互助会結成  25 全国商工会連合会会長に福岡日出鷹就任 26 名村造船下請関連懇談会	4 九電唐津火力発電所故障で停電騒ぎ  9 有明海で異常潮位 10 佐賀市に納涼佐賀まつり登場 11 呼子町加部島沖の砂利運搬船沈没事故で船長海底24mから無事生還  22 県交通事故犠牲者合同慰霊祭  ○ 三根町でイ草農家の健康診断実施 ○ 元唐津海上保安部庁舎保存なされる ○ 県内の被爆者1,678人	10 佐賀国体の標語募集開始  13 詩誌「はんぎい」創刊  20 呼子海洋少年団結成 21 県育英学生と知事との懇談会
7 佐賀・福岡両県ノリ養殖安定化連合協議会設立 9 唐津市鉄道路線近代化協議会初会合  18 生産組合「知事を囲む会」 19 佐賀土地改良区理事会、杵島工業用水道1日1万t取水大筋で解決 20 県貿易協会、神戸市で陶磁器輸出促進展示会 21 協同組合西部地区LPガス保安調査事務所創立総会 22 県、47年度米の生産調整まとめる、目標20%超過、転作率65.7%	1 水質汚濁に係る環境基準の水域類型六角川・牛津川関係の指定 県、かまぼこ業者6人に排水基準の改善命令  18 唐津鉄工所争議、140日より解決  20 第1回県職員退職者慰労会  24 県労働者レクリエーション大会	23 県ユースホステル協会創立10周年記念大会  25 県スイミングクラブ協議会発会

## 昭和47年（1972年）

	国内・国際	政	県治
9月	29 日中共同声明発表、国交回復なる 国府、対日断交発表	30 社会党県本部執行部総辞職	
10月	5 学制百年記念式典  14 鉄道開業百周年記念式  19 フィリピンのルパン島で元日本兵2人発見、1人射殺  28 中国のパンダ2頭、上野動物園着 西鉄球団、太平洋クラブに身売り	1 鳥栖・三養基地区消防組合発足    14 木村建設大臣、佐賀入り  19 有明海地域総合開発4県協議会（沿岸道路の整備を協議） 天災融資法に基づく特別被害区域の指定 21 川副町地元の西川副千拓7年ぶりに帰属決定  31 県の電算機始動式  ○ 県内の自治体、企業の電算機導入盛ん	
11月	6 国鉄北陸トンネル内で列車火災、29人死亡、 703人負傷 7 ニクソン米大統領再選  9 鉄道建設審議会、長崎新幹線の基本計画組 み入れを答申  13 衆議院解散  15 株価過熱、ダウ平均4,600円(史上最高)  20 衆議院議員総選挙公示   28 日航機、モスクワで墜落  ○ 愛媛県松山市で弥生時代の住居ほぼ原形で 出土	10 県、出先機関の宿日直の段階的廃止を通知  14 北部山村開発センター落成（富士町）	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公害企業と住民との間に公害防止協定を結ぶ例が多くなる</li> <li>○ 県、佐賀市の広域排水計画の策定開始</li> </ul>	<p>29 国立嬉野病院総合落成式</p>	<p>30 劇団「ぼっち」（佐賀市）第1回公演「バカの療治」</p>
<p>5 名村造船伊万里造船所起工式</p> <p>11 杵島工業用水道水利権調印式</p> <p>12 県子豚価格安定基金協会設立総会</p> <p>13 呼子造船鉄工団地漁業補償妥結</p> <p>16 三日月農業機械銀行創立総会</p> <p>20 県建設協同組合設立総会</p> <p>25 ダイエー佐賀店「ショッパーズプラザ」開店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県産自主流通米ほとんど売れず</li> </ul>	<p>1 県内の週休2日制、46企業が実施</p> <p>3 第1回県老人スポーツ大会</p> <p>4 県消費生活センター、洗剤をテーマとする消費者1日教室開催</p> <p>7 佐賀市公共下水道起工式</p> <p>14 唐津日赤病院創立15周年記念式典 県PCBの残留結果を発表</p> <p>22 県生活協同組合連合会創立総会</p>	<p>2 下村湖人生家保存工事落成式</p> <p>10 蒼海、梧竹展（県立博物館）</p> <p>11 伊万里市教委、鍋島藩窯を発掘調査</p> <p>25 県文化会議、県芸術文化賞を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 唐津市の虹の松原沖の砂採取で地元、白砂浸食に拍車と中止を要望</li> </ul>
<p>1 県鶏卵販売農協設立総会</p> <p>6 県、九州電力と原子力発電所の公害防止協定結ぶ</p> <p>9 佐賀スレート協同組合同工場完成</p> <p>12 電々公社、広域時分制を実施</p> <p>21 第1回諸富町木工展 小城炭鉱復旧工事完工</p> <p>24 県閉山対策協議会発足</p> <p>28 国営嘉瀬川農業水利事業完成</p> <p>29 新明治鉱業明治佐賀・西杵岡鉱閉山、県内から炭鉱消える</p>	<p>5 日ノ隈山で全国初の盲人オリエンテーリング開催</p> <p>8 唐津港でタンカー火災訓練</p> <p>20 佐賀市消費生活懇談会発足</p> <p>27 新明治佐賀労組解散大会</p>	<p>1 51年佐賀国体標語「青空と緑がつくる佐賀国体」に決定</p> <p>2 県立高校教育整備振興協議会初会合 有田町山辺田古窯跡発掘調査</p> <p>26 全日本年齢別柔道選手権大会年齢別で松本剛儀（県警）優勝</p>

昭和47年（1972年）・昭和48年（1973年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>10 第32回衆議院議員総選挙、自民と社共対決時代（公明、民社敗退）</p> <p>22 第2次田中内閣発足 第72特別国会</p> <p>○ 地価・木材高騰、土地買占め盛ん</p>	<p>8 県新明治鉱業閉山対策協議会</p> <p>10 第32回衆議院議員総選挙立候補者7人、投票率81.24%、当選者 保利茂（自民）八木昇（社会）愛野興一郎（自民）三池信（自民）山下徳夫（自民）</p> <p>12 定例県議会（12/12～12/25）</p> <p>25 知事部局内に国体準備委員会事務局設置 伊万里湾県立自然公園の指定解除</p> <p>27 国営有明干拓福富工区の滞属問題事実上決定</p>	
	<p>8 ウォーターゲート刑事裁判始まる</p> <p>11 北京駐在大使館開設</p> <p>16 ソ連のルナ21号、月面軟着陸成功</p> <p>26 政府、土地対策要綱決定</p> <p>27 ベトナム和平調印式</p>	<p>4 唐津市、市民サービスセンター開設</p> <p>8 川副町の一部を東与賀町に編入</p> <p>9 佐賀空港予定地地権者の用地買収調印、74戸に達す</p> <p>16 唐津東松浦広域市町村圏組合庁舎落成</p> <p>17 県、余剰ミカン1万1買い上げ決める</p> <p>23 県広域市町村圏連絡協議会設立</p> <p>27 県公害対策審議会、六角川水系の上乗せ排水基準答申</p>	
1月			

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 唐津水産加工団地協同組合冷凍冷蔵庫起工</p> <p>15 九州電力唐津火力発電所第3号発電機火入式</p> <p>17 新都市計画法に基づく鳥栖市の線引き公聴会2年3か月ぶり開催</p> <p>19 九州新幹線佐世保ルート建設促進大会</p> <p>23 緊急米対策会議</p> <p>24 佐賀北部バイパス、有田バイパス一部開通</p> <p>25 県内最低賃金1日990円に改定</p> <p>28 九州電力唐津火力発電所のミカン媒じん公害補償調印</p> <p>31 日本航空会社会長松尾静磨死去</p> <p>○ ミカンの過剰生産問題化</p> <p>○ 木材高騰で合板会社潤う</p>	<p>19 新明治鋳業明治佐賀鋳労組解散大会</p> <p>20 三田川町で幼稚園送迎バスから園児転落、死亡</p>	<p>2 学制百年記念教育資料展（県立博物館）</p> <p>7 学制百年記念式典</p> <p>16 科学者会議県支部発会</p> <p>17 佐賀の自然と文化を守る連絡会議結成</p>
<p>16 伊万里信用金庫本店完成</p> <p>18 佐賀市地下水自主調整協議会発足白杵鉄工所、唐津妙見工場団地を視察</p> <p>20 多久市・北方町に県緊急石炭対策現地相談所開設</p> <p>25 肥前町高串～長崎県日比港にフェリー就航</p> <p>○ 建設省嘉瀬川ダム建設調査費1億円計上</p>	<p>1 老人医療70歳から無料化</p> <p>16 大雪災害救助訓練 佐賀市のし尿処理場の放流水問題12年ぶり解決</p> <p>20 長崎県油症患者診療研究班県内患者を検診</p> <p>28 佐賀市医師会立看護学院校舎落成</p>	<p>5 国体準備委員会第1回企画会議</p> <p>8 鳥栖インターチェンジ工事現場で弥生式遺跡発掘</p> <p>15 佐大の電子工学科新設決定</p> <p>19 第1回九州青年の船佐賀県団出発式</p> <p>25 日本古地図絵図展（主催県立図書館）</p> <p>27 佐賀文化連盟第1回総会</p>

## 昭和48年（1973年）

	国内・国際	県治
		政
2 月	<p>1 中国政府、東京に駐日中国大使館開設</p> <p>12 ドル、10%切下げ</p> <p>14 円、変動相場制に移行</p> <p>21 ラオス和平協定調印</p> <p>26 農林省、ミカンの減反を通達</p> <p>○ 大企業の商品土地買占め問題化</p>	<p>1 県、みかん暴落対策を決める 県土地開発公社設立</p> <p>19 県農業生産対策協議会、48年産米生産調整決定、3万3,800 t・6,381ha</p> <p>23 嘉瀬川ダム建設反対同盟設立総会</p> <p>28 定例県議会開会（2/28～3/28）</p>
	<p>2 東京外国為替市場閉鎖（19日再開）</p> <p>5 中央公害対策審議会、筑後川・宝満川等の水質環境基準答申</p> <p>8 済生会八幡病院火事13人焼死</p> <p>17 勤労のストで日本列島半身不随</p> <p>20 水俣病民事裁判第1審判決、患者勝訴</p> <p>29 米軍、南ベトナムから撤退</p>	<p>15 佐賀空港反対抗議集会</p> <p>30 県農政審議会設置</p> <p>31 国造干拓（空港予定地）買収調印式</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 県、ニューカッスル病発生対策を 議じる</p> <p>2 園芸連ミカン搾汁カス貯蔵庫完成</p> <p>8 鳥栖地区身障者雇用協力会設立</p> <p>15 第1回機械金属輸出促進取引商談 会</p> <p>17 県輸出関連業者懇談会</p>	<p>1 県下の浴場の入浴料40円に値上げ 食料品一斉値上げ</p> <p>11 白石高校北校舎全焼</p> <p>17 精薄施設合同作品展</p>	<p>1 第45回選抜高校野球大会に唐津商高 県代表として出場決定</p> <p>5 佐賀国体ポスター完成</p> <p>7 色鍋島の重要無形文化財記録映画撮 影始まる</p> <p>9 県自然保護審議会、権限山と七山村 湿原の保護を答申</p> <p>11 第1回「みんなで走ろう歩こう運動」</p> <p>○ 県教委、県立高校の表彰制度を廃止</p>
<p>2 名村造船下請会社の第1回転業会 社設立準備委員会</p> <p>10 唐津市内の呼子線路線発表 国鉄第5次営業近代化案として久 保田駅等を民間委託に提示</p> <p>12 江北町鉦害被害者組合総決起大会</p> <p>20 河川審議会、嘉瀬川ダム実施計画 答申</p> <p>31 神埼郡農協発足</p> <p>○ 日本列島改造ブームで建設資材不 足を来たし資材高騰、公共事業遅 れる</p>	<p>16 佐大生協食堂問題でまた機動隊出動</p> <p>28 佐賀駅前に盲人用信号機登場</p> <p>30 佐教組事件の4人の休職処分和解な る</p> <p>○ 県離島保健婦常駐廃止</p>	<p>2 文化庁、土生遺跡を史跡に指定</p> <p>4 第1回玄海10kmマイルロードレース</p> <p>5 佐賀国体選手強化対策本部発足</p> <p>11 県体育館10周年記念式典</p> <p>12 鳥栖市河内町の横井古墳群発掘</p> <p>18 第1回佐賀新聞招待マラソン大会 (君原健二優勝)</p> <p>27 佐野常民記念館開館</p> <p>31 鹿島市民体育館落成</p>



昭和48年（1973年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>21 新潟水俣病補償解決</p> <p>25 石橋湛山元首相死去</p> <p>26 公労協統一スト交通マヒ状態となる (4/26～4/27)</p>	<p>1 県輸出入関連企業応急対策保証損失補償要綱制定 東部工業用水道局設置 鳥栖・三養基地区消防組合実働に入る 県警機構改革、交通機動隊厚生課新設 建築行政の一部、県から佐賀市に移管 杵藤地区広域消防発足</p> <p>4 伊万里市と長崎県福島町消防事務委託調印式 県道路線の番号整理</p> <p>16 建設省、嘉瀬川ダム・殿木ダムの調査を発表</p> <p>19 元県知事早川三郎死去 九州横断自動車道用地買収事務委託協定調印式</p> <p>24 臨時県議会（4/24～4/30） 副議長に宮崎辰己選任</p>
5 月	<p>1 新関門トンネル貫通式</p> <p>3 沖繩特別国体開会</p> <p>4 日中海底ケーブル敷設調印式</p> <p>15 日本と東独、モスクワで外交関係設定交換 公文に調印</p> <p>17 ウォーターゲート米上院公聴会始まる</p> <p>22 熊本大研究班、有明海に第3水俣病の存在 を発表</p>	<p>1 県立希望の家設置 臨時県議会19年ぶり流会となる 県森林公園開園</p> <p>2 佐賀空港建設で知事、漁民との現地交渉</p> <p>12 臨時県議会（5/12） 県土地対策委員会発足</p> <p>16 県警交通機動隊庁舎、相知警察署庁舎落成</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>1 県窯業試験場実技研修所開所</p> <p>5 国道35号線有田バイパス全面開通 佐賀専門店会20周年記念式典</p> <p>11 蔵木バイパス開通・伊万里バイパス一部開通</p> <p>14 玄海原子力発電所展示館開館</p> <p>16 県中小企業課にセメント斡旋相談所設ける</p> <p>21 唐津市内の県土木関係合同庁舎落成</p> <p>27 県中小企業団体中央会創立25周年記念式典</p> <p>○ 玄海原子力発電所用淡水ダム完工</p> <p>○ 県産ノリ 53億9,000枚で全国第2位</p> <p>○ 米の生産調整、自主減反広がる</p> <p>○ セメント不足で建設事業の遅れが目立つ</p> <p>○ 県農試、直播の本格的普及にのりだす</p>	<p>9 県警「動く交通対策室」開設</p> <p>23 唐津市公害センター起工式</p> <p>27 交通ゼネストで、県内の交通マヒ状態、佐教組半日スト</p> <p>○ 佐賀中央犬抑留所移転解決（三瀬村に移転）</p>	<p>1 県立大和養護学校設置 佐賀実高、佐賀学園高校と改称</p> <p>23 伊東玄朴旧宅、県史跡に指定 国体準備委員会、種目会場を決定</p> <p>29 県体協理事長、辞意表明</p> <p>○ 沖縄国体出場予定の目達原自衛隊出場もめる</p>
<p>10 セツ島産業株式会社創立総会</p> <p>12 佐賀銀行頭取に香月義人就任</p> <p>19 九州電力唐津火力発電所、重油専焼に切り替え</p>	<p>1 日本住血吸虫病実態調査</p> <p>2 県公害対策審議会、松浦川・有田川水系環境基準を答申</p> <p>16 北波多村山彦地区11戸、防災集団移転促進事業法に基づく移転申請</p> <p>22 県立佐賀コロニー完成 県、有明海の水銀分析調査開始</p> <p>25 県、医師会と協力して水俣病患者調査を開始</p> <p>27 第1回日曜緑化教室</p>	<p>16 第1回佐賀芸術展</p>

昭和48年（1973年）

	国内・国際	政	県治
5月			○ 「第3水俣病」の報告、県水産業にショックを与える
6月	<p>2 石油輸出機構と国際石油資本の値上げ交渉、原油11.9%の値上げで合意</p> <p>5 世界環境デー</p> <p>12 政府、水銀汚染対策で水銀汚染対策推進会議設置</p> <p>15 全ベトナムで協定に基づく停戦発効</p> <p>25 政府、有明海等9水域の環境調査決める</p> <p>28 政府、総需要抑制として公共事業の繰り延を決定</p>	<p>5 有明海沿岸幹線道路協議会設立総会</p> <p>16 機構改革、国体事務局、物価対策課、土地利用対策室、九州横断自動車道用地事務所、公共用地課、流通対策課、九州横断自動車道対策室、同和対策室設置</p> <p>18 県庁内に「国立佐賀医科大学誘致推進本部」設置</p> <p>25 佐賀空港反対漁民集会</p> <p>29 6月定期県議会（6/29～7/13）</p> <p>30 川副町長、佐賀空港建設を川副町空港対策協議会総会で拒否宣言（同日、県、議決要請を撤回）</p>	
7月	<p>1 経済企画庁に物価局新設</p> <p>6 買占め防止法公布施行</p> <p>9 水俣病補償協定調印</p>	<p>3 池田知事、議会で「佐賀空港は造らない」と正式表明</p> <p>9 医大誘致で唐津市立候補</p> <p>10 日体協理事会で51年佐賀国体開催決定</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
31 県園芸連、ミカンの生産調整決める	30 特別養護老人ホーム「ちぐさの」落成 ○ 有明海の魚貝類、第3水俣病事件で売れず	
2 有田協会館建設促進委員会設立総会  8 名村造船ドック排水式  16 建設省厳木ダム調査事務所開所  24 有明4県漁連、つなぎ資金15億円を公営企業に要求  30 九州電力唐津火力発電所3号機営業運転開始 ○ 佐賀東部排水対策報告書まとまる(佐賀市) ○ 48年度米生産調整、目標の102%、単純休耕23%	1 7市で車庫規制始まる 知事、有明海の魚貝類の安全宣言 松浦川・有田川・伊万里川水系に環境基準の水域類型の指定 4 県警、飛行機墜落事故想定大模倣訓練 5 世界環境デー、県内ではノーカーデー、事業所点検行われる 6 県、有明海の漁員類の水銀分析結果を発表 8 県消費生活センター主催「暮らしの大学講座」開講式  12 県、有明海の魚貝類について総合的安全宣言  21 県、有明海漁民の第1次健康調査実施 25 武雄保健所庁舎完成 26 豪雨、佐賀市で3,278戸水びたし  ○ 経営悪化で銭湯の転廃業目立つ	13 県春闘共闘委員会、佐賀国体協力拒否を日体協に通告  15 佐賀美術協会60周年記念展 16 佐賀市水泳連盟「大人水泳教室」開設  25 佐賀国体県民運動推進協議会設立総会  29 松本弘二(県出身画家、2科会)死去
1 田手川改修工事ショートカット工事完工(千代田町) 2 伊万里・有田地区農業共済組合スタート  5 水産物流通加工センター冷凍冷蔵庫完成 西九州茶農協創立総会		

## 昭和48年（1973年）

	国内・国際	政	県治
7 月	<p>20 日航機、パレスチナゲリラに乗っ取られる</p> <p>31 日米首脳会談</p>	<p>18 「佐賀県民の歌」歌詞決定</p> <p>19 県、国立医科大用地で高木瀬を断念、鍋島町に全力を挙ぐ</p> <p>20 第31回国民体育大会佐賀県実行委員会設立総会</p> <p>25 第1回県消防救助技術大会</p> <p>26 全国町村議長会会長に牛津町議会議長関川功就任</p> <p>28 国立医科大学鍋島町誘致促進期成会発会</p> <p>30 全国都道府県議会議長会会長に県議会議長小原嘉登次就任</p>	
8 月	<p>3 米価審議会、48年度米価答申変則3本立答申、8日政府16.1%、1俵1万401円に引上げ決定</p> <p>8 金大中（元韓国大統領候補）事件発生</p> <p>17 環境庁水銀汚染調査検討委員会、第3水俣病を否定</p> <p>31 物価安定緊急対策決定</p> <p>○ 景気過熱で原材料値、思惑買いが横行</p>	<p>1 臨時県議会（8/1～8/2） 内職公共職業補導所、内職相談センターと改称</p> <p>3 副知事竹下亮一、出納長森一郎退任</p> <p>9 県土地利用対策指導要綱制定</p> <p>10 知事、田中首相に医大誘致を陳情</p> <p>16 第3水俣病関係で第1次住民健康調査を発表、1,000人が類似症状</p> <p>25 県長期総合開発計画を軌道修正</p> <p>○ 県、建材暴騰のため公共事業の一部繰り延べを決める</p> <p>○ 県、医大誘致に全力投球</p>	
9 月	<p>1 全農配合飼料21%引上げ</p> <p>5 警視庁、韓国大使館金1等書記官を金大中事件で出頭要請</p>	<p>9 多久市長選挙藤井儀作当選</p> <p>10 国立医科大学の用地買収調印式</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>12 県水産試験場、玄海原電の事前海洋調査実施</p> <p>21 食糧庁、48年産米の産地銘柄告示、県産の「レイホウ」・「日本晴」特例銘柄となる</p> <p>24 福所江沿岸漁民、佐賀板紙に補償要求で座り込み</p> <p>30 有田焼卸団地協同組合創立総会</p>	<p>15 県鮮魚商公害対策総決起大会</p> <p>18 佐賀大学学生の「むつごろう」有明海に船出</p> <p>22 交通遊児のリレーサイクリング「赤トンボ号」来県</p> <p>27 公害追放県民会議結成</p> <p>28 原子力、火力発電所問題唐津討論集会 県消費生活センター、輸入牛肉の食味テスト実施</p>	<p>12 日の隈山麓石棺台地緊急発掘</p> <p>20 鍋島藩の蒸気機関車と蒸気船の模型一般公開</p> <p>27 県文化財愛護モデル地区に伊万里市を指定</p> <p>31 第55回全国高校野球選手権大会県代表に唐津商高決定</p>
<p>10 県河川課、「佐賀江川改修計画」まとめる 県労働者福祉対策連絡協議会発会</p> <p>13 県中小企業課内に小型棒網あつ旋所開設</p> <p>27 県野菜特産振興対策協議会設立総会</p> <p>28 国鉄唐津線のSL姿を消す</p> <p>29 佐賀ミカン銘柄確立総決起大会</p>	<p>1 第1回県福祉夏季大学講座開会</p> <p>7 佐賀市の松原川に鯉放流</p> <p>8 県、日脳対策本部設置 佐賀駅にコインロッカー登場</p>	<p>1 NBC佐賀放送局、県に1,000万円の寄付</p> <p>9 県教委、玄海沿岸のカブトガニ調査</p> <p>11 県、九州横断自動車道予定地内の遺跡を発表</p> <p>20 県教委、上場高校(仮称)建設について玄海町1校建設を決定</p> <p>26 第6回九州地区中学生体操選手権大会、県勢、男女団体が優勝</p>
<p>3 県塩化ビニール幹旋相談所開設 地域食品点検事業協会発足</p> <p>7 九州電力玄海原子力発電所、原子炉搬入</p> <p>10 佐賀・長崎両県合同伊万里湾公害調査</p> <p>11 九州横断自動車道正式ルート発表</p>	<p>6 唐津市公害センター完成</p> <p>7 県警、行方不明者相談所開設</p> <p>12 県菊花連盟発足</p> <p>14 佐賀市、自転車安全利用モデル都市に指定</p>	<p>6 県教委に太良及び離島住民高校新設を陳情</p>

## 昭和48年（1973年）

	国内・国際	県治
		政
9 月	18 第28回国連総会東西独の加盟決定 原子力委員会日本初の原電公聴会  21 日本と北ベトナム、国交樹立交渉妥結、調印	19 池田知事、天皇陛下に県勢を御説明  21 県、医大関連病院として県立病院の改築を決定  25 定例県議会（9/25～10/9） 海外移住事業団県事務所閉鎖
10 月	1 軽自動車に車検適用 通産省、灯油価格の凍結を要請 2 文部省、学校統合について通達  6 第4次中東戦争勃発 8 日ソ首脳会議  16 OPEC、原油17%上げを決定 17 鉄道建設審議会、長崎新幹線等を工事整備計画として答申 20 アラブ産油国、石油の対米禁輸を決定  23 ノーベル物理学賞に江崎玲於奈決定  ○ 資源エネルギー節約政策登場 ○ 10月中旬の卸売物価20%を越す上昇 ○ 中東戦争に石油戦略登場（値上げと生産削減）	9 県副知事に森一郎任命  11 県出納長に相良勝太任命 12 伊万里・北松浦地域広域圏電算センター完成  25 51年国体のテーマ「若楠国体」に決定
11 月	1 金大中事件で日韓合意  4 アラブ産油国石油生産の25%減産を決める  7 国連大学の日本設置決定 厚生省、有明海等7海域の魚の安全宣言	1 県警、高速自動車道路交通警察隊発足 県有明水産試験場設置（川副分室廃止）

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>19 九州横断自動車道説明会開始</p> <p>○ 農業機械も生産不足を来たす ○ ボーリング場の休廃止相次ぐ</p>	<p>17 勧銀事件、時効となる 第3水俣病事件で県環境保全局第2次健康調査開始</p> <p>21 老人福祉法施行10周年記念県老人福祉大会</p> <p>27 佐賀地裁でカネミ油症出張尋問</p> <p>○ 県内各警察署、独居老人の実態調査を実施</p>	<p>29 九州沖繩工芸秀作展</p> <p>31 第21回九州各県対抗陸上競技大会、県勢女子総合優勝</p>
<p>2 九州横断高速自動車道建設絶対反対（大和・三日月・小城町）共闘会議発足</p> <p>4 佐賀職安、婦人を対象とする短期職業講習会開催</p> <p>10 建設省、嘉瀬川ダム調査所初の説明会開催</p> <p>13 国鉄、第5次合理化伊賀屋駅等無人化を提示</p> <p>14 浜玉町の県営ほ場整備事業完了</p> <p>18 県緑化対策協議会設置</p> <p>22 1日中小企業庁</p> <p>24 九州のリセンター完成 県農政審議会初会合</p> <p>27 県、九電唐津火力発電所公害防止協定調印</p>	<p>1 高額療養費制度発足</p> <p>11 厚生年金、5万円に引上げ 県身体障害者福祉会館完成</p> <p>13 県共済連スポーツセンター完成</p> <p>27 佐賀市で断水3万戸</p> <p>○ 市町村の「犬取締条例」の制定すすむ、34市町村 ○ 灯油高騰、(18㍊) 450円</p>	<p>10 茶室「清恵庵」完成（県立博物館、故市村清寄贈）</p> <p>○ 北方中に西杵炭鉱遺品の炭鉱資料館できる</p>
	<p>1 県社会福祉会館に老人就労斡旋所開設</p> <p>7 馬渡島で移動保健所開設</p> <p>10 原電の安全性についての公開討論会（唐津市）</p> <p>13 九州縦貫自動車道の救急体制決定</p>	<p>1 環境庁、権現岳を特別鳥獣保護区に指定</p> <p>2 佐大学長選挙、田中定当選</p> <p>9 県下の民家5棟、国の重要文化財に指定</p> <p>10 県立図書館創立60周年記念資料展</p>



昭和48年（1973年）・昭和49年（1974年）

	国内・国際	政	県治
11 月	<p>14 関門橋開通</p> <p>16 政府、緊急石油対策推進本部設置 政府、緊急石油対策要綱決定</p> <p>20 石油電力の10%節減スタート</p> <p>22 政府、新アラブ政策表明</p> <p>25 第2次田中改造内閣発足（行政管理庁長官に保利茂就任）</p> <p>29 熊本市大洋デパート火災、死者99人、負傷100人</p>	<p>14 県、物価モニター委嘱</p> <p>15 県、率先して資源節約運動開始 県公害対策審議会、地下水採取の規制を答申</p> <p>20 県佐賀総合庁舎落成 県「物を大切にすゝる運動」スタート</p> <p>27 有明海の重複漁場佐賀・長崎両県話し合い（物別れになる）</p>	
12 月	<p>4 公労協スト</p> <p>8 LPガス緊急放出</p> <p>21 石油需給適正化法、国民生活安定法成立</p> <p>22 政府、石油危機に緊急事態を宣言</p> <p>23 OPEC、原油の2倍値上げを決定</p> <p>25 OPEC、日本を友好国と決定</p>	<p>1 県、鳥栖市・基山町の市街化区域調整区域の指定告示</p> <p>7 定例県議会（12/7～12/21）</p> <p>27 佐賀都市計画用途地域決定 県民生活安定緊急対策本部設置</p> <p>29 佐賀医科大学設置決定</p>	
1 月			<p>9 前衆議院議員大坪保雄死去</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>13 九州電力、10%の節電を要請</p> <p>16 九州縦貫自動車道、鳥栖～南関開通</p> <p>○ 施設園芸、重油不足高騰で打撃を受ける</p>	<p>18 ガソリンスタンド石油節約のため日曜休業</p> <p>22 佐賀市で石油買い占め摘発</p> <p>26 久保田駅で貨車6両脱線</p> <p>28 県、灯油価格380円の厳守を指示</p> <p>○ 県総合庁舎に車イス用スロープ登場</p> <p>○ 県婦人連絡協議会、買い控え運動提唱</p> <p>○ 各地で石油・砂糖・チリ紙買い占め騒ぎ発生</p>	<p>12 佐賀国体のテーマカラー、黄・青・緑に決定</p> <p>○ 就学前児童の入園率80%を上回る</p>
<p>1 ガソリンスタンド、タクシー会社にプロパンガスの6割値上げと3割供給削減を通告</p> <p>3 名村造船操業開始</p> <p>17 県石油製品あっせん相談所開設</p> <p>○ プロパンガス5割値上げ</p>	<p>1 天山斎場完成(多久市)</p> <p>2 県連合会青年団主催「第1回県青年談会」</p> <p>4 県老人就労あっせん所開設</p> <p>5 医師研修審議会、県立病院好生館を研修指定病院に指定</p> <p>11 杵藤地区ゴミ処理センター完成 嬉野町で石油買い占め摘発</p> <p>17 映画館、午前中の上映自粛</p> <p>21 1人暮らしのおばあさん、消防車購入資金に4百万円寄付</p> <p>○ 各地で石油の供給不足・高騰、問題となる</p>	<p>9 第1回県文化振興会議</p> <p>10 県文化財、県東部工業団地の埋蔵文化財の事前調査に着手</p> <p>25 自然環境保全審議会、天山鳥獣保護区と極原湿地の保全地区指定を答申</p>
<p>4 ガソリンスタンドの一部に配給制登場</p> <p>7 佐賀市営バス、地方公営交通事業の健全化促進法の適用による再建決定</p>	<p>1 モーター規制実施</p>	<p>8 上場高校「東松浦高」の名称に決定</p> <p>9 「はがくれの里史跡公園」第1回現地調査</p>

## 昭和49年（1974年）

	国内・国際	県治
		政
1 月	<p>15 田中首相訪問先のジャカルタで反日デモ 16 第2次石油、電力15%節減実施</p> <p>19 自動車排気ガス50年4月規制実施決定</p> <p>23 トイレットペーパー、チリ紙、国民生活安定法の指定品目となる</p>	<p>17 県民生活安定緊急対策本部事務局設置</p> <p>20 鳥栖市長選挙、原忠實当選</p>
2 月	<p>4 政府の各省庁物価価格安定対策本部設置 5 公正取引委員会、石油12社に価格協定破棄を勧告 6 クウェートの日本大使館、ゲリラが占拠</p> <p>12 日銀、1月の卸売物価発表、前年比34%の大幅上昇（朝鮮動乱時なみ）</p> <p>15 建設省、企業の土地保有状況発表、上場1,068社、非営業用6万6,000ha所有</p> <p>19 公正取引委、石油連盟と12社告発</p> <p>22 教員確保法成立</p> <p>25 衆院予算委員会、物価・モノ不足集中審議、民間企業から参考人呼ぶ</p>	<p>2 長崎本線・佐世保線電化促進期成会、鉄道利用費の引受け決定</p> <p>11 「佐賀県民の歌」公表</p> <p>20 県公害対策審議会、水質規制と悪臭規制について答申</p> <p>24 武雄市長選挙、本山昌太郎当選</p> <p>26 水資源開発審議会、筑後大ぜきと福岡導水路の2事業組み入れに同意</p> <p>28 定例県議会（2/28～3/29）</p>
3 月	<p>1 大型店法施行</p> <p>3 通産省、生活物資の価格凍結を百貨店等に要請</p>	<p>1 県農政審議会に「佐賀農業確立のためにとるべき方策について」を諮問 元最高裁長官、田中耕太郎死去</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>19 佐賀・白石平野の地盤沈下調査始まる</p> <p>25 県南部地区地盤対策事業期成会発表</p> <p>29 鉄道路線近代化促進協議会、東唐津駅移転を承認（唐津市）</p>	<p>14 県民生活安定緊急対策本部、灯油とプロパンの価格表示を指示</p> <p>31 恵まれぬ人に灯油などの給付始まる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 紙不足深刻化</li> <li>○ 人手不足と賃金高騰で日曜大工ブーム</li> </ul>	<p>30 若楠国体シンボルマーク決定</p>
<p>6 49年度米生産調整割当（佐賀2万800t）</p> <p>19 国鉄第5次合理化（県関係無人化1、民間委託6等で）妥結</p> <p>25 七ッ島工業団地のハッパ公害補償合意</p> <p>○ 48年度県産自主流通米3万2,000t</p>	<p>1 県消費生活展（玉屋） 県、チリ紙・トイレットペーパーの価格パトロール</p> <p>2 県、公害防止条例の基準を上回る2企業に改善命令</p> <p>8 第1回ガン撲滅県大会</p> <p>16 県、有明海沿岸住民健康調査公表（県内の水俣病患者の存在否定さる）</p> <p>19 県民生活安定緊急対策行政懇談会</p> <p>22 県総評、51年国体の開催返上を決定</p> <p>26 県、標準価格（LPガス・ちり紙等4品目）一斉価格調査</p>	<p>9 鹿島地区高校教育振興協議会設立総会</p> <p>16 「国体の歌」「国体音頭」入選発表</p> <p>21 大和町でドルメン遺跡発見</p> <p>22 大森勇次（剣道10段）死去</p> <p>25 姫方遺跡、鹿島城赤門等県文化財に指定</p>
	<p>4 県、国民生活安定法指定物資のチリ紙、トイレットペーパーの枚数、長さ不足の8業者公表</p>	

昭和49年（1974年）

	国内・国際	県
		政 治
3 月	<p>9 フィリピン・ルパン島の小野田寛郎救出</p> <p>30 会社臨時特別税法成立</p>	<p>7 県農業生産対策協議会、49年度割当2万800t、3,902ha、稲作転換は農家の自主性にまかせることを決める 池田知事、佐賀国体方針通り開催を表明し、関係市町村に協力要請</p> <p>25 中央公害対策審議会、地盤沈下関係委員9人県内視察 佐賀郡消防事務組合発足</p> <p>28 県農政審議会、自然休養村農村施設整備計画、2次構について答申</p>
4 月	<p>2 48年度農業白書発表、食糧の安定自給を訴える</p> <p>17 森永ミルク中毒被害児対策の財団法人「ひかり」設立決定</p> <p>20 日中航空協定調印 モナリザ来日（国立博物館）</p>	<p>1 県公害センター設置</p> <p>11 法務省福岡入国管理事務所伊万里出張所開所</p> <p>12 伊万里市長選挙、竹内通教当選</p> <p>18 県、「あすの佐賀県を考える」懸賞論文募集</p> <p>21 鹿島市長選挙、矢野正治当選</p> <p>○ 県人口、19年ぶりに増加に転ずる、82万9,401人、前年比2,300人増</p>
5 月	<p>8 森永ミルク中毒事件、19年ぶり解決</p> <p>9 伊豆半島に地震、マグニチュード6.8、死者・行方不明29人</p> <p>18 インド核実験</p> <p>21 電力料金値上げ平均56.8%</p> <p>23 通産省、灯油の元売り価格を2倍に引上げ</p>	<p>7 知事職務代理者に副知事森一郎を指定 池田知事、日本地方自治首長訪中団団長として訪中</p> <p>15 小原県議会議長、全国都道府県議長会友好訪中団団長として訪中</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>8 筑後川下流土地改良事業神埼地区推進協議会発足</p> <p>11 九州計量検定所開所</p> <p>15 県、49年度稲作転換の市町村割当(転作の難易で傾斜割当)</p> <p>26 住ノ江港にタンカー第1船入港</p> <p>27 佐賀地区身体障害者雇用協会設立</p> <p>28 白杵鉄工所進出の漁業補償解決</p>	<p>10 伊万里市に戦時捕虜補償金恩謝料獲得推進協議会同盟発足</p> <p>26 春闘第2波ストで県内の足乱る</p> <p>30 花とみどりの市(佐賀市)</p> <p>○ 3桁ガソリン時代到来</p>	<p>8 自治労県本部、51年佐賀国体返上を決議</p> <p>15 国体募金推進委員会設立総会</p> <p>16 51年佐賀国体返上運動県民会議結成大会</p> <p>29 江藤新平記念碑建設委員会発足</p> <p>30 県総合運動場庭球場完成</p>
<p>1 宝くじ付定期預金発売</p> <p>8 県、佐賀・白石平野の「地盤高図」公表</p> <p>13 西九州広域流通センター完成</p> <p>15 県内第1号の九州横断自動車道用地タイ打ち式 農村地域工業導入対策審議会、実施計画を答申</p> <p>17 伊万里港に1,000隻目の貿易船入港</p> <p>24 国道34号線北部バイパス全面開通</p> <p>25 佐賀東部工業団地(中核工業団地)の佐賀開発所開所</p> <p>26 白杵鉄工所、唐津造船所進出協定調印</p>	<p>10 公労協のストで駅閑散、延44高校休校</p> <p>11 県内公務員共闘スト、県庁に機動隊出動、ピケ排除</p> <p>28 県教職員連合結成大会</p>	<p>1 県立東松浦高校設置 NBC唐津ラジオ放送局開局</p> <p>13 佐賀の乱百年祭</p> <p>15 小原嘉登次県議会議長、県体協会長に就任</p> <p>30 佐教組、国体協力拒否を決定</p>
<p>1 外津大橋開通 松浦大ぜき完成</p> <p>2 作礼山産業道路完工</p> <p>13 県営岩屋川内ダム完成 森林保全巡視員設置</p> <p>24 県、「中小企業のための総合技術相談所」を開設</p>	<p>7 佐大で内ゲバ、3人負傷</p> <p>20 県、環境放射能技術会議発足</p> <p>23 10・21スト大量審査請求の第1回審理</p>	<p>8 県立東松浦高校開校(玄海町)</p>

昭和49年（1974年）

	国内・国際	県治
		政
5 月	<p>○ 狂乱物価時の経済統制徐々に解除さる</p>	<p>31 臨時県議会（5/31～6/3）</p>
6 月	<p>1 灯油の標準価格撤廃</p> <p>14 参議院議員選挙公示</p> <p>26 国土庁設置 27 米ソ首脳会談</p>	<p>3 県会、原電2号基問題で紛糾、流会</p> <p>5 田中首相来佐</p> <p>11 臨時県議会（6/11）</p>
7 月	<p>2 中央選管委員長、企業ぐるみ選挙に異例の見解</p> <p>16 田中内閣の福田蔵相、保利行政管理庁長官辞任</p> <p>22 政府、49年産米生産者米価決定、37.4%の引上げ</p>	<p>1 機構改革 広報課、森林保全課新設、水産課を漁政課、水産振興課に分離、 全国身体障害者スポーツ大会開催準備室、竜門ダム、伊岐佐ダム建設事務所設置</p> <p>2 県警、警察法施行20周年記念式典開催、物価対策課廃止</p> <p>7 参議院議員選挙、立候補4人、投票率78.67%、当選福岡日出磨（自民）</p> <p>12 定例県議会（7/12～7/26）</p> <p>17 水資源開発審議会、筑後川開発計画変更を了承</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
28 九州電力社長に永倉三郎就任 29 有明干拓廻里江工区潮止工事  31 運輸大臣、国鉄呼子線松原～佐志間の工事認可  ○ 武雄市で温州ミカンからイヨミカンへの系統更新事業始まる ○ 川副町に稲作転換特別対策事業として畜産団地建設	25 県、鹿島地区の温泉調査開始	28 国体映画「若穂に向って」試写会  ○ 県教委、在宅障害児教育対策として32人の訪問指導員任命
4 県有明水産試験場落成  6 玄海町、玄海原電2号基設置に同意  12 観光PRに漫画作戦、富永一朗ら漫画家招く 13 県、玄海原電2号基設置に同意  15 佐賀ミカン高品質計画生産運動推進大会  21 玄海原電1号基用核燃料搬入、機動隊ピケ排除  ○ 県、「佐賀農業賞」新設	3 唐津地方にヒョウ、農作物に被害    19 県警、暴走族取締対策本部設置 20 社会を明るくする運動県実施委員会発会  22 暴走族一斉取締、11人逮捕、121人検挙、群衆600人にふくれあがる  29 敵木小火災、体育館全焼 暴走族取締、群衆1,000人、ヤジ馬騒ぐ、5人逮捕、105人検挙	9 県アーチェリー協会発足      22 1974年オリンピックデー・パレード  28 佐賀市教委、民話の収集開始
1 武雄地区農業共済組合発足   4 電源開発調整審議会、玄海原電2号基を認可    19 玄海原電ウラン燃料第4次搬入	6 台風8号(7/6～7/7)  10 母子福祉法制定10周年記念大会   16 自動車事故対策センター佐賀支所発足	18 第1回現代佐賀洋画展  20 「佐賀国体の歌」「佐賀国体音頭」発表会



## 昭和49年（1974年）

	国内・国際	県治
		政
	24 第73臨時国会召集 26 人事院、公務員給与の引上げを勧告（平均32.48%の史上最高の引上げ） 27 米下院司法委、大統領訴追を採択	27 白石警察署庁舎落成
8月	8 ニクソン米大統領辞任、後任フォード副大統領 9 政府、しょうゆ等33品目の価格凍結解除 15 在日韓国人、韓国の大統領狙撃、夫人死亡 23 厚生省、合成殺菌剤A F 2 を使用禁止（9月1日から実施）	13 佐賀・長崎両県重複漁業免許問題で島原半島の12漁協、漁業権の取消しを提訴
9月	1 原子力船「むつ」放射能漏れ事故起す 6 韓国の日本大使館にデモ隊乱入 13 日本赤軍、ハーグの仏大使館を占拠 19 椎名特使訪韓	2 佐賀団体会場地市町村長連絡会議 3 県教委、教頭職の辞令交付（小173人・中98人・高55人） 17 定例県議会（9/17～10/1） 24 「あすの佐賀県を考える論文」審査発表、第1位山田 登 30 団体会場地市町村長連絡会議で県、簡素国体案提示 ○ 県内の失業者1万2,000人に達する
10月	2 第61回列国議会同盟会議	2 県国土利用計画地方審議会、土地利用審査会設置

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>29 佐賀・白石両平野の地下水規制始まる</p>		<p>27 県文化会議、県文化団体協議会に改称</p> <p>○ 県文化会議「県文化年鑑」発刊</p>
<p>3 県植物病害虫防除所、10年ぶり水稲のイモチ病の警報</p> <p>7 唐津東松浦農民組合結成</p> <p>21 県工業試験場庁舎完成</p> <p>24 九州横断自動車道の地質調査始まる</p> <p>○ 有明漁連、ノリの生産調整を検討</p>	<p>15 県、昨年の佐賀・白石平野の地盤沈下発表、白石平野13cm沈下</p> <p>19 佐賀電気通信局、九州初の点字電話帳作成</p> <p>24 県農協労働組合連合会結成</p> <p>○ 県社会福祉協議会、父子家庭の実態調査に着手</p> <p>○ 4月以降の解雇者1,217人に達す(特に誘致企業の不振目立つ)</p>	<p>1 全国高校総合体育大会</p> <p>16 国立佐賀医科大学創立準備室長に古川哲二(九大医学部長)を発令</p> <p>26 佐賀東部工業団地埋蔵文化財本調査に着手</p> <p>○ 九州点字出版所、全国初の点字歌誌年間作品集「白日」発刊</p>
<p>3 うまい佐賀ミカンづくり運動推進本部、摘果奨励</p> <p>14 鳥栖地区農民組合結成大会</p> <p>18 富士町、佐賀北部野菜指定産地に指定</p> <p>26 九電玄海原電「むつ」事故を教訓に、ウラン装荷を2か月遅らすなど設備の一斉総点検</p>	<p>6 交通事故犠牲者合同慰霊祭</p> <p>16 唐津市の休日救急医療センター開所</p> <p>20 第1回若楠花壇コンクール実施</p> <p>21 秋の交通安全運動、生活ゾーンの定着をはかる</p>	<p>3 日中友好「九州青年の船」県団員結団式</p> <p>6 「オリンピックと若楠国体展」</p> <p>9 東松浦高校校舎完成</p> <p>17 日体協国体委員会、51年佐賀国体の日程決定</p> <p>28 佐賀新聞創刊90周年記念式典</p> <p>30 伊万里学園創立10周年記念式典</p>
		<p>1 派遣社会教育主事設置</p>

## 昭和49年（1974年）

	国内・国際	政	県治
10月	<p>7 サリドマイド訴訟和解合意</p> <p>8 ノーベル平和賞佐藤栄作（前首相）に決定</p> <p>14 三井物産本社爆破さる</p>		<p>21 鹿島警察署に警備艇「よしきり」配備</p>
11月	<p>6 最高裁、公務員の政治活動禁止の合憲判決（猿払事件等3件の上告審）</p> <p>9 東京湾でLPGタンカー衝突炎上</p> <p>11 田中改造内閣発足</p> <p>18 フォード大統領来日</p> <p>26 田中角栄首相辞意表明</p> <p>○ 田中金脈の疑惑、広がる</p>	<p>5 国体実行委員会基本方針（明るさ、楽しさを基調に、質実なもの）を承認</p> <p>10 中学生県政現地めぐり実施</p>	
12月			<p>2 県道路公社設立</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 佐賀・長崎両県の有明海重複漁場の行政訴訟第1回口頭弁論</p> <p>11 鉱害復旧用土砂運搬道立体橋完成</p> <p>14 県、有田タイルの連鎖倒産防止に「倒産関連特別保証制度」の適用申請</p> <p>15 有明干拓20周年記念式典</p> <p>25 県、中小企業臨時相談室開設</p> <p>28 佐賀相互銀行社長に宮副新一就任</p> <p>31 佐賀商工会議所、県下初の小規模企業振興委員会設置</p>	<p>4 小城保健所新築落成</p> <p>16 「薬と健康展」</p> <p>20 県身障者趣味の作品展</p> <p>23 県公害センター落成式</p> <p>28 天龍化学問題で県地労委第1回審問</p>	<p>3 太良町営野球場完成</p> <p>14 森林公園にシンボル像「森の幻想」除幕</p> <p>15 県青年会館完成</p> <p>19 第1回高校新聞コンクール表彰式</p> <p>22 県立高校教育整備振興協議会第15回総会、高進学率時代の対応策を答申</p> <p>23 県立ろう学校創立50周年記念式典</p>
<p>5 道路審議会、国道への昇格答申、県関係、382、383号線</p> <p>8 うまい佐賀のりづくり運動推進本部、実践本部発会</p> <p>12 農村総合整備計画のモデル農村に東与賀・久保田・浜玉・東脊振の4町村指定</p> <p>27 名村造船伊万里工場第1船タンカ一進水</p> <p>30 玄海海中公園展望塔、波戸岬レストハウス完成</p> <p>○ 佐賀銀行、「移動銀行バス」運行</p> <p>○ 呼子港の避難港工事完成</p>	<p>13 県、大腿4頭筋短縮症一斉検診実施</p> <p>20 日中友好条約締結促進県民集会 県警、死亡事故抑止緊急対策本部設置</p> <p>27 国民年金法施行15周年記念大会</p>	<p>6 現代日本画大家展</p> <p>8 文化財保護審議会、川原狂言を無形文化財に指定を答申</p> <p>13 大関大麒麟引退、年寄押尾川を襲名</p> <p>16 松方コレクション佐賀展</p> <p>23 県庁演劇サークル20周年記念「高柳父子」上演 伊万里農高総合落成式</p> <p>25 県産業教育90周年記念式典</p> <p>29 鳥栖商高総合施設落成式</p>
<p>2 第1回伊万里湾周辺地域整備構想策定委員会</p>	<p>1 戦時捕虜補償金慰謝料獲得推進協県連合会結成</p>	

昭和49年（1974年）・昭和50年（1975年）

	国内・国際	政	県治
12月	<p>4 自由民主党総裁に三木武夫決定</p> <p>9 三木内閣発足</p> <p>18 岡山県水島の三菱製油所、重油流出事故起し、瀬戸内海汚染さる</p> <p>20 韓国大統領狙撃犯人の文世光死刑執行</p> <p>24 国土利用計画法施行</p>	<p>7 定例県議会（12/7～12/21）</p> <p>20 県防災会議「原子力防災計画」を決定</p> <p>21 県農政審議会中間答申（53年農業生産目標、48年の1.5倍とする）</p>	
1月	<p>6 マラッカ海峡で日本のタンカー祥和丸座礁、原油流出</p>	<p>20 県原子力環境安全連絡協議会発足</p> <p>22 県国土利用計画地方審議会、県土地利用審査会発会、県、土地利用基本計画試案諮問</p> <p>○ 政府予算案に白石平野地盤沈下対策事業採択される</p>	
2月	<p>8 関東地方地震、マグニチュード5.5</p>	<p>4 県開発公社、佐賀市庁舎跡地を買い上げ決定</p> <p>5 昭和50年度米の生産調整割当1万4200t、県自主減反で対処</p> <p>8 県警、団体準備室開設</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>3 県都市計画地方審議会、多布施川緑地計画を承認</p> <p>5 県農業会議創立20周年記念農政推進総決起大会</p> <p>7 伊万里港振興協議会発足</p> <p>12 玄海原電に火ダネ「中性子源」搬入</p> <p>23 県・玄海町・九電、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」に基づく覚書を交換</p> <p>24 九電玄海原電核燃料装荷</p>	<p>4 県、大塚4頭筋短縮症の実態発表</p> <p>13 県消費者グループ協議会設立総会</p>	<p>21 国体市町村長連絡会議で、県国体規模縮小案(参加者4,000人削減、開閉会式の簡素化)を示す</p>
<p>10 有明ノリに肥料投入作戦</p> <p>11 農村施設総合整備事業に伊万里市採択さる 天龍化学の退職金問題100日ぶり和解成立</p> <p>28 玄海原電1号基、臨界に達す</p> <p>29 県営佐賀東部大規模農場整備事業起工 玄海原電臨界式</p> <p>31 有田タイルに会社更生法手續開始決定</p>	<p>8 県、楠木の戸籍調査開始</p> <p>16 資源とエネルギーを大切にす県民運動推進会議発会</p> <p>23 県畜犬センター完成</p> <p>26 シェル石油新佐賀油槽所で爆発事故、4人重軽傷(福富町)</p>	<p>4 下村湖人生家、県に寄付さる</p> <p>10 県総合運動場陸上競技場全天候走路に改装</p> <p>16 県スポーツ振興審議会へ「県における社会体育の振興策」を諮問</p> <p>20 佐教組、国体非協力体制解く</p> <p>24 50年度九州高校総体県実行委員会設立総会</p>
<p>3 佐賀板紙、大和紡績佐賀工場一時掃休を実施(1,400人)</p>	<p>6 資源とエネルギーを大切にす県民運動大会</p> <p>10 佐賀市救急医療対策協議会設立総会「国際婦人年の集い」県集会</p> <p>11 県高齢者退職者組合連絡協議会結成</p> <p>13 唐津市で油流出事故総合訓練実施</p>	<p>2 自治労、国体拒否解く</p>

昭和50年（1975年）

	国内・国際	政	県治
2月	<p>16 三重県四日市の石油コンビナートで石油タンク炎上</p> <p>17 韓国政府、日本人早川・太刀川両氏を釈放</p> <p>24 東大宇宙研究所、科学衛星「たいよう」打ち上げ</p>	<p>19 松浦・有明海区漁業調整委員会事務局合併</p> <p>21 定例県議会（2/21～3/10）</p> <p>24 県農業生産対策協議会、転作は農家の自主性に任せることを決定</p>	
3月	<p>1 韓国政府、金大中を自宅軟禁</p> <p>10 新幹線博多駅乗り入れ</p> <p>19 第8回統一地方選挙</p> <p>27 大須事件控訴審、騒乱罪の適用認める</p> <p>○ 企業の一時休業広がる</p>	<p>3 杵藤地区広域市町村圏組合、太良・山内・大町の3消防分署業務開始</p> <p>12 県選管「選挙をきれいにする国民運動県本部」設置</p> <p>19 知事選挙告示</p> <p>23 三木首相来佐</p>	
4月	<p>1 自動車排ガス51年規制始まる</p> <p>5 台湾の蒋介石総統死去</p>	<p>1 県議会議員選挙告示 県立黒髪少年自然の家設置</p> <p>2 元県知事井上英死去</p> <p>5 県、県議選の選挙公報を初めて印刷</p> <p>13 知事選挙、立候補者2人・投票率86.23%、当選池田直5選 県議会議員選挙立候補者73人・投票率86.32%、当選自民30・社会4・民社1・公明1・無所属6</p> <p>17 市長・市議選告示</p>	

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
14 玄海原電初送電 15 呼子避難港防波堤7年ぶり完工 上場広域営農団地農道開通  17 県心身障害者雇用促進協会設立総 会	20 県、森永ミルク中毒事件の潜在後遺 患者の発見、調査実施 西日本一帯にドカ雪、小中高校56校休 校（2/20～2/21）  28 唐津競艇場サヨナラレース	23 県歌人協会結成 24 武雄温泉楼門、武雄神社文書等県文 化財に指定  27 県公民館振興市町村連盟設立総会
1 大型店の営業活動制限始まる  4 藤津東部地区遊水防除事業促進期 成会発会  9 県営竜門ダム完成  11 佐賀ミカン高品質計画生産運動推 進生産者大会  13 九州縦貫自動車道鳥栖～古賀開通  20 名村造船伊万里造船所の第1船 「インダストリアル・プロスベリ テイ号」引渡し 23 建設省地下水実態調査発表（白石 平野全国3位）  25 唐津市唐ノ川・鎮西町横竹の国営 農地開発事業完成  31 三稜基農業共済組合発足	8 唐津市の新競艇場落成  10 社会福祉部門雇用問題連絡協議会発 足  12 県立希望の家完成  15 県総評、地方財政危機突破県民共闘 会議結成  ○ 麗刑務所改築完成	16 県馬術場開設記念大会   24 大川内山藩窯跡第2次発掘  ○ 三日月町石木遺跡で全国初の竹製 「箆」出土
1 白石地区農協と須古農協合併  3 伊万里バイパス、波瀬の浦大橋完 成  9 有田焼卸団地協同組合卸団地完成  15 唐津鉄工団地協同組合補充事業 （第2団地）完成	1 県警テレホン相談スタート 唐津都市コミュニティセンター完 成 2 県環境放射能測定車配置  8 第12回身障者スポーツ大会のスロー ガン、「がんばってはげましあって わく希望」を発表  16 特別養護老人ホーム「歌垣之園」落 成	2 カササギの営業調査発表  5 第1回有明海探鳥会  10 有田町文化体育館落成



## 昭和50年（1975年）

	国内・国際	県治
		政
4 月	<p>18 マラッカ海峡で日本のタンカー土佐丸衝突、炎上、沈没</p> <p>30 南ベトナムのサイゴン無条件降伏（ベトナム戦争終結）</p>	<p>19 副知事森一郎退任</p> <p>20 町村長、町村議会議員選挙告示</p> <p>27 統一地方選挙、市町村長、市町村議会議員選挙、佐賀市長に宮田虎雄当選、唐津市長に瀬戸尚当選</p>
5 月	<p>1 長崎空港開港（大村湾）</p> <p>7 イギリスのエリザベス女王来日</p> <p>8 金鍾泌韓国首相来日</p> <p>16 日本女子登山隊エベレスト登頂成功</p>	<p>7 臨時県議会（5/7～5/9） 議長小原嘉登次、副議長幸地一郎選任</p> <p>13 県土地利用対策室、土地買い占め鎮静化を発表</p> <p>23 県代表友好訪中団結団式</p> <p>30 佐賀警察署新庁舎完成</p> <p>○ 県、米の増産方針を決定、収量目標550kg</p>
6 月	<p>1 第1回極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会</p> <p>3 佐藤栄作元首相死去</p> <p>5 スエズ運河再開</p> <p>7 日ソ漁業操業協定調印</p> <p>14 根室沖でマグニチュード7の地震</p>	<p>2 国勢調査県実施本部設置</p> <p>13 県、玄海原電事故で九電に抗議</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>30 外津橋、日本土木学会「田中賞」、全日本建設技術協会「全建賞」受賞</p>	<p>22 古川編物の退職金闘争、74日より解決（同盟系）</p> <p>○ 4月末までの雇用調整給付金、18業種178社の申請に達す</p>	<p>19 与賀神社楼門修理工事完成</p>
<p>7 県、長引く不況対策として県中小企業特別対策室設置</p> <p>15 県米づくり推進大会、米の増産、土づくりを強調</p> <p>19 農業センサス中間発表、5年間で農家5,000戸減る、専業10%</p> <p>20 県水防協議会、田手川等64か所を重要水防に指定</p> <p>21 国際海中公園会議一行、玄海海中公園展望塔視察</p> <p>23 名村造船伊万里工場、不況対策として下請100人整理、新採中止を決定</p> <p>29 県有明漁連、長崎県諫早湾入会漁場問題で免許取消訴訟を提訴 伊万里湾漁協解散大会 田中鉄工所の天井走行クレーン用サドル、全国発明協会表彰を受ける</p>	<p>8 警察官の厚生施設「楠会館」完成</p> <p>15 くらしと建築展</p> <p>23 厚生省、身障者モデル都市に唐津市を指定</p> <p>26 佐賀市公共下水道終末処理場起工式</p> <p>28 県警、爆破事件防暴訓練</p>	<p>2 12代今泉今右衛門死去</p> <p>6 国体実行委企画会議、秋季大会の仮設スタンド廃止を決定 国体参加章デザイン決定</p> <p>13 日体協国体委員会、佐賀国体4,000人削減方向を了承</p> <p>21 武雄市文化会館落成</p> <p>27 佐大の有明海海象観測塔完成</p>
<p>6 県農林部稲作転換計画まとめる、割当1万4,200㌧、計画1万3,727㌧（農家の稲作意欲減退）</p> <p>10 九電玄海原電で放射能漏れ発生 竜門ダム落成式</p> <p>11 国見トンネル貫通式</p>	<p>7 県内の大腿4頭筋短縮症患者20人と発表</p> <p>8 暴走族逮捕第1号でる</p>	<p>4 高教組、国体など非協力解く</p> <p>11 佐賀郡視聴覚連絡協議会発足</p>

## 昭和50年（1975年）

	国内・国際	県
		政 治
6 月	<p>16 佐藤元首相国民葬</p> <p>19 国際婦人年世界会議</p> <p>23 東京地検、田中金脈で新星企業を起訴</p>	<p>17 玄海原電事故で県議会公害特別委員会開催</p> <p>20 県西部地区県政モニター懇談会</p> <p>27 県警、交通死亡事故緊急対策本部設置</p> <p>28 定例県議会（6/28～7/12）</p>
7 月	<p>4 政治資金規制法、参議院議長決裁で成立</p> <p>13 50年産米の生産者米価1俵1万5,570円(14.4%引き上げ)に決定</p> <p>17 皇太子ご夫妻に沖縄で火炎びん投げる</p> <p>18 水島石油コンビナートでまた爆発事故</p> <p>19 沖縄海洋博開幕</p> <p>30 全欧安保会議開催</p>	<p>1 武雄社会保険事務所設置</p> <p>3 県議会5日ぶりに正常化</p> <p>25 伊万里湾開発長期ビジョンまとまる</p> <p>28 副知事に香月熊雄任命</p> <p>30 県原子力安全連絡協議会開催</p>
8 月	<p>2 三木首相、訪米</p> <p>4 日本赤軍、マレーシアの米大使館占拠</p> <p>15 政府間協定による日中漁業協定正式調印</p>	<p>1 機構改革 7部1局59課13室となる 厚生部を福祉生活部と保健環境部に、農林部と経済部を農業水産部、農地林務部、経済部に、企画部、参事室、県民室、環境保全局、農地改良開発局廃止 県民ホール開設</p> <p>2 県財政非常事態宣言</p> <p>4 「小中学校生徒の県政バス」実施</p>

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>16 県内初めての米生産地地力培養推進実験事業としての土づくりの共同たい肥舎完成</p> <p>19 武雄駅を「武雄温泉駅」と改称</p> <p>30 「日本晴」、指定銘柄に復帰</p>	<p>27 陸上自衛隊目達原駐とん地第4飛行隊所属セスナ機墜落</p> <p>○ 県内の失業保険受給者1万人突破</p> <p>○ 県福祉課、生活保護の実態まとめる(旧産炭地の保護率の高率目立つ)</p>	<p>19 今泉善詔、13代今右衛門を襲名</p>
<p>14 九州電力、玄海原電事故原因発表 県商工懇話会発足</p> <p>17 玄海海中公園公社七ツ釜レストハウス落成</p> <p>19 玄海海中公園公社神集島ロッヂ落成</p> <p>22 玄海海中公園公社加部島レストハウス落成 森林審議会森林保安部会新設</p> <p>○ 酪農家の経営規模拡大すすむ</p>	<p>3 沖縄海洋博記念硬貨発売</p> <p>16 県警、暴走族絶滅に罰則強化</p> <p>○ 県内の被爆者健康手帳交付1,961人に達す</p>	<p>1 東ドイツドレスデン国立美術館蔵磁器里帰り展「古伊万里名品展」開く</p> <p>16 祐徳運動広場完成</p> <p>20 九州高校総体開幕(7/20～7/23)</p> <p>21 カササギ営巣実態調査まとまる</p>
<p>1 県中小企業共済協同組合創立総会</p> <p>8 国鉄武雄温泉駅改築落成式</p> <p>9 県水産試験船「かがみ」就航</p> <p>13 唐津港から戦後初めて中国へ工作機械輸出</p> <p>19 国営筑後川下流土地改良推進協議会、事業採択申請書を佐賀・福岡両県知事に提出</p> <p>23 県栽培漁業センター起工式</p>	<p>1 加唐島で1日県立病院 社会奉仕活動指導センター発足</p> <p>18 クロムメッキ工場立入調査開始</p> <p>23 杵藤葬斎公園完成</p> <p>26 糟苺者教育福祉県大会 鳥栖市、9社と公害防止協定結ぶ</p>	<p>21 文化庁、伊万里湾のカプトガニ実態調査</p>

## 昭和50年（1975年）

	国内・国際	県治
		政
8月	26 與人倒産、戦後最大の倒産	26 県行財政対策委員会設置
9月	11 第76臨時国会召集  17 政府、第4次不況対策決定  22 日中漁業安全操業の民間議定書調印 30 天皇・皇后両陛下ご訪米	1 （玄海の離島五島で）移動県庁（9/1～9/2）    18 県立自然公園審議会、県立公園の再編成を答申 20 定例県議会（9/20～10/4）
10月	1 第12回国勢調査   11 ハノイに日本大使館開設    31 天皇・皇后両陛下、初の公式記者会見	1 県民ホール開所 国勢調査実施、県人口83万7,680人 県、管理職手当の20%カットを実施  9 第12回全国身体障害者スポーツ大会県実行委員会設立総会    25 県内の日中友好団体5年ぶり1本化さる  ○ 県、市町村財政危機対策で行政の見直し盛ん
11月		

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>28 県、玄海原電の試運転再開に同意</p> <p>○ 若楠酒造設立（地場酒造会社4社企業合同）</p> <p>○ 49年末の財形貯蓄422社実施</p>	<p>○ 印鑑登録証、12市町村が実施</p> <p>○ 公立病院の医師の平均充足数65%</p>	<p>○ 第43回日本高校選手権水泳大会で伊東ひとみ100m自由形で優勝</p>
<p>3 玄海原電試運転再開、臨界に達す</p> <p>11 県心身障害者雇用促進大会</p> <p>16 玄海沿岸出漁者協議会</p> <p>18 鳥栖・基山農協住宅団地の造成にのりだす</p> <p>30 唐津水産物産地流通加工センター完成</p> <p>○ 県園芸連、中東にミカンジュース36億円輸出契約</p>	<p>2 呼子町のフグはえ網漁船松生丸、北朝鮮から銃撃捕獲さる、2人死亡、2人負傷</p> <p>6 異常潮位、有明海沿岸で被害（9/6～9/7）</p> <p>14 松生丸、2人の遺体と共に悲しみの帰港</p> <p>15 敬老会の弁当で133人が中毒</p> <p>○ 住宅ローン、不況のため延滞が増加</p>	<p>3 日体協理事会、佐賀国体の参加人員1万4,241人を正式決定</p> <p>4 押尾川親方（元大麒麟）、二所の関部屋から独立</p> <p>12 県私立高校幼稚園父母の会総決起大会</p> <p>14 県重要無形文化財の音成面浮立カラー映画記録</p>
<p>1 佐賀西信用組合発足</p> <p>8 白石地区農協農業管理センター落成</p> <p>9 県、50年度地価調査基準地価格公表</p> <p>14 一斉公開建築パトロール（10/14～10/15）107件摘発、69件工事停止</p> <p>15 玄海原電、営業運転開始</p> <p>17 県、「75年農業センサス県版」発表、農家戸数7万戸割る</p> <p>20 佐賀銀行本店新築工事完工</p> <p>30 ミカン暴落対策に出荷調整始まる</p> <p>31 国道202号唐津バイパス供用開始</p>	<p>1 単一重度心身障害者医療費全額助成スタート（県・市町村折半）</p> <p>8 全国身体障害者スポーツ大会の手話通訳員養成始まる</p> <p>15 高圧ガス総合防災訓練</p> <p>16 県人工肛門医療会結成</p> <p>30 鳥栖・三養基地区医師会、救急指定病院辞退</p>	<p>7 県内の学校給食用パン、リジン無添加に切り替え</p> <p>11 国の無形文化財興川忠右衛門死去</p> <p>18 ウィンブルドン九州テニスクラブオープン 佐賀国体返上運動県民会議、国体の延期、中止を要求</p>
	<p>2 県交通安全フェスティバル</p> <p>5 タンカー火災防災訓練</p>	<p>3 大川内焼開窯三百年記念祭 第6回全日本ジュニア陸上競技選手権大会で吉松幸宏400mで優勝</p>

昭和50年（1975年）・昭和51年（1976年）

	国内・国際	政	県治
11月	<p>12 昭和50年度地方交付税、地方債特例法成立</p> <p>17 先進6か国首脳会議、ランブイエ宣言採択</p> <p>19 政府、松生丸事件について公海上と見解発表</p> <p>25 スト権選挙統一スト始まる</p>	<p>13 自動車安全運転センター県事務所開設</p> <p>25 国体企画会議、若補国体改善計画決定</p> <p>27 「青年の県政バス」実施</p> <p>28 県下の全消防本部、全県的な常備消防相互応援協定結ぶ</p>	
12月	<p>3 公労協、スト権スト中止</p> <p>24 赤字国債特例法成立</p> <p>29 国立佐賀医科大学の53年4月開講決定</p>	<p>4 県、公害対策審議会に産業廃棄物処理計画について諮問</p> <p>5 県立病院経営改善委員会発足</p> <p>8 定例県議会（12/8～12/22）</p> <p>12 脊振・北山県立自然公園、川上・金立県立自然公園指定（基山・脊振山・北山ダム・川上の4自然公園を再編成）</p>	
1月	<p>8 周恩来中国首相死去</p> <p>12 伊藤忠と安宅産業、業務提携発表</p> <p>18 沖縄海洋博閉会</p>		

内		
経 済	社 会	教 育・文 化
<p>7 県工業試験場・計量検定所移転新築落成</p> <p>10 政府、夏の干ばつによる農業被害に天災融資法発動を決める</p> <p>21 農林省筑後川水利事業所、白石平野支所開所</p> <p>25 県ダンプ協会設立</p> <p>29 生鮮食料品振替輸送対策協議会設置</p> <p>○ 県内の4信用金庫、オンライン化</p> <p>○ 公労協ストでトラック奪い合い、ミカン、鮮魚滞貨</p>	<p>26 国鉄ストで、県内鉄道完全マヒ、6高校臨時休校</p> <p>29 県下の地公労統一スト</p>	<p>5 県立図書館所蔵の「貴重資料展示会」</p> <p>7 文化財保護審議会、肥前磁器窯跡の史跡指定を答申</p> <p>11 佐大学長選挙、池田数好(前九大学長)を選出</p> <p>17 肥前国府跡第1次発掘</p> <p>21 県、若箭国体の31項目の改善最終案をまとめる</p>
<p>8 主要地方道に相知ー山内線など8路線昇格</p> <p>17 国鉄ストによるミカンの損害に対し、県園芸連、労使双方に補償を要求</p> <p>18 農林省、野菜指定産地に上場のジャガイモを指定</p> <p>25 50年産ミカン収穫予想、全国3位、34万5,500t</p> <p>31 県下の農協貯金2,000億円を突破</p>	<p>1 飲酒運転追放県民運動始まる</p> <p>2 覚せい剤一斉取締り、8人逮捕</p> <p>5 県消費生活センター「家庭用電気器具修理デー」開く</p> <p>○ ゲイラータコ、県内にも登場</p>	<p>5 三井きやまニュータウン埋蔵文化財調査開始</p> <p>7 県立博物館に「青木繁コーナー」開設</p> <p>12 第1回反射炉まつり</p> <p>16 佐大学長に池田数好発令</p>
<p>15 伊万里湾環境アセスメント(産業公害事前調査)開始</p> <p>20 佐賀大和工業団地起工式</p> <p>23 政府、玄海原発2号機の設置を許可</p>	<p>19 県、種痘とジフテリアの予防接種の中止又は延期を指示</p>	<p>16 全日本総合団体卓球選手権大会</p> <p>17 第1回県スキー大会</p>



昭和51年（1976年）

	国内・国際	政	県治
1 月			
2 月	<p>4 米上院外交委員会、ロッキードの売り込み 工作資金を公表</p> <p>7 政府、原子力船むつ修理港を佐世保市に正式要請</p> <p>16 国会、ロッキード事件で証人喚問</p> <p>23 衆参両院、ロッキード事件の全資料提供要請を決議</p> <p>29 わが国初の実用衛星電離層観測衛星打上げ成功</p> <p>○ ロッキード疑惑広がる</p>	<p>1 県ライフル射撃場設置</p> <p>3 日体協国体委員会、若楠国体実施要項決定</p> <p>13 長崎県知事、長崎南部総合開発計画の実現について県に協力要請</p> <p>16 県環境緑化対策協議会、57年度を目標とする緑化基本計画を答申</p> <p>26 定例県議会（2/26～3/27）</p> <p>28 県、国体ヨットに自衛隊の支援を正式要請</p>	
3 月	<p>1 衆院予算委員会ロッキード事件第2次証人喚問</p> <p>2 北海道庁爆破さる、死者2人、重軽傷85人</p> <p>23 児玉邸に小型機突込む</p> <p>24 ロッキード事件資料提供日米相互援助取決め調印</p>	<p>10 七山村樫原湿原、県自然環境保全地域に指定</p> <p>12 元参議院議員今泉政喜死去</p> <p>24 県警人事異動、国体と交通を強化</p> <p>○ 財政難から地方公共団体の退職勧奨、定期昇給停止盛ん</p>	



#### 参考文献

近代日本総合年表（岩波書店）、日本史年表（歴史学研究会編）、戦後資料20年（日本評論社）、学制90年史（文部省編）、朝日年鑑（朝日新聞社）、毎日年鑑（毎日新聞社）、佐賀新聞（佐賀新聞社）、激動の20年（毎日新聞社）、佐賀県年鑑（佐賀新聞社）、有明干拓史（農林省編）、佐賀経済のあゆみ（佐賀商工会議所）、県公報、県公報紙、県選挙結果調、教育佐賀、新郷土、県議会議事録、佐賀県災異誌、佐賀県史、警友、炭鉱離職者対策